





安全上のご注意

- ◆ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ◆ここに示した注意事項は、ミシンを安全に正しくお使いいただき、お使いになる方やほかの人々への危害や損害を未然に 防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- ◆お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- ◆このミシンは、日本国内向け家庭用です。 FOR USE IN JAPAN ONLY.

危害・損害 の程度を表 わす表示	▲ 警告	この表示の欄は「死亡また どを負う可能性が想定され です。	は重傷なしる」内容して	⚠ 注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性 または物的損害が発生する可能性が 想定される」内容です。
本文中の図 記号の意味	 ▲ 記号は、 図の中には 図の中には 図の中には 1 0 記号は、 図の中には 図の中には 	気を付けていただきたい「 具体的な注意内容を表示して 行ってはいけない「禁止」 具体的な禁止内容を表示して 必ず実行していただく「強 具体的な指示内容を表示して	注意」の内容 こいます。(方 の内容です。 こいます。(方 制」の内容て こいます。(方	そです。 E図の場合は一般 E図の場合は分解 E図の場合は一般	的な注意) 禁止) 的な強制)
▲ 警告	ち 感電・火災の	原因となります。		注意感電	・火災・けがの原因となります。
くしていていていていていています。 文トー しない 禁止 ミシン	-ブ、アイロンの近くな)でください。 /の使用温度は 5 ℃~3	よど温度の高いところでは使用 35℃です。	禁止	ぬい途中に布や たりしないでく;	刺しゅう枠を無理に引っ張ったり、押し ださい。
	ノー製品などを使用した は使用しないでください	た部屋や、引火しやすい物の近 い。		このミシンを使 使用してくださ 付属の専用電源 は使用しないで	用するときは、付属の専用電源コードを い。 コードは、このミシン以外の電気製品に ください。
電源二 以下の ・ 傷	コードやフットコント)行為は行わないでく# ;つける リエオス	ヽロ-ラーのコードについて、 ざさい。	禁止	フットコントロ また、ご使用の を確認してくだ	ーラーの上に物をのせないでください。 際は、周辺に糸くずやほこりがないこと さい。
・加 ・は ・た	」 りる :さみ込む :ばねる		注 意	お子様がご使用 れるときは、特	になるときや、お子様の近くでご使用さ に安全に注意してください。
● 引 禁止 ● 引 ● 無 ● 重 ● 高	っ張る 理に曲げたり、ねじっ い物をのせる 温部に近づける	ったりする	注意	直線ぬい用針板 付けられている を切った状態で にあたる場合が	が取り付けられている場合、および取り 押さえの種類によっては、電源スイッチ はずみ車をまわすと、針が針板や押さえ ありますので、注意してください。
電源二 が破損	コード、フットコントロ した場合は、使用しな	コーラーのコードおよびプラグ ないでください。	山ので実行	ミシンを持ち運 必ずもう一方の ³	ぶときは、片手で手さげハンドルを持ち、 手でミシンをささえてください。
0000000000000000000000000000000000000	R庭用、交流電源 100 [、]	Vでご使用ください。	必ず実行	プラグ受けに、 ください。	糸くずやほこりがたまらないようにして
 ・ 電源 ・ ・ ・	プラグは定期的に乾いた こください。	た布でふき、ほこりなどを取り	必ず実行	針および押さえ また、押さえは	は、確実に固定してください。 、ぬいに合ったものをご使用ください。
以下の 抜いて 必ず電源・ミシ)ようなときは、電源 こください。 ンのそばを離れるとき	スイッチを切り、電源プラグを <u>-</u>	必ず実行	電源プラグを抜 グを持って抜い	くときは、コードを引っ張らず電源プラ てください。
プラグを • ミシ 抜く • ミシ	ンを使用したあと ン使用中に停電したと	:ē		以下のことを行 ロック状態にし	うときは、ロックキーを押してミシンを てください。
🛕 注意	夏 感電・火災・	けがの原因となります。	必ず実行	 ・押さえ、アタッ ・上糸、下糸を1 ・針、針板を交換 	ッチメントを交換するとき zットするとき 換するとき
分解禁止 分解に	はしないでください。	· □ + 玅 - + 、 - > ' ' - ^'	必ず電源 プラグを	ミシンのお手入 電源プラグをコン	れを行うときは、電源スイッチを切り、 ンセントから抜いてください。
ミシン はずる 接触禁止 けない	ノの採作中は、針かと み車・天秤などすべて いでください。	っ日を離さないようにし、針・ この動いている部分に手を近づ		ミシンに以下の まず電源スイッ トげの販売店に	異常があるときは速やかに使用を停止し、 チを切り、電源プラグを抜いて、お買い て互検・修理・調整をお受けください
■	った針や先のつぶれた ハ。 	-針は、ご使用にならないでく 	びます 必ず 電源 プラグを	 正常に作動しな 水にぬれたとき 落下などにとり 	こいに、 1994 11911-200文17 へんとせい よいとき き つ破損したとき
<u> </u>	ンの通風口はふさがない	いでください。	」 友く	 ・浴下などにより ・ ・異常な臭い・ ・ ・電源コード・ ・ ・ ・	フw項したとき 音がするとき プラグ類が破損、劣化したとき

	日次
◎ お取り扱いについてのお願い	3
◎ 各部のなまえ	4
	Б. О
	5~9
 ● 標準付属品 	5
●標準付属品収納場所	
 ●補助テーブル ● フリーマー h の使い方 	9
	10 - 21
 ● 床IFJ広	10 ° 24 10
◆ 電源のうなどう	10
★フットコントローラーを使用する場合.	
● 速さの調整	
★フットコントローラー	
 ●操作ボタン 	12 ~ 13
 ● 画面(タッチバネル) ● 畑キュのタレ ち、付けち 	14 ~ 15
 ●押さえホルダーの外し方、付け方 	
●上送り押さえの付け方、外し方	18 ~ 19
●その他押さえの交換	19 ~ 20
★ PD-H . ノリーキルト押さん	
★P:刺しゅう押さえ	
★ PC-1、PC-2:カウチング押さえ	
●	
 ● 布に適した糸や針を選ぶ目安 	
●押さえ上げ	
 ● 二一リノト ● 送り歯ドロップつまみ 	
 ● 西板1/ン/ブ 	24
● □ 仮レンス	
 ● LingU > ○ ぬう前の準備 	25 ~ 30
● ◎ ぬう前の準備	25 ~ 30 25 ~ 27
 ● はんレンス ◎ ぬう前の準備 ● 下糸の準備 ★ ボビンの取り出し 	25 ~ 30 25 ~ 27 25 ~ 25
 ● はんレジス ◎ ぬう前の準備 ● 下糸の準備 ★ ボビンの取り出し ★ 糸こまのセット ★ 補助糸立て棒の使い方 	24 25 ~ 30 25 ~ 27 25 25 25
 ● はんレンス ◎ ぬう前の準備 ● 下糸の準備 ★ ボビンの取り出し ★ 糸こまのセット ★ 補助糸立て棒の使い方 ★ 下糸巻き 	25 ~ 30 25 ~ 27 25 25 25
 ● はんレンス ◎ ぬう前の準備 ● 下糸の準備 ★ ボビンの取り出し ★ 糸こまのセット ★ 補助糸立て棒の使い方 ★ 下糸巻き ★ ボビンのセット 	24 25 ~ 30 25 ~ 27 25 25
 ● 協成レジス ● 応義の準備 ● 下糸の準備 ★ ボビンの取り出し ★ 糸こまのセット ★ 補助糸立て棒の使い方 ★ ボビンのセット ● 上糸かけ ● 糸通し 	24 25 ~ 30 25 ~ 27 25 25 25 26 26 27 28 27
 ● はんレンス ◎ ぬう前の準備 ● 下糸の準備 ★ ボビンの取り出し ★ えこまのセット ★ 補助糸立て棒の使い方 ★ 下糸巻き ★ ボビンのセット ● 上糸かけ ● 下糸を針板の上に引き出す場合 	24 25 ~ 30 25 ~ 27 25 25 25 25 26 26 27 28 29 29
 ● 広びレジス ◎ ぬう前の準備 ● 下糸の準備 ★ ボビンの取り出し ★ えこまのセット ★ 社助糸立て棒の使い方 ★ 市メ巻き ★ ボビンのセット ● 上糸かけ ● 下糸を針板の上に引き出す場合 ◎ 通常ぬい 	24 25 ~ 30 25 ~ 27 25 25 25 26
 ● 協成レジス ◎ ぬう前の準備 ● 下糸の準備 ★ ボビンの取り出し ★ ボビンの取り出し ★ ごまのセット ★ 補助糸立て棒の使い方 ★ 下糸巻き ★ ボビンのセット ● 上糸かけ ● 上糸かけ ● 下糸を針板の上に引き出す場合 ◎ 通常ぬい ● 通常ぬい模様 	25 ~ 30 25 ~ 27 25 ~ 25 25 25 25 26 26 27 28 29
 ● 協力的の準備. ● 下糸の準備. ★ ボビンの取り出し. ★ ホビンの取り出し. ★ ネこまのセット. ★ 補助糸立て棒の使い方. ★ 下糸巻き. ★ ボビンのセット. ● 上糸かけ. ● 糸通し. ● 下糸を針板の上に引き出す場合. ③ 通常ぬい ● 通常ぬい模様. ● じつようぬいの画面. 	24 25 ~ 30 25 ~ 27 25 25 26 27 28 29 30 31 ~ 53 31 ~ 31 (6) 32 ~ 33
 ○ ぬう前の準備 ●下糸の準備 ★ ボビンの取り出し ★ ボビンの取り出し ★ 補助糸立て棒の使い方 ★ 下糸巻き ★ ボビンのセット ●上糸かけ ● 上糸かけ ● 下糸を針板の上に引き出す場合 ◎ 通常ぬい ● じつようぬいの画面 ★ 設定キー(通常ぬいモード) ● じつようぬいの調整画面 	24 25 ~ 30 25 ~ 27 25 25 25 26 26 27 28 29 28 29 30 31 ~ 53 31 ~ 53 31 ~ 53 31 (0) 32 ~ 33 32 ~ 33 32 ~ 33 32 ~ 36
 ● 広人レンス ◎ ぬう前の準備. ● 下糸の準備. ★ ボビンの取り出し. ★ ネこまのセット. ★ 補助糸立て棒の使い方. ★ 下糸巻き. ★ ボビンのセット. ● 上糸かけ. ● 糸通し. ● 下糸を針板の上に引き出す場合. ◎ 通常ぬい ● 通常ぬい模様. ● じつようぬいの画面. ★ 設定キー(通常ぬいモード) ● じつようぬいの調整画面. ● ピボットぬい設定 	24 25 ~ 30 25 ~ 27 25 25 26 26 26 26 27 28 29 30 31 ~ 53 31 ~ 53 31 ~ 33 32 ~ 33 32 ~ 33 34 ~ 36 36
 ● 広友レクス ◎ ぬう前の準備. ● 下糸の準備. ★ ボビンの取り出し. ★ えこまのセット. ★ 袖助糸立て棒の使い方	24 25 ~ 30 25 ~ 27 25 25 25 26 27 28 29 30 31 ~ 53 31 ~ 53 32 ~ 33 32 ~ 33 34 ~ 36 37
 ● 協小反レンス ◎ ぬう前の準備 ● 下糸の準備 ★ ボビンの取り出し ★ ネこまのセット ★ 補助糸立て棒の使い方 ★ 下糸巻き ★ ボビンのセット ● 上糸かけ ● 糸を針板の上に引き出す場合 ◎ 通常ぬい ● 通常ぬい模様 ● じつようぬいの画面 ★ 設定キー(通常ぬいモード) ● じつようぬいの調整画面 ● ピボットぬい設定 ● じつようぬいの調整値の保存 ● 両線めい 	24 25 ~ 30 25 ~ 27 25 25 25 26 26 27 28 29 29 30 31 ~ 53 31 ~ 53 31 ~ 53 32 ~ 33 32 ~ 33 34 ~ 36 36 36 37 38 ~ 39 31 ~ 11
 ● はんレンス ● ゆう前の準備. ● 下糸の準備. ★ ボビンの取り出し. ★ ネこまのセット. ★ 補助糸立て棒の使い方 ★ 下糸巻き ★ ボビンのセット. ● 上糸かけ. ● 糸通し. ● 下糸を針板の上に引き出す場合. ◎ 通常ぬい ● 通常ぬい ● 道常ぬいの画面 ★ 設定キー(通常ぬいモード) ● じつようぬいの調整画面. ● ピボットぬい設定. ● じつようぬいの調整値の保存 ● 市ガイド設定キー. ● 直線ぬい ★ 直線ぬい(中針位置) でぬう場合 	24 25 ~ 30 25 ~ 27 25 25 25 26 27 28 29 30 31 ~ 53 31 ~ 53 32 ~ 33 32 ~ 33 34 ~ 36 36 37 38 ~ 39 40 ~ 41
 ● はんレンス ● 広くの準備	$\begin{array}{c} 24 \\25 \sim 30 \\25 \sim 27 \\25 \\25 \\25 \\26 \\27 \\28 \\29 \\20 \\31 \sim 53 \\31 \sim 53 \\31 \sim 53 \\31 \sim 33 \\34 \sim 36 \\36 \\36 \\37 \\38 \sim 39 \\40 \sim 41 \\40 \sim 41 \\40 \sim 41 \\42 \end{array}$
 ● はんレンス ● ゆう前の準備. ● 下糸の準備. ★ ボビンの取り出し. ★ 糸こまのセット. ★ 補助糸立て棒の使い方. ★ 下糸巻き. ★ ボビンのセット. ● 上糸かけ. ● 糸を針板の上に引き出す場合. ● 「糸を針板の上に引き出す場合. ● 「つようぬいの画面. ★ 設定キー(通常ぬいモード). ● じつようぬいの調整画面. ● ピボットぬい設定. ● じつようぬいの調整値の保存. ● 布ガイド設定キー. ● 直線ぬい. ★ 直線ぬい(中針位置)でぬう場合 ● 当板ガイド ● コーナーリングガイド ● 直線地転の使い方 	$\begin{array}{c} 24 \\25 \sim 30 \\25 \sim 27 \\25 \\25 \\25 \\26 \\27 \\28 \\29 \\30 \\31 \sim 53 \\31 \sim 53 \\31 \sim 53 \\31 \sim 33 \\32 \sim 33 \\32 \sim 33 \\34 \sim 36 \\36 \\37 \\38 \sim 39 \\40 \sim 41 \\40 \sim 41 \\42 \\$
 ● 広友レクス ● 広気レクス ● 下糸の準備	$\begin{array}{c} 24\\25 \sim 30\\25 \sim 27\\25\\25\\26\\26\\27\\28\\29\\30\\31 \sim 53\\31 \sim 53\\31 \sim 53\\31 \sim 33\\32 \sim 33\\32 \sim 33\\34 \sim 36\\36\\36\\37\\38 \sim 39\\40 \sim 41\\40 \sim 41\\42\\42\\42\\43\\44 \sim 46 \end{array}$
 ● はんレンス ● ゆう前の準備. ● 下糸の準備. ★ ボビンの取り出し. ★ 糸こまのセット. ★ 補助糸立て棒の使い方. ★ 下糸巻き. ★ ボビンのセット. ● 上糸かけ. ● 糸通し. ● 下糸を針板の上に引き出す場合. ⑦ 通常ぬい ● 通常ぬいの直面. ★ 設定キー(通常ぬいモード). ● じつようぬいの調整画面. ● ピボットぬい設定. ● じつようぬいの調整値の保存. ● 布ガイド設定キー. ● 直線ぬい. ★ 直線ぬい(中針位置) でぬう場合 ● 針板ガイド ● 直線かの使い方. ● 直線かいの種類. ★ じつようぬい1: 直線めい(中針位置) 	$\begin{array}{c} 24 \\25 \sim 30 \\25 \sim 27 \\25 \\25 \\25 \\26 \\26 \\27 \\28 \\29 \\30 \\31 \sim 53 \\31 \sim 53 \\31 \sim 53 \\31 \sim 33 \\32 \sim 33 \\32 \sim 33 \\34 \sim 36 \\36 \\37 \\38 \sim 39 \\40 \sim 41 \\40 \sim 41 \\42 \\42 \\44 \sim 46 \\44 \end{array}$
 ● はんレンス ● ゆう前の準備. ● 下糸の準備. ★ ボビンの取り出し. ★ ネごまのセット. ★ 補助糸立て棒の使い方. ★ 下糸巻き. ★ ボビンのセット ● 上糸かけ. ● 糸通し. ● 下糸を針板の上に引き出す場合. ◎ 通常ぬい ● 通常ぬいの直面. ★ 設定キー(通常ぬいモード). ● じつようぬいの画面. ★ 設定キー(通常ぬいモード). ● じつようぬいの調整画面. ● ピボットぬい設定. ● じつようぬいの調整値の保存. ● 布ガイド設定キー. ● 直線ぬい. ★ 直線ぬい(中針位置)でぬう場合 ● 当板ガイド ● コーナーリングガイド. ● 直線はいの種類. ★ じつようぬい1: 直線ぬい(中針位置) ★ じつようぬい2: 自動返しぬい 	$\begin{array}{c} 24\\25 \sim 30\\25 \sim 27\\25\\25\\25\\26\\26\\26\\27\\28\\29\\20\\31 \sim 53\\31 \sim 53\\31 \sim 53\\31 \sim 53\\31 \sim 33\\32 \sim 33\\34 \sim 36\\36$
 ● はんレンス ● 広急の事備 ● 下糸の準備 ★ ボビンの取り出し ★ ネごまのセット ★ 補助糸立て棒の使い方 ★ 下糸巻き ★ ボビンのセット ● 上糸かけ ● た糸を針板の上に引き出す場合 ● 下糸を針板の上に引き出す場合 ● 道常ぬい模様 ● じつようぬいの画面 ★ 設定キー(通常ぬいモード) ● じつようぬいの調整画面 ● ピボットぬい設定 ● じつようぬいの調整値の保存 ● 布ガイド設定キー ● 直線ぬい(中針位置)でぬう場合 ● 針板ガイド ● コーナーリングガイド ● 直線ぬいの種類 ★ じつようぬい1: 直線ぬい(中針位置) ★ じつようぬい2: 自動返しぬい ★ じつようぬい3: 自動止めぬい ★ じつようぬい4: 直線ぬい(左針位置) 	$25 \sim 30$ $25 \sim 27$ 25 25 26 26 27 28 29 30 $31 \sim 53$ $31 \sim 53$ $31 \sim 36$ 36 36 36 36 36 36 36 36 36 36 $40 \sim 41$ $40 \sim 41$ $40 \sim 41$ 42 42 42 42 42 44 44 44 44
 ● 広びレンス ● 広気レンス ● 下糸の準備	$\begin{array}{c} 24\\25 \sim 30\\25 \sim 27\\25\\25\\25\\26\\26\\27\\28\\29\\30\\31 \sim 53\\31 \sim 53\\31 \sim 53\\31 \sim 53\\31 \sim 33\\34 \sim 36\\37\\38 \sim 39\\40 \sim 41\\40 \sim 41\\40 \sim 41\\42\\42\\43\\44 \sim 46\\44\\44\\44\\44\\44\\45\\45\\45\\ \end{array}$
 ○ ぬう前の準備. 下糸の準備. ★ボビンの取り出し. ★ ボビンの取り出し. ★ 糸ごまのセット. ★ 補助糸立て棒の使い方. ★ 下糸巻き. ★ ボビンのセット. 上糸かけ. 糸通し. 下糸を針板の上に引き出す場合. ⑦ 通常ぬい ● 通常ぬいの直面. ★ 設定キー(通常ぬいモード). ● じつようぬいの画面. ★ 設定キー(通常ぬいモード). ● じつようぬいの調整画面. ● ピボットぬい設定. ● じつようぬいの調整値の保存. ● 布ガイド設定キー. ● 直線ぬい. ★ 直線ぬい(中針位置)でぬう場合 ● 針板ガイド ● コーナーリングガイド ● 直線ぬいの種類	$\begin{array}{c} 24\\25 \sim 30\\25 \sim 27\\25\\25\\26\\26\\27\\28\\29\\30\\31 \sim 53\\31 \sim 53\\31 \sim 53\\31 \sim 33\\32 \sim 33\\32 \sim 33\\34 \sim 36\\36\\36\\37\\38 \sim 39\\40 \sim 41\\40 \sim 41\\42\\42\\42\\42\\44 \sim 46\\44\\44\\45\\45\\ \overline{\tau} \lor \mathcal{F}) \ldots 45\\$
 ○ ぬう前の準備. ●下糸の準備	25 ~ 30 $25 ~ 27$ 25 25 25 26 27 28 29 30 $31 ~ 53$ $31 ~ 53$ $31 ~ 36$ 37 $32 ~ 33$ $34 ~ 36$ 36 37 $38 ~ 39$ $40 ~ 41$ $40 ~ 41$ $40 ~ 41$ 42 $44 ~ 46$ 44 46 46

3	●HP:プロフェッショナル直線押さえ・プロフ	エツ	
-	ショナル直線針板(左針位置専用)の使い方.		48
4	●ジグザグぬい		49
9	★ じつようぬい 8、9:ジグザグぬい		49
5	★ じつようぬい 10: つくろいぬい		49
7		.50~	51
8	★ じつようぬい 10・ トリコットぬい		50
9	★ じつようぬい 13: かかりぬい 1		50
9	★ じつようぬい 15:かがりぬい 2		51
4	★ じつようぬい 16:かがりぬい 3		51
0	●その他のじつようぬい	.52~	53
0	◎ ボタンホール・特殊模様	54~	68
0	 ● ボクンホール・特殊模様の画面 		54
1	 ●ボタンホールの種類と用途 	$54 \sim$	55
1	●ボタンホール 1:スクエアボタンホール	$.56 \sim$	58
1	★ ボタンホールの調整画面		59
3	●ボタンホール安定板の使い方		60
5 6	● ボタンホール 2:メモリーボタンホール		
0 7	(スクエアボタンホール)	.61~	62
9	●その他のボタンホール		63
0	★ ホタンホール 3、4:片フワント、 == ウンドギタンナール		~~
9	辿フワノトホタノホール		63
0	★ ボタンホール 8 10 · ニットボタンホール		63
0	$\bigstar \pi 2 2 \pi \mu 0 = 2 \pi \pi 2 2 \pi \mu 0$		63
0	●ボタンホール 11:たまぶちボタンホール	.64 ~	65
1	● 芯入りボタンホール		66
2	●特殊ぬい		67
2	● ボタンホール 13:つくろいぬい(ダーニング)	$.67 \sim$	68
3	●ボタンホール 15、16:アイレット		68
4	◎ 飾りぬい	69~	79
4	●飾りぬいの画面	$60 \sim$	71
		.03	14
0	●かざりもよう1グループ	.03	75
0	●かざりもよう1グループ ★スモッキング		75 75
0 7	 かざりもよう 1 グループ ★ スモッキング ★ スカラップ 	.09	74 75 75 75
0 7 5	 かざりもよう 1 グループ ★ スモッキング ★ スカラップ キルトグループ 	.09	74 75 75 75 76
0 7 5 5 5	 かざりもよう 1 グループ ★ スモッキング ★ スカラップ キルトグループ ★ キルティングガイドの使い方 	.09	75 75 75 76 76
0 7 5 5 5 5 6	 かざりもよう 1 グループ ★ スモッキング ★ スカラップ ● キルトグループ ★ キルティングガイドの使い方 ★ キルト模様 1 ~ 3 ★ キャート クロック たいち 		75 75 75 76 76 76 76
0 7 5 5 5 5 6 7	 かざりもよう 1 グループ ★スモッキング ★スカラップ キルトグループ ★キルティングガイドの使い方 ★キルト模様 1 ~ 3 ★針板角度目盛りの使い方 ★キルト模様 54,55: 美めい園キルト 	.03	75 75 75 76 76 76 76 76
0 7 5 5 5 6 7 8	 かざりもよう1グループ ★スモッキング ★スカラップ キルトグループ キルトズガイドの使い方 ★キルト模様1~3 ★針板角度目盛りの使い方 ★キルト模様54、55:手ぬい風キルト サテングループ 		75 75 75 76 76 76 76 76 76 76
0 755556789	 かざりもよう1グループ		75 75 75 76 76 76 76 76 76 77 77
0 7 5 5 5 5 6 7 8 9 0	 かざりもよう 1 グループ ★ スモッキング ★ スカラップ キルトグループ ★ キルティングガイドの使い方 ★ キルト模様 1 ~ 3 ★ 針板角度目盛りの使い方 ★ 針板角度目盛りの使い方 ★ キルト模様 54、55: 手ぬい風キルト サテングループ ★ 模様の長さ調整機能(エロンゲーション). ● 模様の先端を細くする(テーパリング) 		75 75 75 76 76 76 76 76 76 76 76 77 77 77
0 7 5 5 5 6 7 8 9 0 3	 かざりもよう 1 グループ ★ スモッキング ★ スカラップ キルトグループ ★ キルティングガイドの使い方 ★ キルト模様 1 ~ 3 ★ 針板角度目盛りの使い方 ★ キルト模様 54、55:手ぬい風キルト		75 75 75 76 76 76 76 76 76 77 77 77 78 79
0 7 5 5 5 5 6 7 8 9 0 3 1	 かざりもよう 1 グループ ★スモッキング ★スカラップ キルトグループ キルトグループ ★北レティングガイドの使い方 ★キルト模様 1~3 ★針板角度目盛りの使い方 ★ キルト模様 54、55:手ぬい風キルト サテングループ サテングループ 模様の長さ調整機能(エロンゲーション). 模様の先端を細くする(テーパリング) ユーザー作成模様グループ ② 模様組み合わせモード 	80 ~	74 75 75 75 76 76 76 76 76 76 76 76 76 77 77 78 79 89
0 7555567890 3 13	 かざりもよう 1 グループ ★スモッキング ★スカラップ キルトグループ ★キルティングガイドの使い方 ★キルト模様 1~3 ★針板角度目盛りの使い方 ★ キルト模様 54、55: 手ぬい風キルト サテングループ サテングループ 使様の長さ調整機能(エロンゲーション). 模様の先端を細くする(テーパリング) ユーザー作成模様グループ ♥模様組み合わせモード 	80 ~	75 75 75 76 76 76 76 76 76 76 76 76 77 77 78 9 89 80
0 755567890 3 133	 かざりもよう 1 グループ ★スモッキング ★スカラップ キルトグループ ★キルティングガイドの使い方 ★キルト模様 1~3 ★針板角度目盛りの使い方 ★ キルト模様 54、55: 手ぬい風キルト サテングループ サテングループ 使様の長さ調整機能(エロンゲーション). 模様の先端を細くする(テーパリング) ユーザー作成模様グループ ○ 模様組み合わせモードの画面 ●模様組み合わせぬいの例 	80 ~	75 75 75 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76 77 77 77
0 755567890 3 13360	 かざりもよう1グループ ★スモッキング ★スカラップ キルトグループ ★キルティングガイドの使い方 ★キルト模様1~3 ★針板角度目盛りの使い方 ★針板角度目盛りの使い方 ★非ルト模様54、55:手ぬい風キルト サテングループ サテングループ 模様の先端を細くする(テーパリング) ユーザー作成模様グループ ○ 模様組み合わせモード ●模様組み合わせモードの画面 ●模様組み合わせぬいの例 ●反転キーの使い方 	80 ~	75 75 75 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76 77 77
0 7555567890 3 133667	 かざりもよう1グループ ★スモッキング ★スカラップ キルトグループ キルティングガイドの使い方 ★キルト模様1~3 ★針板角度目盛りの使い方	.03 80~ ^ジ 時)…	75 75 75 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76 77 77
0 7555567890 3 1336679	 かざりもよう 1 グループ	.03 8 0~ べ時)	75 75 75 76 76 76 76 76 76 76 76 76 77 77 77 78 89 80 81 82 82 83
0 755567890 3 13366791	 かざりもよう 1 グループ、スモッキング、スモッキング、スモッキング、スカラップ キルトグループ、キルトグループ、*キルト模様 1~3、**********************************	.03 8 0~ ×時)	75 75 75 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76 77 77
0 755567890 3 133667911	 かざりもよう 1 グループ、スモッキング、スモッキング、スモッキング、スカラップ キルトグループ、キルティングガイドの使い方、★キルティングガイドの使い方、★キルト模様 1~3、★針板角度目盛りの使い方、★非ルト模様 54、55:手ぬい風キルト サテングループ、検様の長さ調整機能(エロンゲーション). 模様の先端を細くする(テーパリング) ユーザー作成模様グループ ブー作の模様グループ 模様組み合わせモードの画面 模様組み合わせやいの例 反転キーの使い方、★左右・上下反転のぬい方(組み合わせモード) つなぎもようグループの使い方 模様の編集機能 	.03 80~ 《時)	75 75 75 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76 77 77
0 755567890 3 1336679112	 かざりもよう 1 グループ、スモッキング、スモッキング、スカラップ キルトグループ、キルティングガイドの使い方、★キルティングガイドの使い方、★キルト模様 1~3、★針板角度目盛りの使い方、★非ルト模様 54、55:手ぬい風キルト サテングループ、検様の長さ調整機能(エロンゲーション). 模様の先端を細くする(テーパリング) ユーザー作成模様グループ ブー作の使い方、、たち・上下反転のぬい方(組み合わせモード)、 反転キーの使い方、★左右・上下反転のぬい方(組み合わせモード) つなぎもようグループの使い方、 模様の編集機能 模様頭出しキーの使い方、 	.03 80~ ×時)	75 75 75 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76 77 77
0 755567890 3 13366791122	 かざりもよう 1 グループ、スモッキング、スモッキング、スカラップ キルトグループ、キルティングガイドの使い方、★キルティングガイドの使い方、★キルト模様 1~3、★針板角度目盛りの使い方、★キルト模様 54、55:手ぬい風キルト サテングループ、検様の長さ調整機能(エロンゲーション) 模様の先端を細くする(テーパリング) ユーザー作成模様グループ (○ 模様組み合わせモードの画面	80~ ×時)… 88~	75 75 75 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76 77 77 78 89 80 81 82 83 84 85 86 87 89
0 755567890 3 133667911223	 かざりもよう1グループ、スモッキング、スモッキング、スカラップ キルトグループ、キルティングガイドの使い方、、キルト模様1~3、、金針板角度目盛りの使い方、、キルト模様54、55:手ぬい風キルト サテングループ、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	80 ~ ×時)…	75 75 75 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76 77 77
0755567890 3 1336679112236	 かざりもよう 1 グループ、スモッキング、スモッキング、スカラップ キルトグループ、キルトグループ、★キルトグループ、★キルト模様 1 ~ 3、★針板角度目盛りの使い方、★キルト模様 54、55:手ぬい風キルト サテングループ、★様様の長さ調整機能(エロンゲーション). 模様の先端を細くする(テーパリング) ユーザー作成模様グループ (〇 模様組み合わせモードの画面	80~ ≤時)… .88~ 90~	75 75 75 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76 77 77
0 7555567890 3 13366791122364	 かざりもよう 1 グループ、スモッキング、スモッキング、スモッキング、スカラップ キルトグループ、キルティングガイドの使い方、キルト模様 1~3、 ★ 卸板角度目盛りの使い方、キルト模様 54、55: 手ぬい風キルト サテングループ、検様の長さ調整機能(エロンゲーション). 模様の先端を細くする(テーパリング) ユーザー作成模様グループ ブー作成模様グループ 模様組み合わせモードの画面 模様組み合わせぬいの例 反転キーの使い方、★左右・上下反転のぬい方(組み合わせモード時) つなぎもようグループの使い方 模様の編集機能 マレビュー機能 マ字ぬいの画面	80 ~ ≤時)… .88~ 90 ~	75 75 75 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76 77 77
0 755567890 3 1336679112236444	 かざりもよう 1 グループ、スモッキング、スモッキング、スカラップ キルトグループ、キルトグループ、★キルティングガイドの使い方、★キルト模様 1~3、★針板角度目盛りの使い方、★非ルト模様 54、55:手ぬい風キルト サテングループ、検様の長さ調整機能(エロンゲーション). 模様の先端を細くする(テーパリング) ユーザー作成模様グループ ブー作の使い方、★左右・上下反転のぬい方(組み合わせモード)、★左右・上下反転のぬい方(通常モード時) つなぎもようグループの使い方、検様の編集機能 模様の編集機能 超み合わせ模様の長さの確認 文字ぬいの画面、★様様選択画面	×時) 80~ ×時) .88~ 90~	75 75 75 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76
0 755567890 3 13366791122364445	 かざりもよう 1 グループ、スモッキング、スモッキング、スカラップ キルトグループ、★ キルティングガイドの使い方、★ キルト模様 1 ~ 3 ★ 針板角度目盛りの使い方、★ キルト模様 54、55: 手ぬい風キルト サテングループ、検様の長さ調整機能(エロンゲーション). 模様の先端を細くする(テーパリング) ユーザー作成模様グループ グレール(応模様グループ	80 ~ ≤時) .88~ 90 ~ .92~	75 75 75 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76 77 77 78 9 80 81 82 83 84 85 86 87 91 91 93 94
0 755567890 3 133667911223644455	 かざりもよう 1 グループ、スモッキング、スモッキング、スカラップ キルトグループ、キルトグループ、、キルト模様 1 ~ 3、、全都板角度目盛りの使い方、、キルト模様 54、55:手ぬい風キルト サテングループ、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	80 ~ ×時)… .88~ 90~ .92~	75 75 75 76 76 76 76 76 76 76 76 76 77 77 78 89 80 81 82 83 84 85 86 89 91 93 94 94
0 755567890 3 13366791122364445555	 かざりもよう1グループ	80~ ≤時)… .88~ 90~ .92~	75 75 75 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76
0 755567890 3 133667911223644455556	 かざりもよう1グループ	80 ~ ≤時) .88~ 90 ~ .92~	75 75 75 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76 77 77
0 755567890 3 133667911223644455567	 かざりもよう1グループ、スモッキング、スモッキング、スカラップ キルトグループ、キルトグループ、キルト模様1~3、、金材板角度目盛りの使い方、キルト模様54、55:手ぬい風キルト サテングループ、、キルト模様54、55:手ぬい風キルト サテングループ、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	80 ~ 《時)… .88~ 90 ~ .92~	75 75 75 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76 77 77

◎ 模様データの保存・呼び出し	95 ~	- 99
 ● 模様データの保存	95 ^	~ 97
● 榠棣ナータの呼び出し	98 ′ 400	~ 99
	100~	129
 ●用途ぬいの模様選択画面 ●用途ぬいの種類 	100 ~	· 100
●地ぬい		. 101
● ふちかがり	102 -	. 102
●ようりぬい ●シェルタック	103 ~	. 104
●三つ巻きぬい		. 106
 ファスナー付け コンジュルファフナー付け(畑さきオプジョン) 	107 ~	109
● コンシールファスノー付け (押さえオフション). ● ギャザー	109 ~	. 112
	112~	113
 ●ボタンつけ ★ 並通のボタンつけのめいち 	113~	115
★ 根巻きボタンつけのぬい方		. 114
● かんぬき止め		. 116
● アップリケ	117~	118
 ●バッテワーク ★ 針板角度日盛りの使い方 	1 19 ~	120
●キルティング	121 ~	129
★ 直線ぬい (上送り押さえ使用)		. 121
★200001 ★フリーキルト		. 122 123
★各種フリーキルト押さえの特長		. 123
★フリーキルト「直線ぬい 1」のぬい方		. 124
★QU:フリーキルト押さえ(丸八)/ OO:フリーキルト抽さえ(前あき)/		
QV:フリーキルト押さえ(透明)の取り	付け方	. 124
★フリーキルト「直線ぬい 2」のぬい方	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	. 125
★ ノリーキルト シクサクぬい2] のぬし ★ 1 針停止めい	\万	. 126
★フリーキルト押さえ高さの調整		. 127
★刺し子風ステッチ		. 127
★ 手ぬい風キルトぬい	100 ~	. 128
★ ジグザグのぬい幅の上限を設定	120 * *	. 129
◎ 2 本針ぬい	130 ~	131
◎ ミシンの設定	132 ~	141
●ミシン設定モード		. 132
●共通設定	132 ~	⁻ 135
● 通常ぬい設定	136 ~	139
● 模様の形の調整(送り調整ねじ)		. 140
◎ 刺しゅう	142 ~	190
●刺しゅうの準備	142~	150
★刺しゅうユニットの取り付け方		. 142
★ キャリッシアームの開放		. 143
★刺しゅう押さえの取り付け		. 144
★ 針の交換		. 145
★ 針板の交換 ★ 刺しゅう糸		. 145
★ 刺しゅう枠とテンプレート		. 140
★芯地		. 148
★刺しゅう枠に布を張る		. 149
★ ぬい始めの糸かけ	•••••	. 150
●ぬい方	151 ~	158
★ 内蔵模様の選択方法(模様)		. 151
 ★ 内 風 保 ば の 選 ボ 力 法 (乂 子) ★ 設 定 キー 	152~	. 152 / 153
 ↓		. 154
★ 文字の色を変える		. 154
★ ぬい原点キー ★ 2- レター文字		. 155
■ レフ 「入士		100

*	r ボーダー 1 と文字の組み合わせ 15	/
	マ字の削除・挿入158	8
●刺	しゆつ実行画面159~ 16 - 機能ナー -	/
×	【	9 9
	r 針前進 / 後進キー	0
*	イ針ジャンプキー	0
*	て十字マーク160	0
*	r 模様表示切りかえキー160	0
*	「	2
\sim	【 ホ巴 / ノヨノ りりかんキー10. • 位置 / 角度微調整キー 16	2 2
	、 一 二 一 一 元 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	4
*	▼調整キー16	4
*	、キャリッジ移動キー16	5
*	「刺しゆつ押さえ変史キー160	6
★	【 俣怺ぬい	/ Q
	しゆう疾候を補来する100~~176 r 刺しゅう枠の選択 16	о 8
	▼刺しゅうデザインの呼び出し16	8
*	▼刺しゅう編集画面165	9
*	r 編集する模様の選択169	9
*	「模様の移動165- - 炉集画売ち拡大する	9
	【襦朱回凪で払入9る1/(▼樟様をコピーする 17(0
	r 模様の削除	1
*	₹模様の大きさをかえる17	1
*	r 模様を回転させる172	2
*	▼模様を反転させる17: - 立宮を四巡(ユーク)⊭に配置する	2
×	【文子を円弧(ゲーク)扒に能直する173 ~ぬい順序を変更する 17	3 4
	▼模様を画面中央に配置する174	4
*	rコーナーレイアウト174	4
*	r 模様や背景の色を変更する	5
*	て	67
×	【 回巴をよこのこれしゆうする17 ▼ 単色で刺しゅうする 17	7 8
οÛ	ース刺しゅうデザイン178 ~ 18	5
-		
X	「 布地用テサインのカイトライン	0
*	て 布地用テサインのカイトライン180 τ 溶ける芯地用デザイン RE20a の模様 1181 ~ 183 - 溶ける芝地用デザイン RE20a の模様 1	0 2
*	▼ 布地用テサインのカイトライン181 ▼ 溶ける芯地用デザイン RE20a の模様 1181 ~ 183 ▼ 溶ける芯地用デザイン RE20a 模様 1 ● の連結	0 2 5
★ ★	▼ 布地用テサインのカイトライン181 ▼ 溶ける芯地用デザイン RE20a の模様 1181 ~ 183 ▼ 溶ける芯地用デザイン RE20a 模様 1 の連結182 ~ 183 リーアーム刺しゅう枠(FA10a)の使い方186 ~ 183	0 2 5 7
★ ●フ ★	ホー・ホーム アーム アーム アーム アーム アーム アーム アーム アーム アーム ア	0 2 5 7 7
★ ●フ ●カ	ホー・ホー・ホー・ホー・ホー・ホー・ホー・ホー・ホー・ホー・ホー・ホー・ホー・ホ	0 2 5 7 7 0
×★ ◆ フ ◆ 力 ★	ホー・ホー・ホー・ホー・ホー・ホー・ホー・ホー・ホー・ホー・ホー・ホー・ホー・ホ	0 2 5 7 0
×★ ◆フ ◆力 ★	 ホローテサインのカイトライン	0 2 5 7 7 0
 ★ → → → ● → ● ■ ● ■ ● ■<th> (市地用テサインのカイトライン</th><th>0 2 5 7 7 0 0 5</th>	 (市地用テサインのカイトライン	0 2 5 7 7 0 0 5
★ フ ★ カ ★ 0 ● 型	 本地用テサインのカイトライン	0 2 5 7 7 0 5 5 5
 ス ス カ 刺 利 し 刺 し 刺 	ホー・ホー・ホー・ホー・ホー・ホー・ホー・ホー・ホー・ホー・ホー・ホー・ホー・ホ	0 2 5 7 7 0 5 5 5 9
★ フ★カ★ ● 刺●	ホー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	0 2 5 7 7 0 5 5 7 0 5 5 9 6 8
 ス★カ★ フ★カ★ ● 刺● ● 刺● ● 刺● ● 刺● ● 刺● ● ● 	ホー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	0 2 5 7 7 0 5 5 9 6 8 8
★ フ ★ カ ★ し 刺 し 刺 刺 ★ PC	ホー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	02 5770 559 6889
 ★ フ★カ★ ● 刺● 刺● ● ミ ● シミ 	ホー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	0 2 5 7 7 0 5 5 9 6 8 8 9 2
 ★ フ★カ★ ● 刺●刺●● ● ■ ■ ■ 	* 布地用テサインのカイトライン	02 5770 05 59 68 89 20
 ★ フ ★ カ ★ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	* 布地用テサインのカイトライン	02 5770 0559 68892 01
 ★カ★ ● ●<!--</th--><th>* 布地用デザインのガイトライン</th><th>02 5770 05 59 68 89 20 12</th>	* 布地用デザインのガイトライン	02 5770 05 59 68 89 20 12
 ★ フ★カ★ ● 刺●刺●● ● ミ●●× ● ● <	* 布地用デザインのカイトライン	02 5770 559 6889 2012 3
 ★★ フ★カ★ し刺し刺刺★PC シか糸糸 ッシ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	* 布地用デザインのカイトライン	02 5770 0559 68892 01237
 ● ● ● ● ● ● ● ● ○ ○<th>* 布地用デザインのカイトライン</th><th>02 5770 05 59 68 89 20 12 37</th>	* 布地用デザインのカイトライン	02 5770 05 59 68 89 20 12 37
 ▲ ● ■ 刺● 刺● 和● ■ ■<	★ 市地用デザインのカイトライン	02 5770 559 6889 2012 37 19
 ● ● 刺●刺●● ● ミ●● × ミ 模 ●● ■ ◆ 刺●刺●● ● ミ●● × ミ 模 ●● 	* 布地用デザインのカイトライン	02 5770 05596889201237191
 ○ ○<th>* 布地用デザインのカイトライン</th><th>02 5770 055968892012371911</th>	* 布地用デザインのカイトライン	02 5770 055968892012371911
 	★ 中地用デザインのガイトライン	02 5770 0 5 5 9 6889 2 012 371 91 1 7
 ○ ○<th>★ 市地用デザインのガイトライン</th><th>02 5770 05596889201237191171</th>	★ 市地用デザインのガイトライン	02 5770 0 5 5 9 6889 2 012 371 91 1 71

◇ご使用の前に

① ほこりや油などでぬう布を汚さないように、使う前に乾いたやわらかい布でよくふいてください。

② シンナー・ベンジン・ミガキ粉は絶対に使用しないでください。





◇修理・調整についてのご案内

万一不調になったり故障が生じたりしたときは、「ミシンの調子が悪いときの直し方」(204 ~ 207 ページ)に よって、点検・調整を行ってください。



◎各部のなまえ

- ① 天びん
- ② 早見板
- ③ 天板
- ④ タッチペンホルダー
- ⑤ 小物収納場所
- ⑥ 糸切り(下糸巻き用)
- ⑦ 糸巻き軸
- ⑧ 糸切りホルダー
- ⑨ 補助糸立て棒取り付け穴
- 10 糸立て棒
- ① 糸こま押さえ (大)
- 12 面板
- 🚯 糸切り・糸押さえ
- (1) 補助テーブル (アクセサリー入れ)
- 15 針板開放レバー
- 16 スタート/ストップボタン
- ⑰ 返しぬいボタン
- 18 止めぬいボタン
- 19 上下停針ボタン
- 20 押さえ上下移動ボタン
- ② 糸切りボタン
- ㉒ 送り調整ねじ(ふた付)
- ② ニーリフト取り付け穴
- @ スピードコントロールつまみ
- ② 画面(タッチパネル)
- 26 アーム糸案内
- ② 針止めねじ
- 28 針棒糸かけ
- 29 針(14番)
- 30 A:基本押さえ
- ③ 針板
 ③ 角板開放ボタン
- 33 角板
- 34 カッター(下糸切り用)
- 35 送り歯
- 36 押さえホルダー
- ③ 押さえホルダー止めねじ
- 38 レバー
- 39 糸通しレバー
- ④ ボタンホール切りかえレバー
- ④ 糸ガイド

メモ:

- ミシンを持つときは、片手で手さげハンドルを持ち、
 もう片方の手でミシンをささえてください。
- 仕様や形状を予告なく変更する場合があります。



- ④ 手さげハンドル
- ④ はずみ車
- 4 上送り調節ダイヤル
- 45 通風口
- ④ 自動糸切り外部操作用端子
- ④ USB 差し込み口(タイプ B)
- ④ USB 差し込み口(タイプA)
- ④ 送り歯ドロップつまみ
- ⑩ プラグ受け
- ⑤ フットコントローラープラグ受け
- 52 電源スイッチ
- ⑤ 刺しゅうユニット取り付け部カバー
- 😔 刺しゅうユニット取り付け部
- ⑤ 押さえ上げ
- 66 上送り装置
- ⑰ 刺しゅうユニット
- 58 キャリッジアーム
- ⁵⁹ キャリッジレバー



○標準付属品と収納場所

● 刺しゅうユニットケース

【使い方】

刺しゅうユニットケースをあけ、補強板① をひらきます。 図のように仕切り板② を取り付けて、刺しゅうユニット③ をケースの中に入れます。

仕切り板 ② が、刺しゅうユニット ③ を持ち運ぶときに ケースの中で動くのを防ぎます。



● 標準付属品

- A:基本押さえ
 - ※ミシンの押さえホルダーに付いています。
- M:ふちかがり押さえ
- F: サテン押さえ
- ④ G:まつりぬい押さえ
- ⑤ E:ファスナー押さえ
- ⑥ R:ボタンホール押さえ
- ⑦ ボタンホール安定板
- ※⑥、⑦補助テーブルに収納されています。
- ⑧ D:三つ巻き押さえ
- ⑨ F2: クラフト押さえ
- 10 PD-H:フリーキルト押さえ
- ① QC:フリーキルト押さえ(丸穴)
- 12 QO:フリーキルト押さえ(前あき)
- QV:フリーキルト押さえ(透明)
- 14 T:ボタンつけ押さえ
- 15 0:パッチワーク押さえ
- 16 HP: プロフェッショナル直線押さえ
- ① 上送り押さえホルダー (標準)
 - 18 AD:上送り押さえ(標準)
 ※ ①、10 補助テーブルに収納されています。
 - (19) 上送り押さえホルダー(先引き)
- ⑩ 上送り押さえ (先引き)
 ⑳ VD:上送り押さえ (先引き)
- ② VD:上送り押さえ(元51ぎ)
 ③ OD:上送りパッチワーク押さえ
- 20 0D:上送りオープントー押さえ
 22 UD:上送りオープントー押さえ
- ② ED:上送りファスナー押さえ
- 24 P: 刺しゅう押さえ
- 25 PC-1:カウチング押さえ
- 20 PC-2:カウチング押さえ
- ② 補助糸ガイド棒
- 28 針止めひも案内
- 29 直線針板
- 30 プロフェッショナル直線針板(左針位置専用)
- ③ ボビン (5個)
 - ※1つはミシンに付いています。
- 潮 補助糸立て棒
- ③ 針ケース
 - •ブルー針〔11番〕(2本)
 - •レッド針〔14番〕(1本)
 - パープル針〔14番〕(1本)
- •2本針(1本)
- 34 ドライバー
- 35 ミシンブラシ36 シームリッパー
- ③ シームシッハー ③ キルティングガイド
- 38 糸こま押さえ(大)(2個)
- ※1つはミシンに付いています。
- 39 糸こま押さえ(小)(2個)
- ④ 糸こま押さえ(特殊)(2個)
- ④ かま用クリーナー
- ④ ボタンつけプレート
- ④ はさみ
- ④ タッチペン
- 低 布ガイド
- 46 面板レンズ



● 標準付属品

- ① SQ14a 標準刺しゅう枠(テンプレート付き)
- ② RE20a 大型刺しゅう枠(テンプレート付き)
- ③ FA10a 小型刺しゅう枠(テンプレート付き)
- ④ 刺しゅう布保持用マグネットクリップ(4個)
- ⑤ フェルト
- ⑥ 芯地
- ⑦ 刺しゅう下糸
- ⑧ 水溶性の芯地
- ⑨ USB ケーブル
- 10 電源コード
- ① 取扱説明書
- 12 早見表
- ③ USB メモリ(刺しゅうデータ)(2 個)
 ※ 刺しゅうデータの呼び出し(198ページ参照)
- (4) USB 刺しゅうデータ説明ペラ
- 15 フットコントローラー
- ⑯ 刺しゅうユニットケース
- ⑦ ニーリフト
- 18 ミシンカバー
- 19 説明 DVD
- 20 アキュツールズS CD-ROM
- ② アキュツールズS インストールガイド



● 標準付属品収納場所

押さえや付属品は、天板内の小物収納場所や、補助テー ブルの中に収納できます。

補助テーブル内のアクセサリー入れを使用する場合、補助テーブルの左側のくぼみ①に指をかけ、手前に引いて 開けます。

- ② 小物収納場所
- ③ R:ボタンホール押さえ
- ④ AD:上送り押さえ(標準)
- ⑤ 直線針板
- ⑥ ボビン収納場所
- ⑦ 補助糸立て棒
- ⑧ 押さえ収納場所
- ⑨ ボタンホール安定板

※他のアクセサリーは補助テーブルの中に収納できます。



● 補助テーブル

補助テーブル① を取り付けると、広いテーブルでぬうこ とができます。 また、フリーアーム ② を使うときは、横に引き簡単に取 り外すことができます。

補助テーブルの外し方:

補助テーブル①の下側に手をかけ、左に引いて外します。

補助テーブルの取り付け方:

フリーアーム ② に沿わせて、補助テーブルを右に押し込んで取り付けます。

● フリーアームの使い方

補助テーブルを外すと、フリーアーム ② になります。 そで口やすそなどをぬう場合や、袋物のくち端の始末に 利用できます。





○操作方法
 ● 電源のつなぎ方

• 電源は、一般家庭用交流電源 100 V で使用してください。

ミシンを使わないときは、必ず電源スイッチを切り、 電源プラグをコンセントから抜いてください。 感電・火災の原因となります。

- 電源プラグは定期的に乾いた布でふき、ほこりなど を取り除いてください。
- •ほこりなどが付着していると湿気などによって絶縁 不良となり火災の原因となります。

★ スタート/ストップボタンを使用する場合

1 電源スイッチ①を「OFF」(切)にします。
 2 電源コードのプラグ②をプラグ受け③に差し込みます。
 3 電源プラグ④をコンセント⑤に差し込みます。
 ④ 電源スイッチ①を「ON」(入)にします。

メモ:

- 電源スイッチを入れると、ミシンの準備のための初期設定が数秒間行われます。初期設定中は針などが動きますので、ミシンに触れないでください。
- 付属の電源プラグを必ず使用してください。
- 電源スイッチの「ON」(入)、「OFF」(切)の操作 は5秒以上間かくをあけてください。

★ フットコントローラーを使用する場合

- 電源スイッチ①を「OFF」(切)にします。
- ② 電源コードのプラグ ② をプラグ受け ③ に差し込みます。
- ③ フットコントローラープラグ④をフットコントロー ラープラグ受け⑤に差し込みます。
- ④ 電源プラグ⑥ をコンセント⑦ に差し込みます。
- 5 電源スイッチ ① を「ON」(入) にします。

メモ:

- フットコントローラーのコードの取り出し方と収納
 方法は11ページをごらんください。
- フットコントローラーを接続している場合、スタート/ストップボタンは使用できません。
- フットコントローラーは、モデルによってオプションになります。





● 速さの調整

ぬう速さは、スピードコントロールつまみやフットコン トローラーで調整します。

★ スピードコントロールつまみ

スピードコントロールつまみ ① は、スタート / ストップ ボタン使用時のぬう速さを調整できます。

つまみの位置が右側になるほど速くなります。

※フットコントローラー使用時は、フットコントロー ラーをいっぱいに踏み込んだときの最高速度を調整で きます。

★ フットコントローラー

※ フットコントローラーは、モデルによってオプション になります。

フットコントローラーのふみかげんで、ミシンの速さを調整します。

フットコントローラーを深くふむほど、ぬいの速度が速 くなります。

メモ:

- フットコントローラーを一番深くふみこんだときの ミシンの最高速度は、スピードコントロールつまみ で調整します。
- スピードコントロールつまみは、通常、いちばん右 側の位置(最高速)にして、ふみかげんで速さを調 整してください。
- 初心者の方が細かいものをぬうときなどは、スピードコントロールつまみを低速側にしておくと、フットコントローラーをいっぱいに踏み込んでもスピードが出ないので使いやすくなります。
- ミシンに大きな負荷がかかった場合、安全装置が働き自動的に停止するしくみになっています。画面に表示されるメッセージに従ってください。
 (203 ページ参照)

- フットコントローラーの上に物を置かないようにしてください。けがや故障の原因となります。
- フットコントローラーを使用する場合、周辺に糸く ずやほこりがないことを確認してください。
 動作不良を起こし、けが・故障の原因となります。

【コードの取り出し方と収納方法】

1 底のカバー①を外してコード②を取り出します。

- 2 コード②を収納する場合、底のカバー①を外してコードを巻き付けて収納します。
- ③ カバー①は、先に2カ所のつめ③を押し込んでから 取り付けます。



● 操作ボタン

① スタート/ストップボタン

スタート / ストップボタンを押すと、ミシンはゆっくり 動きはじめてからスピードコントロールつまみでセット した速さになります。(スロースタート機能)

もう一度押すとミシンは停止します。通常は針が下の位 置で停止します。

メモ:

- ぬい途中でこのボタンを長押しするとミシンは低速 になり、ボタンを離すと止まります。
- ボタンのランプ色は、ミシン停止中は緑、運転中は 赤になります。
- ボタンを押してスタートさせるときおよび停止させるとき、指をはなさないで押し続けているあいだは低速で動きます。
- フットコントローラーを接続している場合、スタート/ストップボタンは使用できません。
- 動きはじめの速度(スロースタート機能)は、かえることができます。
- (136 ページ「スロースタート調節」参照)
- ミシンを停止したとき、通常は針が下の位置で停止しますが、上の位置で停止にも設定できます。
 (136ページ「針停止位置」参照)

② 返しぬいボタン



模様含む):

《ミシン停止中》(フットコントローラーを接続していないときのみ) ボタンを押しているあいだは低速で返しぬいを行い、 指をはなすとミシンは停止します。

《ミシン運転中》

ボタンを押しているあいだは返しぬいを行い、指をはなすと前進ぬいにもどります。

•その他の模様が選択されている場合:

ぬい途中に返しぬいボタンを押すと、その位置でほつれ 止めの止めぬいを行い、自動的にミシンが停止します。 ミシンが停止しているときに押すと、運転再開後、そ の位置でほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシ ンが停止します。



③ 止めぬいボタン

模様含む):

ぬい途中にボタンを押すと、その位置でほつれ止めの 止めぬいをしてミシンが自動的に停止します。 ミシンが停止しているときに押すと、LED ⑥ が点滅し ます。ミシンをスタートさせると、その場でほつれ止 めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。 LED ⑥ が点灯しているときは使用できます。

•その他の模様が選択されている場合:

ぬい途中にボタンを押すと、模様を完成させたあと、 ほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止 します。

ミシンが停止しているときに押すと、LED ⑥ が点滅します。ミシンをスタートさせると、模様を完成させたあと、止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。 ※ ぬう前にボタンを押しておくと、模様を1つだけぬったあと、ほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。LED⑥ が点滅します。

「通常ぬいオートストップ時の糸切り」を「ON」に設定すると、ほつれ止めの止めぬいをしたあと、自動的に糸を切ります。(139ページ参照)

④ 上下停針ボタン

ミシンが停止しているときにボタンを押すと針の位置が 上にあるときは下へ、下にあるときは上へ移動させるこ とができます。

※ ミシンを停止したときの針位置の設定は、136 ページ 「針停止位置」をごらんください。

⑤ 押さえ上下移動ボタン

ミシンが停止しているときに、押さえをあげたりさげた りします。



⑦ 糸切りボタン

ぬい終わったあとボタンを押すと、上糸と下糸を自動的 に切ります。(自動糸切り)

糸を切ったあと、針は自動的に上の位置に移動します。 (41 ページ【ぬい終わり】参照)

糸切り後は下糸を針板の上に引きあげないで、そのまま の状態でぬうことができます。

糸切り中は、LED ⑧ が点滅します。

LED ⑧ が点灯しているときは使用できます。

※ 通常は、ぬい終わったあと糸切りボタンを押して上糸 と下糸を切りますが、「通常ぬいオートストップ時の 糸切り」を「ON」に設定すると、糸切りボタンを使 用しないで、ぬい終わると同時に自動的に糸を切るこ ともできます。(139ページ参照)

<u>糸切りの注意事項:</u>

- •以下の場合など LED ⑧ が点灯していないとき、糸 切りボタンは使用できません。
 - 電源をつけた直後。
 - 押さえを押さえ上げであげたとき。
 - 糸切りボタンを3回連続で押したとき。
- 30番および 30番より太い糸や特殊な糸を切る場合、 2本針ぬいで糸を切る場合、ミシンの面板に付いて いる糸切りを使用してください。
 (41ページ「面板の糸切りの使い方」参照)
- 糸残りが少ない糸こまは使用しないでください。
 糸がらみの原因となります。
- 糸切り部の掃除をときどき行ってください。
 糸切り部に糸くずがたまると故障の原因となります。(200 ページ参照)
- 糸が切れず糸がからんでしまった場合、ロックキー でミシンをロックしてから針板を外し、からんでい る糸を取り除いてください。(200ページ参照)





● 画面 (タッチパネル)

/1 注意:

画面のキーは付属のタッチペンか指で押してください。 画面を鉛筆、ドライバーなどの硬いものや先の尖った もので押さないでください。(タッチペンを使うこと をおすすめします。)

① ホームキー

目的の模様が属している模様グループを選ぶときに使い ます。ホーム画面が表示されます。

【ホーム画面】

5つの模様グループ分けされたキー(じつようぬい/ボ タンホール / アップリケ〜ユーザー作成模様 / もじぬい / 用途選択)を押して、模様を選びます。

※ もとの画面の上に重ねてホーム画面が表示されます。 ※閉じるキーを押すと前の画面にもどります。

② 通常ぬいモード/刺しゅうモード切りかえキー 通常ぬいを行うか、刺しゅうを行うかを切りかえます。

③ ファイルオープンキー

ミシン本体や USB メモリに保存してある模様データを呼 び出します。(98~99、197~198ページ参照)

④ セットキー

ミシンの設定を変更できます。 共通設定(132~135ページ参照)、通常ぬい設定 (136~139ページ参照)、刺しゅうぬい設定(191~ 195 ページ参照)、言語設定(140 ページ参照)があり ます。

ミシンの基本操作の画像説明ガイドを表示します。

⑥ ロックキー

押さえや針などの部品交換時、糸のセットを行うときな どに使います。ロックキーを押すと、押さえがさがった 状態になります。

すべて(押さえ上下移動ボタンは除く)のボタンやキー の操作ができなくなり、ミシンも動きません。

現在設定されている状態を保持したまま安全に押さえや 針の交換、糸のセットなどを行うことができます。

ロックを解除するにはもう一度ロックキーを押します。

※ 押さえや針、針板の交換、糸のセットなどを行うとき に、ロック状態にしないで、電源スイッチを切った状 態で行うと、押さえ上げで押さえのあげさげができな い場合があります。

⑦ページキー

▶ キーを押すと次のページ、 < キーを押すと前のペー ジに移動します。

ページキーを押し続けるとページが連続でめくれます。

⑧ タッチバー

タッチバーを押しながら右側にスライドさせると次の ページ、左側にスライドさせると前のページにかえるこ とができます。

⑤ ヘルプキー



⑨ 模様グループ名称とページ

選ばれている模様グループの名称とページが表示されます。

10 設定キー

選ばれている模様に設定されているぬい条件をお好みの ぬい条件に変更できます。(32~33ページ参照)

① 模様グループ選択キー

目的の模様が属している模様グループを選びます。 (31ページ参照)

2 模様選択キー

模様を直接選んでぬうことができます。

13 調整キー

選ばれている模様のぬい目の幅、あらさ、糸調子、押さ え圧の変更ができます。 模様によって、調整項目は異なります。 (34 ~ 36 ページ参照)

⑭ 適正な押さえの表示

選択した模様の代表的なぬいに適した押さえが表示され ます。 ぬい目的によって、使用する押さえは異なります。

15 イメージ表示部

選択した模様のぬいイメージが表示されます。

16 模様頭出しキー

模様をぬっている途中でミシンを止めた場合、次にぬう ときにその模様の最初からぬうことができます。 (86 ページ参照)



● 押さえの外し方、付け方

<u> (</u>注意:

- 押さえを交換する場合、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。けがの原因となります。
- 押さえは模様に合ったものを使用してください。 押さえが合っていないと針が押さえにあたり、けがの原因となります。

【押さえの外し方】

- 1 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタン①を 押して針をあげます。
 ロックキー②を押してミシンをロックします。
 (14 ページ参照)
- 2 押さえ上げ 3 をあげます。
 - ※ 押さえ上下移動ボタンで押さえをあげると、この あと押さえ上げ③で押さえをさげることができ ません。

③ 押さえホルダー④のレバー⑤をうしろ側から手前に 押し、押さえ⑥を外します。



レバー ⑤ を上から押さないでください。 故障の原因となります。

【押さえの付け方】

交換する押さえのピン ⑦ を、押さえホルダーのみぞ ⑧ に 合うように真下へおきます。 押さえ上げをゆっくりさげ、押さえ ⑥ を取り付けます。

※ 押さえは、模様に合ったものを使用してください。 押さえには押さえ記号 ⑨ が付いています。



● 押さえホルダーの外し方、付け方

上送り押さえや PD-H:フリーキルト押さえなどを使用 する場合、押さえホルダーを外します。

1 注意:

押さえホルダーの取り付け、取り外しを行う場合、必 ずロックキーを押してミシンをロックしてください。 けがの原因となります。

【押さえホルダーの外し方】

- 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタン①を 押して針をあげます。
 ロックキー②を押してミシンをロックします。 (14ページ参照)
- 2 押さえ上げ 3 をあげます。

③ ドライバーで押さえホルダー止めねじ ④ を左にまわ してゆるめ、押さえホルダー ⑤ を外します。

【押さえホルダーの付け方】

メモ: 押さえホルダーは、押さえが付いた状態で取り付けて ください。押さえが付いていないと正常な取り付けが できません。

電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタン ① を押し て針をあげます。

ロックキー ② を押してミシンをロックし、押さえ上げ ③ をあげます。

※ 押さえ上下移動ボタンで押さえをあげると、このあと 押さえ上げで押さえをさげることができません。

押さえホルダーのみぞ ⑥ を、うしろ側から押さえホル ダー止めねじ ④ に合わせ、押さえホルダー ⑤ を仮止め します。

押さえ上げ ③ をゆっくりさげます。はずみ車を手前にまわし、針をいちばん下までさげます。

押さえホルダー止めねじ④を一度少しゆるめてから、押 さえが針板に押し付けられた状態で押さえホルダー止め ねじ④を右にまわしてドライバーでしっかりしめます。



● 上送り押さえの付け方、外し方

<u> (</u>注意:

上送り押さえの取り付け、取り外しを行う場合、必ず ロックキーを押してミシンをロックしてください。け がの原因となります。

メモ:

上送り押さえホルダーは、押さえが付いた状態で取り 付けてください。押さえが付いていないと正常な取り 付けができません。

【上送り押さえの付け方】

 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタン①を 押して針をあげます。

ロックキー ② を押してミシンをロックし (14 ページ参照)、押さえ上げ ⑧ をあげます。

※ 押さえ上下移動ボタンで押さえをあげると、この あと手順 ④ で押さえあげで押さえをさげること ができません。

ドライバーで押さえホルダー止めねじ④ を左にまわ してゆるめ、押さえホルダーを外します。 (17 ページ参照)

- ② 上送り押さえホルダーのみぞ ③ を押さえホルダー止めねじ ④ に合わせ、押さえホルダー止めねじ ④ を上送り押さえホルダー ⑤ にふれる位置まで指で右にまわし、上送り押さえホルダー ⑤ を仮止めします。
- ③ 上送り押さえホルダー ⑤ のフック部 ⑥ をうしろ側か ら手前に「カチン」と音がして止まるまでしっかりと 押し付けます。
 - ※ 上送り押さえホルダー ⑤ のフック部 ⑥ が上送り 取り付けピン ⑦ にしっかりと押し付けられた状 態になっていないと、上送りが正常にはたらきま せん。
- ④ 押さえ上げ ⑧ をゆっくりさげます。
 はずみ車を手前にまわし、針をいちばん下までさげます。

⑤ 押さえホルダー止めねじ④ を一度少しゆるめ、上送り押さえが針板に押し付けられた状態で、ドライバーでしっかりしめます。

【上送り押さえの外し方】

上送り押さえホルダーを外すときは、通常の押さえホル ダーを外す場合と同じ方法(17 ページ【押さえホルダー の外し方】参照)で針と押さえを上げ、押さえホルダー 止めねじをゆるめてから上送り押さえホルダーをうしろ 側に引いて外してください。









- ★ HP: プロフェッショナル直線押さえ
- 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタン①を 押して針をあげます。
 ロックキー②を押してミシンをロックし(14 ページ参照)、押さえ上げ⑤をあげます。
- 2 ドライバーで押さえホルダー止めねじ ③ を左にまわしてゆるめ、押さえホルダーを外します。 (17ページ参照)
- ③ 押さえ棒④にHP:プロフェッショナル直線押さえを 図のように取り付けます。 押さえホルダー止めねじ③を軽くしめ、押さえを仮 止めしておきます。
- ④ 押さえ上げ ⑤ をゆっくりさげます。
 はずみ車を手前にまわし、針をいちばん下までさげます。

- ⑤ 押さえホルダー止めねじ③を一度少しゆるめます。 押さえが針板に押し付けられた状態で、押さえホル ダー止めねじ③をドライバーでしっかりしめます。
- ⑥ ロックキー②を押して、ロック状態を解除します。
- ※ 取り外すときは、電源スイッチを入れた状態でロック キー②を押してミシンをロックします。 針と押さえ上げ⑤をあげ、押さえホルダー止めねじ③ をドライバーでゆるめ、押さえを取り外します。

★ P:刺しゅう押さえ

P:刺しゅう押さえを押さえ棒のうしろから取り付けます。(145ページ参照)

押さえホルダー止めねじ ① をドライバーでしっかりとし めます。

★ PC-1、PC-2:カウチング押さえ

PC-1、PC-2 カウチング押さえを、押さえ棒の前から取 り付けます。

押さえホルダー止めねじ ① をドライバーでしっかりとし めます。



●針板の外し方、付け方

<u> (</u>注意:

針板の交換を行う場合、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。けがの原因となります。

メモ:

- 直線針板を取り付けると、直線針板でぬえない模様 は選択できなくなります。
- プロフェッショナル直線針板(左針位置専用)は、
 付属の HP: プロフェッショナル直線押さえと一緒
 に使います。(48 ページ参照)

【針板の外し方】

- 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタン①を 押して針をあげます。
 ロックキー②を押してミシンをロックします。
 (14ページ参照)
 - 押さえ上下移動ボタン③を押し、押さえをあげます。
 ※押さえをあげるとき、押さえ上げであげるよりも 押さえ上下移動ボタン③であげるほうが高くあ がり、針板が取り外しやすくなります。
- 2 補助テーブルを左に引いて外します。
 フリーアーム中央の下にある針板開放レバー④をさじて、針板⑤を外します。

【針板の付け方】

- ミシンの針板取り付け部左側に針板の2つのガイド⑥ を入れます。
 - ※ ミシンの電源スイッチが入っている場合、針板が 外れているあいだ、針板が外れていることを示す 警告メッセージ画面が表示されます。 針板を取り付けたとき、警告メッセージ画面が消 えることを確認してください。消えない場合、も う一度取り付け直してください。
- ② 針板右側にある「◎」マーク⑦が付いている場所を 「パチン」と音がするまで指でしっかりと押しつけて、 針板を固定します。
- ※ 針板を取り付け後、押さえ確認のメッセージ画面が表示されます。押さえを確認したあと、閉じるキー®を 押します。また、はずみ車を手で手前にゆっくりまわ して、針が針板にあたらないことを確認してください。
- ※ メッセージ画面が消えたら、ロックキー ② を押して ロックを解除します。







● 布に適した糸や針を選ぶ目安

【通常ぬいの場合】

布の種類		糸	針	
うすい 布	ローン ジョーゼット トリコット	ポリエステル 90 番	9番~ 11番 または ブルー針	
普通の	シーチング ジャージー	絹糸 50 番、 綿糸 60 番、 ポリエステル、ナイ ロン 50 番〜 90 番	11 番〜 14 番 または ブルー針、レッド針、 パープル針	
	一般ウール地	綿糸 50 番	14 番 または レッド針、パープル針	
厚い布	デニム ツィード コート地	絹糸 50 番 綿糸 40 番〜 50 番 ポリエステル 40 番 〜 50 番		
		ポリエステル 30 番、 綿糸 30 番	16番	

- ※ ブルー針〔11 番〕、レッド針〔14 番〕、パープル針 〔14 番〕は、標準付属品の針ケースに入っています。
- ※一般的に、うすい布には細い糸と細い針を、厚い布には太い糸と太い針を使用します。この表を目安に糸と 針を選び、試しぬいをしてください。
- ※ 通常は、上糸と下糸は同じものを使用してください。
- ※ ブルー針(柄の部分が青色の針)およびパープル針(柄の部分が紫色の針)は、目とび防止の効果があります。

● 針の取りかえ方

<u> (</u>注意:

針を交換する場合、必ずロックキーを押してミシンを ロックしてください。けがの原因となります。

 1 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタン①を 押して針をあげます。
 ロックキー②を押してミシンをロックします。
 (14 ページ参照)

押さえは、さがった状態のままにしておきます。

- 2 針止めねじ ③ を手前に 1 ~ 2回まわしてゆるめ、針 を外します。
- 3 交換する針の平らな面 ④ を向こう側に向け、差し込み ます。

差し込むとき、針を停止ピン ⑤ にあたるところまで 押しあげます。針止めねじをドライバーでまわし、針 をしっかり止めます。

※ 正しく針が付けられていないと、糸通しができな いだけでなく、針がゆるんで針折れして危険です。

【針の調べ方】

【刺しゅうの場合】

針の状態を見るには、針の平らな面を針板などの平らな ものに乗せます。

針と平らな面のすきま ⑥ が針先まで均等に見えるのが良い 針です。

針先が曲がったり、つぶれたりしているものは使わない でください。

布の種類	糸	針
うすい布		11番
普通の布、		または
ット地	ミシン刺しゅう糸	
		14 番
厚い布		または
		レッド針

※ 刺しゅうには、刺しゅう専用の下糸を使用してください。

※ レッド針を使用して目とびしやすい場合、パープル (紫)針を使用してください。目とび防止の効果があ ります。





● 押さえ上げ

押さえ上げ②は、押さえを交換するときや、厚い布を入れるときなど特殊な場合に使います。

押さえ上下移動ボタン①、押さえ上げ②、もしくはニー リフトで、押さえのあげさげを行います。

ニーリフトや押さえ上げ ② を使用すると、押さえ上げを 普通にあげて止まる位置 ② より 7 mm 高くあげる ③ こ とができます。

厚い布が入れやすくなります。

メモ:

- ・押さえ上下移動ボタン①で押さえをあげた場合、 押さえ上げ②で押さえをおろすことはできません。
 一度、押さえ上下移動ボタン①を押して押さえを さげると、押さえ上げ②で押さえを上下できるようになります。
- 通常、押さえのあげさげには、押さえ上下移動ボタン①を使用します。
 押さえ上げ②を使用すると、ミシンがスタートしなかったり、自動糸切りができなかったりする場合
- があります。 • 押さえを一番高くあげた状態ではずみ車をまわした
- り、上下停針ボタン①を押したりしないでください。

● ニーリフト

ニーリフトを取り付けると、押さえ上下移動ボタンを使わず、ひざで押さえのあげさげができます。 パッチワークや、キルトをぬうときにとても便利です。 ニーリフトを使用したバリアブル ZZ(可変ジグザグ)は 128 ~ 129 ページをごらんください。

【ニーリフトの取り付け】

ニーリフト①の凸部②を取り付け穴の凹部③に合わせ、 差し込みます。

【ニーリフトの角度調整】

ねじ④ をゆるめて、ニーリフト① を出し入れし、角度 を調整します。ねじ④ をしめ、お好みの角度でニーリフ ト① を固定してください。

【ニーリフトの使い方】

ニーリフトをひざで右側に押すと押さえがあがり(2段階)、もどすと押さえがさがります。

※ ぬっている途中、ニーリフトには触れないよう注意してください。







● 送り歯ドロップつまみ

送り歯ドロップつまみで送り歯を常時さげた状態にし、 布送り機能をなしにすることができます。

しつけぬいやボタンつけ、フリーキルティングなどを行 うときに使用します。

送り歯②をさげるには、送り歯ドロップつまみ①を手前の方向に引きます。

送り歯 ② をあげるには、送り歯ドロップつまみ ① を 〔送り歯をあげる位置〕にもどします。

※送り歯をさげた場合、ぬい終わったら送り歯ドロップ つまみ①を〔送り歯をあげる位置〕にもどし、はず み車を手で手前にまわして送り歯があがることを確認 してください。

メモ:

送り歯をさげてミシンをスタートさせると画面にメッ セージ画面が表示されます。 送り歯を確認したあと、閉じるキー③を押してミシ ンをスタートさせると、送り歯をさげた状態で運転する ことができます。

● 面板レンズ

面板レンズをミシンに取り付けると針元が大きく見えるので、細かいぬい作業などに便利です。



- 面板レンズで太陽光などの強い光を見ないでください。目を損傷するおそれがあります。
- 面板レンズを直射日光などの強い光があたる場所に 放置しないでください。火災の原因となります。

▲ 注意:

面板レンズは、ぶつけたり、過度な力を加えたりしないでください。けが・破損の原因となります。

【面板レンズの付け方】

- 面板レンズのつまみ①を持ち、図のように面板レンズを正面に向けた位置で、面板レンズの取り付け軸② をミシンの取り付け穴③に止まるまで押し込み取り付けます。
- 2 見やすい角度に調整します。
- ③ 面板レンズを使わない場合、レンズ部分を横に回転させたり、レンズだけを取り外したりすることもできます。

【面板レンズの外し方】

取り外す場合、レンズを正面に向けた位置で面板レンズの つまみ ① を下側にさげます。



◎ぬう前の準備

● 下糸の準備

ナイロン透明糸およびメタリック糸を、下糸に使用しな いでください。

★ ボビンの取り出し

押さえ上げをあげ、角板開放ボタン①を右へずらして角 板②を外します。

ボビン③を取り出します。

お願い:

- ボビンは当社専用のプラスチックボビンを使用して ください。(お買い上げの販売店へご相談ください。)
- 金属ボビンは使用しないでください。
 釜にマグネットが使用されているため、糸調子の不具合や、故障の原因となります。

★ 糸こまのセット

糸立て棒③をおこします。糸の端④が糸こま②の下から手前に出るように糸こま②を糸立て棒③に入れます。 糸こま押さえ(大)①を糸こま②にしっかりと押しつけ、糸こまを押さえます。

普通の糸こまには糸こま押さえ(大)① を、小さい糸こまには、糸こま押さえ(小)⑤ を使います。

メモ: レジロンなど伸縮性の糸を使用する場合、市販の糸こ まネット ⑥ の使用をおすすめします。 糸外れや糸のよじれ防止効果があります。

糸外れや糸のよじれ防止効果があります。 糸こまネットは、糸こまの大きさに合わせて折り曲げ るか、切って使用してください。

下記の長さの糸こまを固定する場合、特殊糸こま押さ え ⑦ を使用します。

サイズは以下の通りです:

糸こまの芯の直径が 9.5 mm ~ 10.5 mm で、糸こまの長 さが 70 mm ~ 75 mm。

糸こまの芯の穴の中に特殊糸こま押さえ ⑦ を図のように しっかりと入れ、糸こまを押さえます。

※ 糸こまと糸こま押さえ(特殊)⑦ のあいだには、す きまがないようにしてください。

★ 補助糸立て棒の使い方

ぬいの途中で下糸巻きを行いたい場合、補助糸立て棒① を使います。(26ページ参照)

補助糸立て棒①を補助糸立て棒取り付け穴②に差し込みます。(正しい位置に差し込むと、補助糸立て棒①は回転せず、固定されます。)

糸こま ③ を補助糸立て棒 ① に取り付け、糸こま押さえ (大) ④ で固定します。

メモ: 補助糸立て棒 ① は 2 本針ぬいをする場合にも使用し ます。(130 ページ参照)



★ 下糸巻き

メモ: 下糸巻きのときは、スピードコントロールつまみを、 最高速(いちばん右側の位置)にしてください。 (11 ページ参照)

補助糸立て棒使用時の下糸巻き

補助糸立て棒を使用する場合、糸は糸かけ板① にかけず糸案内カバー(B)③ にかけます。



- 糸こまから糸を引き出します。
 糸を両手で持ち、糸かけ板 ① にかけます。
- ② 糸案内カバー(A) ② の上から糸案内カバー(B) ③ の左うしろに糸をまわし、必ず強めに右に引き出します。
 - ※ 糸を補助ばね ④ の下へ確実に通すために、糸こ ま側の糸を左手で持ち、引き出した糸を右手で強 めに引いてください。補助ばね ④ の下を通して いないと、糸巻き不良の原因となります。
- ③ 糸巻き軸 ⑤ にボビン ⑥ を差し込みます。
- ④ 右に引き出した糸を左手で押さえ、右手で糸の端をボ ビンに右まわり(時計まわり)に4~5回巻きます。
- ⑤ ボビンに巻いた糸を糸切りホルダー⑦のみぞ⑧に入れて引き、糸を切ります。みぞ⑧は3カ所あり、中にカッターが内蔵されています。
- ⑥ ボビンをボビン押さえ ⑨ の方に押しつけます。
 画面が「糸巻き中」の表示になります。
- ⑦ ミシンをスタートさせます。
- ⑧ ボビンが巻き終わると、自動的に回転が止まります。
 ミシンを止め、ボビンを左側に押してもとの位置にも どします。
- ③ 糸巻き軸 ⑤ からボビン ⑥ を外し、糸を糸切り(下糸 巻き用) ⑩ で切ります。

メモ: 安全のため、ミシンは下糸巻きが始まってから約1分30秒後に自動的に止まります。 ボビン(糸巻き軸)は必ずミシンを停止してから元の位置にもどしてください。

26



★ ボビンのセット

▲ 注意:

ボビンを内がまにセットする場合、必ずロックキーを 押してミシンをロックしてください。 けがの原因とな ります。

- 1 電源スイッチを入れた状態でロックキー①を押し、ミシンをロックします。(14ページ参照)
 針がさがっている場合、はずみ車を手で手前にまわして針をあげ、押さえ上げをあげます。
 ボビンから出る糸の端②が反時計まわりになるようにし、図のようにボビンを内がま③に入れます。
 (ボビンから引き出される糸の状態の図が角板④に表示されています。)
- ボビンが回転しないように、右手で押さえます。
 糸の端を内がまの手前のみぞ⑤ にかけます。
 糸を左に引き、つの⑥ の下をくぐらせます。
 - ※ 糸を各部に確実にかけるため、手順 ④ が終わる まで右手でボビンを押さえておきます。
- ③ つのの下をくぐらせた糸を、矢印1の方向に引きあげて矢印1の右側のみぞ⑦に入れます。
 糸が左側のみぞ⑧から出ているのを確認してください。

メモ:

手順 ② で、内がまの手前のみぞ ⑤ に糸がかかってい ないと、内がまの板ばね ⑨ のあいだに糸が入らず、 ボビンから直接 1 と書いてある矢印の右側のみぞ ⑦ に通ってしまいます。(左図 B 参照) その場合は手順 ② からかけ直してください。正しく かけられていないと、ぬい不良の原因となります。

- ④ みぞ ⑩ に沿って矢印 2 の方向に糸を通し、下側のカッ ター(下糸切り用) ⑪ にかけて右に水平に引いて糸 を切ります。
- 5 角板 ④ を左側から合わせて取り付けます。 角板を下へ押してミシンに取り付けます。

メモ:

- 通常は下糸を引き出さずにぬい始めることができます。
- ぬい始めに下糸を針板の上に引き出す必要がある場合、30ページをごらんください。



● 上糸かけ

<u>▲</u>注意:

糸をかけるときは、必ずロックキーを押してミシンを ロックしてください。けがの原因となります。

メモ:

- 糸こまが外れるのを防ぐため、必ず糸こま押さえを 使用してください。
- 上糸かけは、糸を各部に確実にかけるために、常に 右手で糸こま側の糸を押さえながら、左手で強めに 引いてかけてください。

電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタンを押し、針 と天びんを上にあげます。

ロックキー①を押してミシンをロックします。

(14ページ参照)

押さえはさがった状態になります。

※ ミシンがロックされていないと、糸が正しくかけられ ず、ぬい不良の原因となります。

糸を1から2の順にかけます。

- 糸こまから糸を引き出します。
 糸を両手で持ち、糸かけ板②にかけます。
- ② 右手で糸こま側の糸を押さえ、糸案内カバー(A) ③
 にかけます。
 右のみぞ ④ に沿って糸をしっかりと引きます。

- ③ 糸を右のみぞ④から糸案内板⑤の下へくぐらせます。 糸を引きあげて左のみぞ⑥に通します。
- ④ 糸こま側の糸を押さえながら、天びんの右からうしろ へまわして手前に引き、ばね⑦を通過させて糸穴⑧ に入れ、まっすぐ下へおろします。
- ⑤ 糸をアーム糸案内 ⑨ に右からかけます。
- ⑥ 糸を針棒糸かけ ⑩ に右からかけます。
- ⑦ 糸通しを使い、針穴に糸を通します。 (29 ページ参照)





下糸を針板の上に引き出す場合

自動糸切り後やボビンを内がまにセットしたあとは、下 糸を引きあげずにぬいをスタートすることができます。 ただし、ギャザーやスモッキングなどをぬう場合に、ぬ い始めの下糸を長くする必要があるときは、下記手順で 下糸を針板の上に引き出します。

 電源スイッチを入れた状態で、ロックキー①を押し、 ミシンをロックします。(14ページ参照)
 針がさがっている場合、はずみ車を手で手前にまわして針をあげ、押さえ上げをあげます。
 ボビンを取り出します。
 ボビンをもう一度内がまに入れ、27ページの手順
 ① ~ ③と同じ方法で下糸②を矢印1の方向に引きあげてみぞに入れたら、そのまま10 cm ほど向こう側に引き出しておき、角板③を取り付けます。

メモ: 下糸はカッター(糸切り)④ で切らないでください。

② 針に上糸⑤を通し、押さえ上げをあげた状態で、上糸⑤の端を指で押さえます。

③ ロックキー①を押しロックを解除します。
 上下停針ボタン⑥を押して針をさげ、もう一度押して針をあげます。
 上糸⑤を軽く引くと下糸②の輪が引き出されます。

 ④ 上糸 ⑤ と下糸 ② を押さえの下からうしろ側に 約 10 cm ほど引き出して、そろえておきます。





〔キルトグループ模様選択画面〕(2/6ページ)



● じつようぬいの画面

電源投入時はじつようぬいグループの模様選択画面にな ります。

じつようぬいグループには、23個の模様(模様番号1~23)があり、2つのページ(画面)に分かれています。(ページキーで選択)

じつようぬいグループの画面は、模様選択キー・設定キー・ 模様頭出しキーなどのキーと、選ばれている模様のぬい 情報や設定状態が表示されています。

※ ぬい情報や設定状態の表示は、14 ~ 15 ページを ごらんください。

★ 設定キー(通常ぬいモード)

模様に設定されているぬい条件をお好みのぬい条件に変 更します。

選ばれている模様によっては、グレーになっていて使用 できない設定キーがあります。

① ピボットぬい設定キー

ピボットぬいを行う場合に押します。(36 ページ参照) ピボットぬい設定をすると、ミシンを止めたときに針が 布にささり、押さえがあがった状態になります。

ぬい方向をかえてぬうときに、自分で押さえをあげる必要がなく、ぬい位置もずれず、きれいにぬうことができます。

② 2本針ぬい切りかえキー

付属の2本針を使用して2本針ぬいを行う場合に押します。(131ページ参照)

③ 上送りぬい切りかえキー

付属の上送り押さえを使用して上送りぬいを行う場合に 押し、上送りぬいに設定します。 (46 ~ 47 ページ参照)

3) 調整キー

調整キーを押すと調整画面が全体表示されます。調整画 面では、ぬい目の幅(直線状模様の場合は針位置)、ぬい 目のあらさ、糸調子の設定値の変更や、押さえ圧の設定 などを行うことができます。(34 ~ 36 ページ参照)

⑤ 模様頭出しキー

模様をぬっている途中でミシンを止めた場合、次にぬう ときにその模様の最初からぬうことができます。 一度押すと現在ぬいかけの模様を最初からぬい直します。 二度押すと現在ぬっている組み合わせ模様の先頭の模様 からぬい直します。(86ページ参照)

⑥ 左右反転キー

選択した模様を左右反転させてぬうことができます。 (82~83ページ参照)

⑦ 上下反転キー

選択した模様を上下反転させてぬうことができます。 上下反転できない模様のキーはグレーになり選択できな くなります。(82 ~ 83 ページ参照)

⑧ テーパリングキー

テーパリングキーを押すと、テーパリング角度選択画面 が表示されます。

テーパリング設定できない模様のキーはグレーになり選 択できなくなります。(78ページ参照)



〔文字ぬい ブロック体の模様選択画面〕(1/5ページ)



〔文字ぬい 明朝体の模様選択画面〕(1/3ページ)



⑨ 模様組み合わせキー

お好みの模様を組み合わせてぬう場合に押します。 模様組み合わせモードとなります。(80ページ参照) 左右反転キー⑥、上下反転キー⑦、削除キー⑩、保存 キー⑪、カーソル移動キー⑫が表示されます。

10 削除キー

カーソルの付いている模様を削除します。 カーソルはカーソル移動キー ⑫ で移動させます。 模様を組み合わせた状態でカーソルが最後の模様の外側 にある場合、最後の模様が削除されます。 (85 ページ参照)

11 保存キー

組み合わせた模様をミシンや USB メモリに保存できます。(95 ~ 96 ページ参照)

12 カーソル移動キー

カーソルを移動させて、組み合わせた模様の中から変更したい模様(場所)を選ぶことができます。 (85ページ参照)

13 文字高さ切りかえキー

文字の高さを約 2/3 にし、文字を小さく(低く)することができます。(94 ページ参照)

(4) 大文字・小文字切りかえキー

大文字と小文字を切りかえます。 模様選択キーの表示も同時に切りかわります。 (91 ページ参照)

メモ:

ひらがな・カタカナ切りかえキー ⑮ と横書き・縦書 き切りかえキー ⑯ は明朝体 (9 mm)、まるもじ (9 mm) を選択した場合に表示されます。

15 ひらがな・カタカナ切りかえキー

ひらがなとカタカナを切りかえます。 模様選択キーの表示も同時に切りかわります。 (91 ページ参照)

16 横書き・縦書き切りかえキー

横書きと縦書きを切りかえます。(91ページ参照)



● じつようぬいの調整画面

模様選択画面の調整キー①を押すと、調整画面②が全体表示されます。ぬい目の幅(直線状模様の場合は針位置)④、ぬい目のあらさ⑤、糸調子⑥、押さえ圧⑦を変更できます。

変更したい項目の「+」もしくは「一」キーを押します。 初期化キー ③ を押すと初期の設定値にもどります。

調整キー ① をもう一度押すと調整画面 ② が小さくなり ます。

④ ぬい目の幅の調整キー

【直線ぬいの場合】

針位置をかえることができます。

- •「+」キーを押すと針が右に移動します。
- •「一」キーを押すと針が左に移動します。
- ※ 直線状模様の場合、画面の数値は、左の針位置からの 距離の目安が表示されています。(単位:mm) 左針位置が「0.0」、中針位置が「4.5」、右針位置が「9.0」 になります。
- ※ 初期化キー③を押すと、オート値(電源を入れたときに自動的に設定されている値)にもどすことができます。

【ジグザクぬいの場合】

ぬい目の幅をかえることができます。

- •「+」キーを押すとぬい目の幅が広くなります。
- •「一」キーを押すとぬい目の幅がせまくなります。
- ※ 画面の数値は、ぬい目の幅の目安が表示されています。(単位:mm)



ぬい目の幅の基準位置

ミシン天板の早見板や模様選択キーのイラストの右に 書かれている「L」、「M」、「R」は、ぬい目の幅をかえ たときの基準位置です。

- •「L」: ぬい目の幅をかえたとき、左針位置を基準 (固定)に右に幅が変化します。
- •「M」:ぬい目の幅をかえたとき、中針位置(中央) を基準(固定)に左右に幅が変化します。
- •「R」:ぬい目の幅をかえたとき、右針位置を基準 (固定)に左に幅が変化します。






⑤ ぬい目のあらさの調整キー

ぬい目のあらさをかえることができます。

- •「+」キーを押すとぬい目があらくなります。
- •「一」キーを押すとぬい目が細かくなります。
- ※ 初期化キー③を押すと、オート値(電源を入れたときに自動的に設定されている値)にもどすことができます。
- ※ ぬい目のあらさは、布や糸によってかわります。 画面の数値は、ぬい目のあらさの目安が表示されています。(単位:mm)



⑥ 糸調子の調整キー

糸調子は選択した模様に合わせて、上糸と下糸がバラン スよくぬえるよう自動的に設定されています。 糸や布の種類、ぬい方などによって自動設定のままでは 糸調子のバランスがとれない場合、糸調子調整キー⑥で 調整します。

メモ:

- 糸調子が正しく調整されていないと、ぬい目がきた なくなったり、布にしわがよったり、糸が切れたり します。
- 糸調子調整キーで調整した場合、画面のアイコン表 示が「オート」から「マニュアル」にかわります。
- ・模様ごとに自動セットされる糸調子(オート値)を すべての模様に対して全体的に強くしたり、弱くし たりできます。(136ページ「糸調子」参照)

【バランスのとれた糸調子】

直線ぬいの場合、上糸と下糸が布のほぼ中央で交わります。

ジグザグぬいの場合、布の裏側に上糸が少し出るくらい になります。





● じつようぬいの調整値の保存

調整した、ぬい目の幅(針位置)、ぬい目のあらさ、糸調子、 押さえ圧など、選択した模様による設定内容をお好みの ステッチ調整値(FS)として保存することができます。 「ステッチの調整値を保存(FS)」を「ON」①(139ペー ジ参照)に設定すると、ぬい目の幅(針位置)、ぬい目の あらさ、糸調子、押さえ圧のオート値(電源を入れたとき、 ミシンに自動的に設定されている値)をお好みの値に変 更して保存することができます。

オート値をお好みの値に変更して保存しておくと、その 模様を選ぶだけで、保存した値でぬうことができます。

メモ:

- •お好みステッチ調整は、ユーザー作成模様に適用することはできません。
- お好みステッチ調整は、文字ぬいモード時は使用できません。

変更した調整値の保存・削除方法

【保存する】

- 例:針位置の値を 4.5 から 5.0 に変更する。
- セットキーで「ステッチの調整値を保存(FS)」①を「ON」 に設定します。(139ページ参照)
 ※ 初期の(購入時の設定)状態は「OFF」に設定さ れています。
- 2 じつようぬい模様

調整キー ② を押し、調整画面を全体表示させます。 お好みステッチ調整キー (FS) ④ が調整画面に表示 されます。 ぬい目の幅の調整キー ③ の「+」キーを押し、針位 置を「4.5」から「5.0」に変更します。 お好みステッチ調整キー (FS) ④ を押します。

- ③ もとの画面の上に重ねて保存・削除画面が表示されます。 保存キー⑤を押し、お好みのステッチ調整値を保存 します。
- ④ お好みステッチ調整で保存した調整値は、黄色⑦ で 表示され、初期の状態から変更されていることを示し ます。

【削除する】

保存した調整値を削除するにはお好みステッチ調整キー (FS) ④ を押し、保存・削除画面で削除キー ⑥ を押します。 調整画面に切りかわり、数値を囲む黄色枠が消えます。 ※ 調整値をオート値にもどす場合、初期化キー ⑧ を押 します。

【変更した調整値の一括削除】

変更した全模様の調整値を一括して初期の状態(購入時の設定状態)にもどす方法は、139ページ「ステッチの調整値を保存(FS)」をごらんください。



● 布ガイド設定キー

布ガイド①を使用するときに設定します。 布ガイドを使用すると布端②からお好みの位置を正確に ぬうことができます。

<u> (</u>注意:

- ミシンの左側にぶつかるものがないように十分なスペースを取ってください。
- ボタンホール押さえをミシンに取り付けている場合、布ガイドを使用しないでください。
- 布ガイド使用時は、補助テーブルを開くことはできません。

【布ガイドの取り付け方】

ミシンの電源を切り、ミシンに刺しゅうユニットを取り 付けます。(142 ページ参照)

 ミシンの電源を入れ、調整キー③を押し、調整画面 を全体表示させます。
 布ガイド設定キー④を押します。

- メッセージ画面が表示されます。
 OK キー ⑤ を押します。
 キャリッジが左に移動し、布ガイド設定画面が表示されます。
 - ※ 電源投入時の布ガイドの位置は、15 mm に設定 されています。

 ③ 布ガイド①のつまみ⑥を横に向け、布ガイドの凹部⑦ をキャリッジ⑨の凸部⑧に合わせて差し込みます。
 つまみ⑥を右方向にまわして縦に向け、布ガイド① を固定します。







● 直線ぬい

じつようぬいの模様1~5は直線ぬいです。 模様選択キーを押してお好みの模様を選びます。

★ 直線ぬい(中針位置)でぬう場合



【ぬい始め】

 上糸を押さえの下から向こう側に引き出した状態で布 を入れ、糸と布を左手で押さえ、はずみ車を手で手前 にまわして最初のぬい位置に針をさします。

- 押さえ上下移動ボタン①で押さえをさげ、ミシンを スタートさせ、ぬいます。
- ※ 下糸(ボビン)をセットした直後および糸切りボタン ② を使用して糸を切ったあとのぬい始めは、下糸を針板の 上に引き出す必要はありませんが、上糸は必ず向こう側 に引いて、押さえで押さえてください。
- ※ ぬい始めのほつれ止めは、返しぬいボタン ③ を押し ます。

ぬい始めの糸の引き出し方

F:サテン押さえ、F2:クラフト押さえや R:ボタンホー ル押さえなどのように、押さえの向こう側(うしろ側) の底があがっていて、糸を押さえる部分がない押さえ の場合、ぬい始めの上糸④は横方向に引き出して押 さえてください。(イラストは F:サテン押さえ)

【厚手の布端のぬい始め】

A:基本押さえの黒ボタン①を押した状態で押さえをさ げると押さえが水平に固定されます。段差のある布をぬ うときや、布の折り返しをぬうときに便利です。

- 最初のぬい位置に針をさし、A:基本押さえの黒ボタン①を押し込みます。
- ② 黒ボタン①を押したまま、押さえをさげます。 押さえが水平に固定され、段差をスムーズにぬい始め ることができます。
 黒ボタン①から手をはなし、ぬい始めます。
- ※ ぬい始めると黒ボタンがもどり、押さえはもとの自由 に動く状態になります。









【ぬい方向の変更】

- 1 布の方向をかえる位置でミシンを停止します。
- ② 布に針がささっていない場合、上下停針ボタン ① を 押して針を布にさし、押さえ上下移動ボタン ② で押 さえをあげます。
 - ※ 通常はミシンを停止すると、針が布にささった状態になっています。上の位置で停止にも設定できます。(136ページ「針停止位置」参照)
- ③ 針を布にさしたままぬい方向をかえ、押さえ上下移動 ボタン② で押さえをさげてぬい始めます。

※ ぬい位置がずれず、きれいにぬうことができます。

メモ:

ピボットぬい設定をすると、ミシンを止めたときに針 が布にささり、押さえがあがった状態になります。 (36 ページ参照)

【ぬい終わり】

- ぬい終わりの位置で返しぬいボタン①を押して数針 返しぬいを行い、ミシンを停止します。
- ② 糸切りボタン ② を押して糸を切ります。
 - ※ 針と押さえがさがった状態のままでも、糸切りボ タン ② を押すと針と押さえは上の位置に移動し ます。
- ③ 布を向こう側に引き出します。
 - ※ ぬい始めとぬい終わりのほつれ止めを自動的に行う自動返しぬい模様 [」。

でぬっている場合、ぬい終わりの位置にきたら、 返しぬいボタンを一度押すと、ミシンは返しぬい または止めぬいをして自動で止まります。 (44 ページ参照)

メモ:

LED ③ が消えている場合、糸切りボタン ② は使えません。

<u>面板の糸切りの使い方</u>

- 30番および 30番より太い糸や特殊な糸を切る場合、 ミシンの面板に付いている糸切り④を使用してく ださい。
- 針と押さえ上げをあげ、布を向こう側に引き出して から手前に返すようにして糸を切ります。





● 針板ガイド

針板には、布のぬい位置を決めるための便利なガイドが 表示されています。布端をガイドラインに合わせると、 布端から正確な位置をぬうことができます。

ガイドラインは角板およびミシンのフリーアームにも表示されています。

針板手前にはそれぞれ 0.65 cm(1/4 インチ)、0.95 cm (3/8 インチ)、1.6 cm(5/8 インチ)のところにガイドラ イン ① があります。

ガイドラインの数字は、ぬい位置(針穴の中央 ②)から ガイドラインまでの距離を「インチ」と「ミリメートル」 で表示しています。

コーナーリングガイド 1.6 cm(5/8 インチ)③ は布を直 角に回転させるのに非常に便利です。 (下記「コーナリングガイド」参照)

角度目盛り ④ はパッチワークをするときに便利です。 (76、120ページ参照)

● コーナーリングガイド

布端から 1.6 cm (5/8 インチ)のところで直角にぬい方向をかえるときに利用します。

ぬい方向をかえたあと布端から 1.6 cm(5/8 インチ)の 位置をぬうことができます。

- 1 布端①がコーナーリングガイド②のところにきたら ミシンを停止します。
- ② 針を布にさした状態で押さえ上下移動ボタン③で押 さえをあげ、布を直角に回転させます。 布端が針板右側のガイドライン 1.6 cm(5/8 インチ) の位置に合います。
- ③ 押さえ上下移動ボタン ③ で押さえをさげ、ミシンを スタートさせます。





● 直線ぬいの種類

★ じつようぬい1: 直線ぬい(中針位置) ぬい合わせや三つ巻きぬいに使用します。

★ じつようぬい2:自動返しぬい

ぬい始めとぬい終わりにしっかりしたほつれ止め(返し ぬい)を自動的に行うときに使います。

・ぬい始め

ミシンをスタートさせると、ぬい始めに自動的に数針返 しぬいを行います。

•ぬい終わり(スタート/ストップボタン使用時)

ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し(または運転 したまま)、返しぬいボタン①を一度押します。 その位置から自動的に数針返しぬいを行ってミシンが停 止します。

•ぬい終わり(フットコントローラー使用時)

ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し(または運転 したまま)、返しぬいボタン①を一度押します。 ミシンを停止してから返しぬいボタン①を押した場合、 再度フットコントローラーを踏むと、その位置から自動 的に数針返しぬいを行ってミシンが停止します。 運転したまま返しぬいボタン①を押した場合、その位置 から自動的に数針返しぬいを行ってミシンが停止しす。

★ じつようぬい 3: 自動止めぬい

ぬい始めとぬい終わりに目立たないほつれ止め(止めぬい)を自動的に行うときに使います。

・ぬい始め

ミシンをスタートさせると、ぬい始めに自動的に数針止めぬいを行います。

•ぬい終わり(スタート/ストップボタン使用時)

ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し(または運転 したまま)、返しぬいボタン①を一度押します。 その位置で自動的に数針止めぬいを行ってミシンが停止 します。

•ぬい終わり(フットコントローラー使用時)

ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し(または運転 したまま)、返しぬいボタン①を一度押します。 ミシンを停止してから返しぬいボタン①を押した場合、 再度フットコントローラーを踏むと、その位置で自動的 に数針止めぬいを行ってミシンが停止します。 運転したまま返しぬいボタン①を押した場合、その位置 で自動的に数針止めぬいを行ってミシンが停止します。



★ じつようぬい4: 直線ぬい(左針位置)

端ぬいや、薄物ぬいに使います。

★ じつようぬい5:三重ぬい

伸縮性と強さの両方を合わせもつ丈夫なぬい目です。 厚い布や袋物、ズボンなどしっかりとぬい合わせたい場 所に使います。

★ じつようぬい6、7:伸縮ぬい(ニットステッチ)

布が伸びても糸が切れにくい伸縮性のあるぬい目で、ニッ ト地のぬい合わせなどに使います。 布のぬい縮みやひきつれを防ぐことができます。 ぬいしろをきれいに割りたい場合にも使用できます。

1 は伸縮性のある布地や、薄い布地をぬ じつようぬい

/. . い合わせるのに使用します。通常は、じつようぬい を使用してください。

じつようぬい 🥻 は厚い布の場合に使用します。

メモ: 41 の場合、調整画面のぬい目の M • じつようぬい 幅調整キーでの調整は、他の直線状模様と異なり、 ぬい位置(針位置)ではなく、ぬい目の幅の調整に なります。 • ぬい目のイラストの右に書かれている「M」、「L」は、 ぬい目の幅をかえたときの基準位置です。 (34ページ参照)



★ じつようぬい 11:しつけぬい

しつけぬいの模様は、ミシンをスタートさせても布は送 られずに、1針ぬって停止します。(フットコントローラー の場合も、踏み続けていても1針ぬって停止します。) ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても 針は上の位置で停止します。 お好みの間かくを、1針ずつ手で布を移動させてぬうこ

とができます。

ぬい方は 113 ページ「●しつけ」の「マニュアル」の項 目をごらんください。

● 上送り押さえの使い方

ポリ塩化ビニールなどでコーティングしてある素材など、 上布と下布でずれやすい布地や革製品など送りにくい布 地をぬう場合、上送り押さえを使用するときれいにぬう ことができます。

また重ね合わせた布地がずれるのを防ぎます。



「ファスナー」、「パッチワーク」、「キルティング」の一部 の模様は上送り押さえでぬうことができます。

以下の5種類の上送り押さえが標準で付属しています。

- ① **AD**:上送り押さえ(標準): 標準的なぬいに使用します。
- ② VD:上送り押さえ(先引き):
 せまい部分をぬう場合に使用します。
- ③ **OD**:上送りパッチワーク押さえ: 1/4 インチのぬいしろをぬう場合に使用します。
- ④ ED:上送りファスナー押さえ: ファスナーをつける場合に使用します。
- ⑤ UD:上送りオープントー押さえ: ぬいの手元がみやすい上送り押さえです。

メモ:

- 上送りぬい切りかえキー⑥が押されている場合、
 上送り押さえに適さない模様はグレーになり、選択できません。
- 上送り押さえに適さない模様を選択している場合、
 上送りぬい切りかえキー⑥はグレーになり、押せません。





【準備】

- 1 上送りぬい切りかえキー ⑥ を押します。
 - メッセージ画面が表示されます。閉じるキー⑦を押します。

上送りぬい切りかえキー⑥が黄色になります。

- ② 上送り押さえホルダーと AD:上送り押さえ(標準)を 取り付けます。
 - ※ 上送り押さえホルダーの取り付けは、18 ページ をごらんください。
 - ※ 上送りぬいに設定されているあいだ、



用途ぬいの「地ぬい」、「ファステー」、「ハッナワー ク」、「キルティング」の一部の模様以外を選ぶこ とができません。

※ 上送りぬいを解除する場合、上送りぬい切りかえ キー⑥を押します。

【ぬい方】

上糸を押さえの下へ通して向こう側に引き出し、ぬい始 めます。

※ しま模様や格子じま、プリント地をぬうときは、布地の端と最初のしまをぬい始めのところできちんとそろえ、ぬい目の線に直角にピンを止め、ぬいます。

【上布と下布がずれる場合】

上布①と下布②がずれる場合、上送り調節ダイヤル③ をまわして調整します。

上送り調節ダイヤル③は「0」が基準ですが、布の種類 に合わせて調整の変更が必要な場合があります。

使用する布の切れ端を使用して、送りバランスを確認し ます。

- (A): 下布 ② にしわがよる場合、上送り調節ダイヤル ③ を「+」方向にまわします。
- (B): 上布① にしわがよる場合、上送り調節ダイヤル③ を「-」方向にまわします。

メモ: 上送り押さえを使用しないときは、必ず上送り調節ダ イヤルを「0」の位置にもどしてください。



● HP:プロフェッショナル直線押さえ・プロフェッ ショナル直線針板(左針位置専用)の使い方

HP: プロフェッショナル直線押さえは、付属のプロフェッ ショナル直線針板(左針位置専用)と一緒に使います。 針が布にささるときのばたつきがおさえられ、ぬい目が 美しく仕上がります。

また、薄地のぬい縮みの防止にも適しています。

メモ:

- •押さえの取り付けは、20ページをごらんください。
- 使用できる模様は、ミシンの早見板の「プロフェッショナル直線針板(HP 針板)」の模様です。これらは、じつようぬいグループとキルトグループにある模様と同じ模様です。



- ロックキー①を押し、ミシンをロックしてプロフェッショナル直線針板(左針位置専用)に交換します。 (21ページ「針板の外し方、付け方」参照)
- 2 メッセージ画面が表示されます。
 正しい押さえが取り付けられているか確認し、メッセージ画面の閉じるキー ② を押します。
- ③ 再度ロックキー①を押し、ロックを解除すると模様 選択画面にもどり、ぬうことができます。

メモ:

- プロフェッショナル直線針板(左針位置専用)が取り付けられているあいだは、じつようぬいグループおよびキルトグループの模様しか選択できません。
- プロフェッショナル直線針板(左針位置専用)が使用できない模様は、模様選択キーがグレーになり、 選択できません。

【ぬい始め】

- 上糸を押さえの下から向こう側に引き出した状態で布 を入れ、糸と布を左手で押さえ、はずみ車を手で手前 にまわして最初のぬい位置に針をさします。
- 2 押さえ上下移動ボタン①で押さえをさげ、ミシンを スタートさせ、ぬいます。
- ※下糸(ボビン)をセットした直後および糸切りボタン ②を使用して糸を切ったあとのぬい始めは、下糸を針 板の上に引き出す必要はありませんが、上糸は必ず向こ う側に引いて、押さえで押さえてください。
- ※ ぬい始めのほつれ止めは、返しぬいボタン ③ を押し ます。

【ぬい終わり】

- ぬい終わりの位置で返しぬいボタン③を押して数針 返しぬいを行い、ミシンを停止します。
- 2 糸切りボタン 2 を押して糸を切ります。
 - ※ 針と押さえがさがった状態のままでも、糸切りボ タン ② を押すと針と押さえは上の位置に移動し ます。



● ジグザグぬい

★ じつようぬい8、9:ジグザグぬい たち目かがりなど、多目的に使えます。 ほとんどの布に使用できます。

ぬい目を細かくすればアップリケなどに使用できます。

★ じつようぬい 10: つくろいぬい 破れや、ほつれている部分をつくろうのに使用します。

ぬい方:

 ゆい目のあらさを「0.3」~「0.5」 に設定し、 (35 ページ参照) ほつれた部分の布端をつき合わせ てぬいます。

- 手順1 でぬったぬい目をはさむように両側をぬいます。
 - ※ ほつれ具合によって、裏側から別布をあててぬい ます。



● ふちかがりぬい

★ じつようぬい 10: トリコットぬい 合成素材や、布のぬい縮みやひきつれがおきやすい伸縮 性のある布の裁ち端の仕上げに使用します。 ぬいしろをすこし余分にとってぬいます。 ぬい終わったあとは、余分なところをぬい目の近くで切 り落とします。

★ じつようぬい 13:かがりぬい 1

ブロード、シーチング、ローンなどの伸びない普通地や、 平織り2枚に適しています。

地ぬいをかねたかがりぬいで、たち目のほつれ止めに使 用します。

ぬいしろを割る必要がない場合に使用してください。

布端②を押さえのガイド①にあててぬいます。

★ じつようぬい 14:ニットステッチ ジャージー、ニット、トリコットなど伸びる布地の端を かがるのに使用します。

M:ふちかがり押さえを使用する場合、布端 ② を押さえのガイド ① にあててぬいます。

A:基本押さえを使用する場合、ぬいしろを少し多めに とってぬい、余分なところをぬい目近くで切り落としま す。



★ じつようぬい 15:かがりぬい 2

リネンやギャバジンなどの普通の布や厚い布および、布 端がほつれやすい布のたち目のほつれ止めに使用します。 ほつれを防ぐため、二重に布端をかがります。

布端②を押さえのガイド①にあててぬいます。

★ じつようぬい 16:かがりぬい 3

リネン、ローンなどの普通の布や、布端がほつれやすい 布のたち目のほつれ止めに使用します。 オーバーロックのぬい目に似ています。

布端②を押さえのガイド①にあててぬいます。





【じつようぬい 19、20:まつりぬい】 103 ページ「まつりぬい」をごらんください。

【じつようぬい 21、23:シェルタック】 105 ページをごらんください。

【じつようぬい 22:ファゴティング】

布端と布端の間かくをあけて、つなぎ合わせる場合に使 用します。

ぬい方:

- 市端と布端の間かくを 0.5 ~ 0.6 cm ① あけて、下に あて紙 ② を置きます。
- 2 布の表から、間かくの中央を中心にしてぬいます。
- ③ あて紙 ② を取ります。





◎ボタンホール・特殊模様

● ボタンホール・特殊模様の画面

ホームキー①を押し、ホーム画面のボタンホールキー② を押すと、ボタンホールおよび特殊模様グループの模様選 択画面になります。

ボタンホールおよび特殊模様グループは、16 個の模様 (模 様番号 1 ~ 16) があり、2 つの画面(ページ)に分かれ ていて、ページキー ③ で選択できます。

ボタンホールおよび特殊模様グループの画面は、模様選 択キーや調整キーなどのキーの他に、選ばれている模様 に関するいくつかのぬい情報や設定状態が表示されてい ます。

メモ:

- •ぬい情報や設定状態の表示については、 14~15ページをごらんください。
- 調整キー ⑤ を押すと、調整画面になります。調整画面の基本的な使い方については、34 ~ 36 ページをごらんください。
- 特殊な使い方については、それぞれの模様の説明を ごらんください。
- ボタンホールおよび特殊模様は、模様が完成すると ほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。
- 模様頭出しキー ④ の使い方は、86 ページをごらん ください。
- ・模様

 のぬい方は、113~15 ページをごらん ください。

● ボタンホールの種類と用途

ボタンホール1:スクエアボタンホール 普通の布から厚い布まで広く使われているボタンホール です。ボタンホールの長さは、R:ボタンホール押さえ のボタン受け台に使用するボタンをはさみ込むと自動的 に決まります。

ボタンホール2:メモリーボタンホール (スクエアボタンホール)

自分でボタンホールの長さを決めてぬうボタンホールで す。2.5 cm 以上の長いボタンホールをぬえます。

ボタンホール3:片ラウンドボタンホール

薄い布から普通の布に使います。ブラウス、子供服でよ く使われます。

ボタンホール4:両ラウンドボタンホール シルクのような薄い布に使います。



ボタンホールは、模様が完成するとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。(ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていて)

も針は上の位置で停止します。)



● ボタンホール 1:スクエアボタンホール

ボタンホールの長さは、R:ボタンホール押さえのボタン受け台へ使用するボタンをはさみ込むと自動的に決まります。

ボタンの直径が 1.0 ~ 2.5 cm までのボタンホールをぬう ことができます。

ボタンホールを選択すると、ボタンホール切りかえレバー をおろすよう、画面(タッチパネル)にメッセージが表 示されます。

メモ:

- 厚い布、特定の布や糸を使用してボタンホールをぬうときなど、ボタンホールのサイズをかえる必要がある場合があります。使用する布の切れ端などで試しぬいをして、正しくぬえることを確認してください。
- 自動的に設定されるボタンホールの幅は一般的なボタン用です。
- 伸縮性のある布は、伸びないように裏に芯地を貼っ てください。

【ボタンホールのぬい方】

- 押さえのピン①を押さえホルダーのみぞ②に入れて、 R:ボタンホール押さえを取り付けます。
 R:ボタンホール押さえを取り付けるとき、押さえ上 げを高くあげた位置まで持ちあげると便利です。
- [2] R:ボタンホール押さえのボタン受け台③を[A]の方向へ引き、ボタンをのせます。
 ボタン受け台③を[B]の方向にもどしてボタンをきつくはさみ込みます。

ボタンホール長さの微調整方法

ボタンの長さを測り、必要であればボタンホールの長 さを調整してください。

- ボタンホールの長さを長くするには、調整ねじ④
 を[C]の方向にまわして指示線⑤をL側にします。
- ボタンホールの長さを短くするには、調整ねじ④
 を[D]の方向にまわして指示線⑤をS側にします。
- •ぬい終わったら、ねじはもとの位置 ⑤(指示線を目 盛りの中央の位置)にもどしてください。



③ ボタンホール切りかえレバー(BH レバー)⑥を止まるまでいっぱいに引きさげます。

 ④ 押さえをあげて上糸⑦を押さえの穴⑧から下へ通し、 横に引き出します。

上糸⑦を横に引き出した状態で布を入れ、布に付けたマーク⑨のぬい始めの位置⑩に針をさし、押さえをさげます。

※ 押さえをさげるとき、押さえ前部のストッパーを 向こう側に軽く押しつけた状態でさげ、ストッ パーと押さえスライダーにすきまがあかないよう に注意してください。 (下記〔ぬい始める前の確認〕参照)

<u>ぬい始める前の確認</u>

押さえスライダー ① とストッパー ⑫ のあいだにすきま がないこと ③ を確認してください。すきまがあるとぬ い始めの位置 ⑭ と、ぬい終りの位置がずれる ⑮ こと があります。

⑤ 上糸⑦ を左に軽く引いて持ち、ミシンをスタートさせます。ぬい始めから数針ぬったあと、糸から手をはなしてぬいます。

ボタンホールをぬい終わったところでほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

ボタンホール切りかえレバーをさげないでぬった場合

ボタンホール切りかえレバーをさげずにミシンをス タートさせると、何針かぬったのちミシンは停止し、 画面にボタンホール切りかえレバーをさげるように メッセージが表示されます。 ボタンホール切りかえレバーを引きさげて、ミシンを 再スタートさせてください。



⑥ ボタンホールは下記の順番でぬいます。

- [1] 下ぬい10をし、左側のラインタック10をぬいます。
- [3] かんぬき ② と止めぬいを行って自動的にミシン が停止します。 ぬい終わるとメッセージが表示されます。
- ※ボタンホールの重ねぬいをする場合、そのままミシンをスタートさせぬいます。 重ねぬいをしない場合、押さえ上下移動ボタンを押して押さえをあげます。(下記「ボタンホールの重ねぬい」参照)
- ⑦ ぬい終わったら、ボタンホール切りかえレバー⑥を 止まるまでいっぱいに押しあげてもどします。

⑧ かんぬき ⑲ の内側にまち針 ⑳ をわたし、シームリッパー ㉓ で左右のラインタック ⑰、⑳ の糸を切らないよう、ボタン穴をあけます。

【ボタンホールの重ねぬい】

ボタンホールを重ねぬいすると、より頑丈なボタンホー ルができます。

ボタンホールをぬい終わったあと、「押さえを上げてくだ さい。」とメッセージが表示されますが、押さえをあげた り、ボタンホール切りかえレバーをあげたりせず、再度 ミシンをスタートさせます。

ボタンホールの重ねぬいができます。

※ボタンホールの重ねぬいで送りがつまるときには、ぬい目のあらさを大きくしてぬってください。

メモ:

「通常ぬい設定」の「通常ぬいオートストップ時の糸切り」が「ON」に設定されている場合、糸切り後押 さえがあがってしまい重ねぬいはできません。 (139 ページ参照)









★ ボタンホールの調整画面

模様選択画面の調整キーを押すと、調整画面が表示され ます。

① ボタン穴の幅調整キー

ボタン穴の幅(ボタンホールの中幅)をかえることがで きます。

② ぬい目の幅調整キー

ボタンホール全体の幅をかえることができます。

③ ぬい目のあらさ調整キー

ぬい目のあらさをかえることができます。

④ 糸調子調整キー

上糸と下糸の糸調子のバランスをかえることができます。

5 押さえ圧調整キー

押さえ圧をかえることができます。

メモ:

調整画面の基本的な使い方は、34 ~ 36 ページを ごらんください。

① ボタン穴の幅をかえる

「+」を押すとボタン穴の幅が広くなります。

「-」を押すとボタン穴の幅がせまく(細く)なります。

② ぬい目の幅(ボタンホールの幅)をかえる

「+」を押すとボタンホール全体の幅が広くなります。

「-」を押すとボタンホール全体の幅がせまくなります。

③ ぬい目のあらさをかえる

「+」を押すとボタンホールのぬい目があらくなります。 「-」を押すとボタンホールのぬい目が細かくなります。

メモ:

ボタンホールの穴の幅は 0.2 ~ 2.0 まで変更可能です。 ボタンホール幅は 2.6 ~ 9.0 まで変更可能です。 ボタンホールのぬい目のあらさは 0.20 ~ 1.00 まで変 更可能です。



● ボタンホール安定板の使い方 厚い布の段差や安定して布送りできない布などをぬう場 合、ボタンホール安定板を使用すると、布をスムーズに 送ることができます。

R:ボタンホール押さえ①の取り付け穴②に、ボタンホール安定板④のガイド③部分を差し込みます。

 ボタンをボタン受け台にのせます。
 ボタンホール安定板④を組み付けたR:ボタンホール押さえ①を、ミシンに取り付けます。
 押さえをあげ、上糸⑥を押さえの穴⑤から下へ通し、ボタンホール押さえとボタンホール安定板のあいだから横に引き出します。

 ③ 上糸 ⑥ を横に引き出した状態でボタンホール押さえ とボタンホール安定板のあいだに布を入れます。
 はずみ車をまわし、ぬい始めの位置に針をさします。

メモ:

ぬいの手順はボタンホール 1:スクエアボタンホール と同じです。(56~59ページ参照)

<u>布がボタンホール切りかえレバーに触れて、うまくぬ</u> <u>えない場合</u>

弾力性のある厚い布(フリースなど)をぬう場合、布 を送るときに浮きあがった布がボタンホール切りかえ レバー⑦に触れて誤操作を起こし、正しい形にぬえ ないことがあります。 このような場合、布を送るときに布が浮きあがらない ようにまち針⑧で固定し、ボタンホール安定板④を 使用してぬってください。



● ボタンホール 2:メモリーボタンホール(スクエ アボタンホール)

メモリーボタンホールは、ボタンホールの長さを自分で決めてぬうボタンホールです。

メモ:

- ボタンホール切りかえレバーは、さげないでぬいます。
- 2.5 cm 以上の長いボタンホールをぬう場合や、厚い 布の段差近くをぬう場合など、R:ボタンホール押 さえを使用できないときはF:サテン押さえを使用 してください。
- •ボタンホールの穴の幅は 0.2 ~ 2.0 まで変更できます。
- •ボタンホール幅は 2.6~9.0まで変更できます。
- ボタンホールのぬい目のあらさは 0.20 ~ 1.00 まで 変更できます。(59 ページ参照)

【ぬい方(R:ボタンホール押さえの例)】

 ボタン受け台(ボタンホルダー)①を向こう側にいっ ぱいに引き出します。

ミシンにボタンホール押さえを取り付けます。 上糸を横に引き出した状態で布を入れ、布に付けた マークのぬい始めの位置②に針をさし、押さえをさげ ます。

- ※ ぬい始める前の上糸と布のセット方法はスクエ アボタンホールと同じです。「ボタンホール1: スクエアボタンホール」の手順① ④ (56 ~ 57 ページ)をごらんください。(ボタンホール 切りかえレバーはさげないでください。)
- ② 上糸を横に軽く引いて持ち、ミシンをスタートさせます。ぬい始めから数針ぬったあとは、糸から手をはなしてください。

左側のラインタック③を必要な長さ④までぬったら ミシンを停止し、返しぬいボタン⑤を押します。











● 芯入りボタンホール

ぬい方はボタンホール 1:スクエアボタンホールと同じ です。(56 ~ 59 ページ参照)

メモ:

- •ボタンホール穴の幅は 0.8 以上に設定しないでください。
- 使用する芯糸の太さに合わせてぬい目の幅(ボタンホールの全体の幅)およびボタン穴の幅(ボタンホールの中幅)を調整してください。(59ページ参照)
- •ボタン穴の開け方は58ページをごらんください。
- 必要に応じて、安定板をボタンホール押さえに取り 付けます。(60ページ参照)

模様

 ボタンホール押さえのボタン受け台にボタンをはさみ 込みます。

芯糸④の一方の端をボタンホール押さえ後部の左側の切り込み③に入れ、横に引いて金属の板②のあい だにはさみ込んで固定します。

芯糸は、押さえの下から前に引き、輪にして押さえ前 部のつの① にかけます。

 2 つの①にかけた芯糸を、押さえの下を通して押さえ 後部の右側の切り込み③に入れ、横に引いて金属の 板②のあいだにはさみ込んで固定します。

※ 芯糸 ④ は、たるみのないように強く張ってくだ さい。

 ③ ボタンホール1:スクエアボタンホールと同じように ぬいます。(56~59ページ参照)

 ④ ぬい終わったら芯糸を引いてたるみをなくし、余分な 芯糸を切ります。

芯糸が引けない場合

左右どちらの芯糸も引けない場合、芯糸の両側を切り ます。



特殊ぬい





【形の整え方】

つくろいぬい(ダーニング)のぬい始め(左側)とぬい 終わり(右側)の高さがそろわない場合、調整画面①の 高さ調整キー②(「-」、「+」)で調整値③を変更します。

「1.0」~「9.0」の範囲で調整できます。(「5.0」はオート値)

- ●左側が右側より低い場合、「−」キーを押します。 (「1.0」~「4.0」)
- •右側が左側より低い場合、「+」キーを押します。 (「6.0」~「9.0」)

● ボタンホール 15、16:アイレット

アイレットはベルトの穴などに使用します。 アイレット模様は、模様が完成するとほつれ止めの止め ぬいを行って自動的にミシンが停止します。 ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても 針は上の位置で停止します。

【ぬい始め】

ぬい始めの上糸を押さえの下から横に引き出しておきま す。

ぬい始めの位置① に針をさし、押さえ上下移動ボタンを 押して、押さえをさげます。

ミシンをスタートさせ、自動的に停止するまでぬいます。

メモ:

ぬい目の内側は、ポンチ(市販品)などで穴を開けま す。ポンチの穴の大きさは、直径 0.25cm 以下のもの を使用してください。

【形の整え方】

布によってアイレットの形がくずれる場合、調整画面① の形状調整キー②(「-」、「+」)で調整値③を変更します。

- 「S1」と「S3」で調整できます。(「S2」はオート値)
- •ぬい目にすきまがある場合、「-」キーを押して「S1」 にします。
- •ぬい目が重なっている場合、「+」キーを押して「S3」 にします。



◎飾りぬい

● 飾りぬいの画面

ホームキーを押して、ホーム画面の飾りぬいキーを押す と、飾りぬいの模様グループを選ぶ模様グループ選択画 面になります。(模様選択画面の飾りぬいキーでも同じ画 面が開きます。)

飾りぬいの模様グループには、10個のグループ(①~⑪) があります。これらの模様で、組み合わせ模様をつくるこ とができます。

模様グループ選択画面で、グループを選択し、それぞれ の模様選択画面を表示させます。

模様グループ選択画面は2つの画面(ページ)に分かれていて、ページキーで選択できます。

飾りぬいの模様グループの画面は、模様選択キーや調整 キーなどのキーの他に、選ばれている模様に関するいく つかのぬい情報や設定状態が表示されています。 (14 ~ 15 ページ参照)

① アップリケグループ:2 画面

アップリケなどに使用する模様のグループです。 アップリケグループには、18 個の模様とスペース模様お よび自動止めぬい模様があります。 (117 ページ参照)



〔模様選択画面:かざりもよう1〕



A

- 1.80 +

Ē

かざりもよう1グループ:4 画面

伝統的な飾り模様のグループです。 かざりもよう1グループは、34個の模様とスペース模様 および自動止めぬい模様があります。

③ キルトグループ:6 画面

パッチワークやキルトなどに使用する模様のグループで す。

キルトグループは、55個の模様とスペース模様および自 動止めぬい模様があります。 (76、121~129ページ参照)

- 2.50 +


④ サテングループ:2 画面

サテン(ぬい目を密着させた)模様のグループです。 サテングループは、20個の模様とスペース模様および自 動止めぬい模様があります。 サテングループの模様は模様の長さ調整機能(エロンゲー ション機能)を使うと、ぬいのあらさはそのままで模様 の長さを2~5倍にかえることができます。 (77ページ参照)

⑤ つなぎもようグループ:1 画面

5

模様と模様を直線ぬいでつなぐ(間かくをあける)ため のぬいグループです。

つなぎもようグループは、7個の模様とスペース模様お よび自動止めぬい模様があります。

模様のとなりにある数字は、模様と模様をつなぐ直線ぬ いの数です。

模様 🛛 🕹 と 🗳 は組み合わせ模様のとき、前に入力し

た模様の基線とぬい目のあらさを引き継ぎます。 (84ページ参照)



6 かざりもよう 2 グループ:8 画面

装飾的な飾り模様のグループです。 かざりもよう 2 グループは、75 個の模様とスペース模様 および自動止めぬい模様があります。



⑦ ロングステッチグループ:2 画面

1 つの模様の長さが長い装飾模様のグループです。 ロングステッチグループは、16 個の模様とスペース模様 および自動止めぬい模様があります。 衣服の飾りやボーダー飾りに最適です。

⑧ ワンポイントグループ:3 画面

具象的な飾り(形がはっきりした)模様のグループです。 ワンポイントグループは、28 個の模様とスペース模様お よび自動止めぬい模様があります。



⑨ プレイグループ:1 画面

遊び心が入った飾り模様のグループです。 プレイグループは、8個の模様とスペース模様および自 動止めぬい模様があります。

10 ユーザー作成模様グループ

付属のアキュツールズS(CD-ROM)の「ステッチコンポー ザー」で作成した模様を選択できます。 データの読み込みについては、79ページをごらんくだ さい。

※「ステッチコンポーザー」の使い方は、「ステッチコン ポーザー」の画面にあるヘルプをごらんください。











● キルトグループ ★ キルティングガイドの使い方

キルティングガイド①を使うと、前にぬったぬい目と 平行に等間かくでぬうことができます。

押さえホルダーのうしろの取り付け穴② にキルティン グガイド① を差し込みます。 針位置とキルティングガイド① のガイド部分③ までの 距離がぬう間かくになります。

キルティングガイドをスライドさせて、お好みの距離に 調整してください。

既にあるぬい目にキルティングガイド① を沿わせなが ら平行な直線をぬいます。

※ 上送り押さえ使用時のキルティングガイドの使い方 は、121 ページをごらんください。

★ キルト模様1~3

すると、1/4 インチ(6.5 mm)、7 mm のぬいしろが正確 にぬえます。

パッチワークに使用する布を中表 ② に合わせ、布端をガ イド ① に合わせてぬいます。

★ 針板角度目盛りの使い方

針板の角度目盛りを使うと、布に印をつけずにお好みの 角度で簡単にぬえます。

針板の角度目盛りには、45、60、90、120度の目盛りが ついています。

○:パッチワーク押さえを使用する場合、図の様に点線 ①の角度目盛りに合わせてください。



★ キルト模様 54、55:手ぬい風キルト

模様 [■] [■] [■] [■] は、

は、手ぬい風のステッチ模様です。

______ 上糸に透明なナイロン糸、下糸に普通の糸を使用します。 針は 14 ~ 16 番を使用します。

下糸が布の表に引き出され、手ぬい風のステッチになり ます。









ĽS

 \sim

(7)-

F

◎模様組み合わせモード

飾りぬいと文字ぬいは模様を組み合わせてぬうことがで きます。

模様組み合わせキーを押すと、通常モードの模様選択画 面から模様組み合わせモードの模様選択画面にかわりま す。

模様組み合わせモードに設定すると

- •通常モードでは選んだ模様1つだけを、繰り返し連続 してぬいますが、模様組み合わせモードではお好みの 模様を組み合わせてぬうことができます。
- 模様は最大 100 個まで組み合わせることができます。
- 組み合わせができる模様は、飾りぬいの模様グルー プと文字ぬいの模様グループです。 文字ぬいの模様グループは、90ページをごらんく ださい。
- 編集機能を使うと、組み合わせた模様の内容を変更で きます。(85ページ参照)
- •組み合わせた模様をミシンや USB メモリに保存できま す。(95~96ページ参照)

● 模様組み合わせモードの画面

通常モードから模様組み合わせモードに切りかえると、 2本針ぬい切りかえキー、テーパリングキー、上送りぬ いキーがなくなり、削除キー ⑤、保存キー ⑥ および組み 合わせた模様を確認・選択するためのカーソル移動キー⑦ が画面上に追加されます。

※ 模様組み合わせモードでは、2本針ぬい、テーパリン グぬい、上送りぬいはできません。

① ピボットぬい設定キー

ピボットぬいを行うときに設定します。(36ページ参照)

② 模様組み合わせキー

通常モードと模様組み合わせモードを切りかえます。

(3) 方右反転キー

選んだ模様の形を左右反転させます。

④ 上下反転キー

選んだ模様の形を上下反転させます。

5 削除キー

カーソルの付いている模様を削除することができます。 模様を組み合わせた状態でカーソルが最後の模様の下 側にある場合、最後の模様を削除することができます。 (85ページ参照)

6 保存キー

組み合わせた模様をミシンや USB メモリに保存できま す。(95~96ページ参照)

⑦ カーソル移動キー

カーソルを移動させて、組み合わせた模様の中から変更 したい模様(場所)を選ぶことができます。 (85ページ参照)

⑧ 編集画面

組み合わせた模様が表示されます。 模様のすべてを一覧表させたい場合、編集画面を押すと ぬいイメージが全体表示されます。(87 ページ参照)





● 反転キーの使い方

左右反転キー①または上下反転キー②で、選んだ模様の形を左右または上下反転した形でぬうことができます。 左右反転と上下反転を組み合わせることもできます。 通常モードおよび模様組み合わせモードのどちらでも使 用できます。



- ★ 左右・上下反転のぬい方(組み合わせモード時) を、通常の形と左右反転の形で交 **例**: サテン模様 互にぬう場合 1 模様組み合わせモードの状態で、サテン模様 を 選びます。 2 左右反転キー①を押します。左右反転キー①が黄色 を選びます。 になります。サテン模様 ③ ミシンをスタートさせると、基本の形の模様と左右反 転された模様を交互にくり返しぬいます。 ※ ぬい終わりの模様の途中で止めぬいボタンを押すと、 その模様を完成させたあとほつれ止めの止めぬいを 行って自動的にミシンが停止します。 止めぬいボタンの使い方は 12 ページをごらんくだ
 - ※ 反転をキャンセルする場合、左右反転キー① をもう 一度押します。
 - ※ 組み合わせた模様の全体を見るには、カーソル移動 キー③を押して組み合わせ模様をスクロールさせる か、編集画面④を押し、ぬいイメージを全体表示さ せ確認(プレビュー)できます。(87ページ参照)

さい。



★ 左右・上下反転のぬい方(通常モード時)
 ① 模様を選びます。(例ではワンポイント)

 2 模様を左右反転した形でぬう場合、左右反転キー① を押します。
 左右反転キー①が黄色で表示され、左右反転した形でぬうことができます。
 ぬいイメージ画面②には左右反転されたぬいイメージが表示されます。

- ※ 左右反転キー①をもう一度押すと選択が解除され、 通常の形にもどります。
- ③ 模様を上下反転した形でぬう場合、上下反転キー③ を押します。
 上下反転キー③ が黄色で表示され、上下反転した形でぬうことができます。
 ぬいイメージ画面④ には上下反転されたぬいイメージが表示されます。
- ※ 上下反転キー ③ をもう一度押すと選択が解除され、 通常の形にもどります。
- ④ 左右反転と上下反転を組み合わせた形で模様をぬう場合、左右反転キー①と上下反転キー③を押します。
 両方のキーが黄色表示され、左右および上下反転した形でぬうことができます。
 ぬいイメージ画面②には左右と上下が反転されたぬいイメージが表示されます。

反転機能のご注意

- 通常モードおよび組み合わせモードで左右および上下反転キーを押すと、反転キーをもう一度押して反転を取り消すまで反転機能の設定は継続します。次の模様を選んでも反転した形になります。
- ただし、上下反転機能の場合、上下反転キーが押された状態で上下反転できない模様を選ぶと、上下反転機能が取り消されます。





● 模様の編集機能

模様組み合わせモード設定中、編集機能を使うと、模様 を組み合わせたあとでも、ぬったあとでも、組み合わせ た模様の一部を削除したり、別の模様を追加したり、模 様の形を反転させたり、模様のぬい目の幅やあらさなど の設定値を変更したりすることができます。

【模様の削除】

カーソル ① の前の模様と、選択され青く表示されている 模様は削除キー ② を押して削除できます。

途中の模様を削除したい場合、カーソル移動キー③を押し、削除したい模様を選びます。 選択された模様④が青色にかわります。 削除キー②を押して削除します。

【模様の挿入】

カーソル移動キー ③ を押し、模様を挿入したい場所に カーソルを移動させます。 カーソルの付いている模様(青色の模様)の前に挿入し たい模様 ⑤ が追加 ⑥ されます。

【模様のぬい目の幅やあらさなどを変更】

- 調整キー⑦を押し調整画面を全体表示させ、
 「-」キー⑧でぬい目の幅を「9.0」から「5.0」に変更します。
 - ※ 調整画面の基本的な使い方は 34 ~ 36 ページ をごらんください。
- ② 模様 のぬい目の幅が変更され、編集画面の表示 ⑨
 もかわります。
- ※ 模様の設定値の変更や模様の削除は、カーソルの付い ている模様(青色の模様)に対してできます。

メモ:

押さえ圧は組み合わせ模様のそれぞれの模様別に適用 することはできません。 別々の押さえ圧をかけると、最後に設定した押さえ圧 の数値が組み合わせ模様全体にかかります。



● 模様頭出しキーの使い方

模様頭出しキーを使うと、模様をぬっている途中でミシ ンを止めた場合、次にぬうときにその模様の最初からぬ うことができます。

通常モードおよび模様組み合わせモードどちらでも使用 できます。

模様組み合わせモード設定中は、ぬいかけた模様の最初 または組み合わせ模様の最初のどちらからでもぬうこと ができます。

【例】模様組み合わせモードでかざりもよう2の



【ぬいかけた模様を最初からぬう場合】

- 組み合わせ模様のうち、ミシンが現在ぬっている途中 の模様をぬい直したい場合、模様頭出しキーを押しま す。
- ② 模様頭出しキーの表示が B↓ にかわります。
 ミシンをスタートさせると、途中で停止した模様 (3 番目の模様)の最初からぬい直します。
 - ※ 模様頭出しキーの表示が B▼(三角形の上のバー が2本)の場合、ぬい途中の模様の最初からぬい ます。

メモ:

組み合わせ模様の最初の模様でミシンを止めて模様頭 出しキーを押すと、模様の一番最初からのぬい直しと なるため、三角形の上のバーの数はかわりません。

【組み合わせた模様の最初からぬう場合】

- ③ 上記の手順 ① で模様頭出しキーを押すと表示が B式 にかわるので、もう1回模様頭出しキーを押します。
 - ※ 模様頭出しキーを2回続けて押すと表示が B▲ にかわります。
- ④ ミシンをスタートさせると、組み合わせた模様の最初 (1番目の模様)からぬいます。
 - ※ 模様頭出しキーの表示が B▼ (三角形の上のバー が1本)の場合、組み合わせ模様の最初の模様か らぬい直します。

メモ: 自動糸切りをすると、ミシンは組み合わせ模様の最初 の模様からぬい直します。



● プレビュー機能

組み合わせモード時、編集画面 ① を押すと、プレビュー 画面が表示されます。

組み合わせた模様のぬいイメージの全体を確認(プレ ビュー)できます。

- ※ すべての模様が1ページ(1画面)で表示されない場合、 次ページキー②を押して次のページ(画面)に切り かえます。
- ※ 確認が終わったら、閉じるキー ③ を押して模様選択 画面にもどします。







◎文字ぬい

● 文字ぬいの画面

文字ぬいでは、文字やアルファベットを組み合わせてぬ うことができます。

ホームキー①を押して、ホーム画面の文字ぬいキー② を押すと、書体選択画面になります。(模様選択画面の文 字ぬいキー③でも同じ画面が開きます。) 以下の書体キーを押し、お好みの書体を選びます。

④ ブロックキー

ブロック体(英字・数字・記号・ヨーロッパ文字、およびスペース模様3個)の模様選択画面が表示されます。 ブロック体グループは、5つのページ(画面)に分かれていて、ページキーで選択できます。



※ 文字構成全体の高さ(枠)が最大 9 mm で、個々の文 字サイズ(高さ)は 9 mm より小さくなります。

⑤ スクリプトキー

スクリプト体(英字・数字・記号・ヨーロッパ文字、お よびスペース模様3個)の模様選択画面が表示されます。 スクリプト体グループは、5つのページ(画面)に分か れていて、ページキーで選択できます。

- ※ 文字構成全体の高さ(枠)が最大9mmで、個々の文字サイズ(高さ)は9mmより小さくなります。 (上記ブロック体グループと同じ)
- ⑥ ブロードウェイキー

ブロードウェイ体(英字・数字・記号・ヨーロッパ文字、 およびスペース模様3個)の模様選択画面が表示されま す。

ブロードウェイ体グループは、5 つのページ(画面)に 分かれていて、ページキーで選択できます。

※ 文字構成全体の高さ(枠)が最大9mmで、個々の文字サイズ(高さ)は9mmより小さくなります。 (上記ブロック体グループと同じ)

⑦ ブロック (9 mm) キー

ブロック体(英字の大文字・数字・記号、およびスペー ス模様 3 個)の模様選択画面が表示されます。

ブロック体 (9 mm) グループは、3 つのページ (画面)

- に分かれていて、ページキーで選択できます。
- ※ 文字のサイズ(高さ)は最大 9 mm です。

⑧ キリル文字キー

キリル文字の大文字・数字・記号、およびスペース模様 3個の模様選択画面が表示されます。

※ 文字構成全体の高さ(枠)が最大9mmで、個々の文字サイズ(高さ)は9mmより小さくなります。 (上記ブロック体グループと同じ)

⑨ 明朝体 (9 mm) キー

明朝体(ひらがな・カタカナ、およびスペース模様 2 個) の模様選択画面が表示されます。

明朝体(9 mm)グループは、3 つのページ(画面)に分かれていて、ページキーで選択できます。 ※ 文字のサイズ(高さ)は最大 9 mm です。

10 まるもじ (9 mm) キー

まるもじ(ひらがな・カタカナ、およびスペース模様 2 個) の模様選択画面が表示されます。

まるもじ(9 mm)グループは、3 つのページ(画面)に 分かれていて、ページキーで選択できます。 ※ 文字のサイズ(高さ)は最大 9 mm です。

① ワンポイントキー

ワンポイントの模様選択画面が表示されます。 ワンポイント模様は、26 個あります。



★ 模様選択画面

書体選択画面で書体を選ぶと、選んだ書体の模様選択画 面になります。

模様選択画面が2つ以上のページ(画面)に分かれている場合、ページキーで選択できます。

模様選択画面は実用ぬい模様や飾りぬい模様の画面と同様、模様選択キー・設定キー・模様頭出しキーなどのキーと、選ばれている模様のぬい情報や設定状態が表示されています。

- ※ ぬい情報や設定状態の表示は、14~15ページを ごらんください。
- ① カーソル移動キー

カーソルを上下へ動かします。

② 編集画面

編集画面を押すと、組み合わせた文字の全体が表示されます。

③ 文字高さ切りかえキー

文字の高さを約 2/3 にし、文字を小さく(低く)することができます。

④ 大文字・小文字切りかえキー

大文字と小文字を切りかえます。画面の模様選択キーの 表示も同時に切りかわります。

- ※ 明朝体(9 mm)、まるもじ(9 mm)を選択した場合 はアイコンの表示がかわり、ひらがなとカタカナを切 りかえることができます。画面の模様選択キーの表示 も同時に切りかわります。(④-2)
- 5 削除キー

選択した文字やワンポイントを削除します。

- 6 保存キー
- 組み合わせ文字を保存します。
- ⑦ 文字ぬいキー
- 書体選択画面を表示させます。

⑧ 調整キー

- 調整キーを押すと調整画面が全体表示されます。
- ※ 調整画面の基本的な使い方は、34 ~ 36 ページ「じ つようぬいの調整画面」をごらんください。

⑨ 横書き・縦書き切りかえキー

横書きと縦書きを切りかえます。 明朝体(9 mm)、まるもじ(9 mm)を選択した場合に表 示されます。

※ 横書きと縦書きを組み合わせることはできません。

● 文字ぬいの例

- •文字ぬいは、飾りぬいの模様組み合わせモードと同様、 お好みの模様を組み合わせてぬうことができます。
- 模様は、最大 100 個まで組み合わせることができます。 (組み合わせる模様で異なります。)
- 組み合わせができる模様は、文字ぬいの模様グループ と飾りぬいの模様グループです。
 ※飾りぬいの模様グループは、69ページをごらん
 - ※ 師りぬいの候像ノル クは、69*、 クをとうん ください。
- 文字を1つだけまたは複数の文字を組み合わせてぬった場合、最後の文字をぬって自動的にミシンは停止します。(ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。) ぬわれた文字のぬい始めとぬい終わりには、ほつれ止めの止めぬいが入っています。
 - ※ 文字と飾りぬい模様を組み合わせてぬった場合、 組み合わせた模様の最後が文字の場合、最後の文 字をぬって自動的にミシンは停止します。組み合 わせた模様の最後が文字以外の模様の場合、組み 合わせた模様をくり返しぬいます。
- •編集機能を使うと、組み合わせた模様の内容を変更することができます。(85ページ参照)
- •組み合わせた模様をミシンや USB メモリに保存することができます。(95~96ページ参照)

文字ぬいの注意事項

- 必ず同じ布地で試しぬいをしてください。
- ・針は付属のブルー針(柄の部分が青色の針)、押さえは F: サテン押さえを使用してください。
- 伸びる布地、薄手の布地などにぬう場合、布の裏に 市販の芯地を貼るか、トレーシングペーパーや薄い 紙を布の下に敷いてぬってください。
- 文字や記号を組み合わせた場合、隣り合う模様に よっては間かくがせまくなったり、広くなったりす ることがあります。気になる場合はスペース模様で 調整してください。(95ページ参照)



【例】明朝体の横書きで文字「ししゅうミシン」をぬう

- □「明朝体(9 mm)」キーを押して明朝体の模様選択画 面を表示させ、横書き・縦書き切りかえキー ① が横 書きの状態(ダ)で、文字「し」を二度選びます。
- ※ 縦書きの場合、最初の文字を選ぶ前に、横書き・縦書 き切りかえキー①を押して、キーの表示を たします。

- 次ページキー②で2/3ページを表示させ、文字「ゅ」 を選びます。
- ③ 前ページキー ③ で 1/3 ページを表示させ、文字「う」 を選びます。

- ④ 次ページキー ② で 2/3 ページを表示させ、ひらがな・ カタカナ切りかえキー ④ を押し、キーの表示を
 参 から び にかえ、文字「ミ」を選びます。
- ※ ひらがな・カタカナ切りかえキー④を押すと、画面 の模様選択キーの表示もカタカナに切りかわります。
- 5 前ページキー 3 で 1/3 ページを表示させ、文字「シ」 を選びます。
- ⑥ 次ページキー ② で 2/3 ページを表示させ、文字「ン」を選びます。
 ミシンをスタートさせると、「ししゅうミシン」をぬったあと自動的にミシンは停止します。







● 文字ぬい時の糸調子調整

糸調子は自動で調整されますが、ぬい条件によっては、 手動で糸調子の調整をする必要がある場合があります。

★ 文字ごとに糸調子調整を行う

- それぞれの文字の糸調子を個別にかえたい場合、糸調 子をかえたい文字をカーソル①で選択します。
 調整キー②を押し、調整画面を全体表示させます。
- ② 糸調子調整 ③ の「+」もしくは「一」キーを押し、
 各文字の糸調子を調整します。
 - ※ 画面のアイコン表示が「オート」から「マニュア ル」にかわります。

調整した糸調子の値は選択された各文字にそれぞれ適 用されます。

★ 全ての文字に同じ糸調子の値を適応する (統一糸調子調整)

すべての組み合わせ模様の糸調子をオート値(電源を入 れたとき、ミシンに自動的に設定されている値)と異な る別の統一した値に設定したいとき、飾りぬいの場合は、 調整画面の糸調子調整キーで模様ごとに設定する必要が あります。

文字ぬいの場合、統一糸調子機能によって、組み合わせ 模様(文字)ごとではなく、一括して統一した糸調子に 設定することができます。

- 1 調整キー①を押し、調整画面を全体表示させます。
- 2 調整画面で統一糸調子キー②を押します。
 統一糸調子キー②が黄色で表示されます。
- ③ 糸調子調整 ③ の「+」もしくは「一」キーを押し、
 糸調子を調整します。(例では 3.0 に変更)
 - •組み合わせた「ABC」すべての文字を糸調子「3.0」 でぬうことができます。
 - ・画面のアイコン表示が「オート」から「マニュアル」
 にかわります。
- ※ 統一糸調子を解除する場合、調整画面で統一糸調子 キー ② を押します。統一糸調子機能の設定前の値に もどります。

メモ:

- 以下の場合も統一糸調子機能は解除されます。
- 組み合わせた文字をすべて削除したとき
- 文字ぬい以外の模様グループの模様を選んだとき

● 文字高さの縮小

文字の高さを小さくする(約 2/3 のサイズ)には、文字 を選択して文字高さ切りかえキー①を押します。







● スペース模様

文字ぬいでスペースを入力するには、模様選択画面のス ペースキーから選びます。

- スペースキー
 小サイブのフペー
- ② 小サイズのスペース(約2.5 mm)
 ③ 中サイズのスペース(約3.5 mm)
- ③ 中リイズのスペース(約3.5 mm) ④ 大サイズのスペース(約5 mm)
- ※ 上記スペースのサイズは、電源投入時の値です。 調整画面のぬい目のあらさ調整キーで設定値を変更す ると、スペースのサイズはかわります。 (35 ページ参照)

◎模様データの保存・呼び出し

組み合わせた模様データをミシンや USB メモリに保存し、いつでも呼び出してぬうことができます。

● 模様データの保存

メモ:

問題が起きたときのため、常に外部メディアにデータ を保存してください。

<u> (</u>注意:

ミシンの内蔵メモリや USB メモリに模様データを保存中(転送中)に電源スイッチを切ったり、USB メモリを抜いたりしないでください。 データが破損するおそれがあります。

【ミシンの内蔵メモリに保存する】

- ② ミシンに用意されているフォルダーに保存する場合、
 「ファイルを保存」画面の Ordf
 を押します。
- ※ 新しいフォルダーを作成して保存する場合、96 ページ【新規フォルダーの作成】をごらんください。
- ※ 手順 2 や 3 の画面で、フォルダーやファイルが 1 画 面に表示しきれない数だけ保存されている場合、ペー ジキーで次のページ(画面)を確認できます。
- ③ ミシンに用意されているファイル名「M_001」で保存 する場合、「Ordf」画面のOKキーを押します。模様デー タがミシンに保存され、模様選択画面にもどります。
 - ※ すでに「M_001」名で保存されているデータがある場合、自動的に番号が繰りあがり、「M_002」が表示されます。(番号は M_001 ~順番に割り当てられます。)
 - ※お好みのファイル名で保存する場合、97ページ 【名称変更キーの使い方】をごらんください。
 - ※ もどるキーを押すと1つ前の「ファイルを保存」 画面に、閉じるキーを押すとデータは保存されず、 模様選択画面にもどります。





<u>USB メモリに保存する場合</u>

USB メモリに保存する場合、ミシン右側の USB 差し込 みロ(タイプ A)に USB メモリを差し込み、「ファイ

ルを保存」画面で USB メモリ 「 を選びます。 ※ データの保存方法は、95 ページ 【 ミシンの内蔵

メモリに保存する】と同じです。

【新規フォルダーの作成】

ミシンに用意されているフォルダーを使わないでお好み のフォルダーを作成してデータを保存する場合、下記の 手順で保存します。

 95ページ【ミシンの内蔵メモリに保存する】手順2 の「ファイルを保存」画面で新規フォルダーキー

を押し、「新規名称」画面を表示させ、文字キーでお 好みの名前(10文字以内)をつけます。 (例では、「もようー 1」と入力)

※ 文字の入力中に修正したい場合、カーソル移動キー で取り消したい文字にカーソルを合わせ、削除キー で取り消します。

※ 文字の種類(アルファベット大文字・小文字、ひ らがな、カタカナ)は、文字種切りかえキーで変 更します。

OK キーを押し、再度「ファイルを保存」画面を表示 させます。

- [2]「ファイルを保存」画面に新規作成した「もよう-1」フォ ルダーが表示されます。
 「もよう-1」フォルダーを押し、「もよう-1」画面を 表示させます。
- ③「もよう -1」画面の OK キーを押すと、ファイル名 「M_001」の模様データが「もよう -1」のフォルダー に保存され、模様選択画面にもどります。





【ファイル・フォルダーの削除】

不要になったフォルダーを削除できます。

- ファイルを保存」画面で削除キーを押し、キーの表示を黄色にかえます。
 - ※ キーの色が黄色の状態でフォルダーを削除するこ とができます。

削除したいフォルダーもしくはファイルを選びます。 (例では「もよう -1」フォルダー)

メッセージ画面が表示されます。
 OK キーを押して削除します。

【名称変更キーの使い方】

名称変更キーは、すでに作成されているフォルダーの名前の書きかえや、ミシンに用意されているファイル名 「M_001」などを使わずに、お好みのファイル名を付けて 保存するときに使います。

作成されているフォルダーの名前を変更する場合

- 様様選択画面で保存キーを押すと、「ファイルを保存」 画面が表示されます。
 「ファイルを保存」画面で名称変更キーを押し、キーの表示を黄色にかえます。
 名前を変更したいフォルダー(例では「もよう -1」))
 を選びます。
 ※ キーの色が黄色の状態でフォルダーの名前をかえることができます。
- ②「新規名称」画面が表示されます。
 新しい名前を入力し、OK キーを押します。
 (例では「もよう 01」)
- ③ 再度「ファイルを保存」画面が表示され、フォルダー 名が「もよう 01」に変更されています。
 ※ 名前の入力方法は、前ページ【新規フォルダーの 作成】の手順 ① をごらんください。

ファイルにお好みの名前を付けて保存する場合

- 例えば、95ページ【ミシンの内蔵メモリに保存する】 の手順③の「Ordf」画面のファイル名「M_001」を お好みのファイル名に書きかえる場合、「Ordf」画面 の名称変更キーを押して「新規名称画面」を表示させ ます。
- ② 文字キーでお好みの名前(10文字以内)を付けて OK キーを押します。(例では「ABC」)
 - ※ 名前の入力方法は、前ページ【新規フォルダーの 作成】の手順 ① をごらんください。
- ③ 再度「Ordf」画面が表示され、ファイル名が「ABC」 に書きかえられているので、OK キーを押すとファイ ル名「ABC」にデータを保存することができます。



●模様データの呼び出し

ミシンの内蔵メモリや USB メモリに保存した組み合わせ 模様や文字を呼び出すことができます。

<u> (</u>注意:

ミシンの内蔵メモリや USB メモリから模様データ を呼び出し中(転送中)に電源スイッチを切ったり、 USB メモリを抜いたりしないでください。 データが破損するおそれがあります。

【ミシンの内蔵メモリから呼び出す】

- 通常ぬいの状態でファイルオープンキーを押すと、
 「ファイルを開く」画面が表示されます。
- [ファイルを開く」画面のフォルダーの中から呼び出したいファイル(模様データ)が入っているフォルダーを押します。
 (例では Ordf))
- ※ フォルダーやファイルが1画面に表示しきれない数だ け保存されている場合、ページキーで次のページ(画 面)を確認できます。
- ※「Ordf」フォルダー以外のフォルダーを作成した場合、 作成したフォルダーも表示されます。
- ※ 新規フォルダーの作成、ファイル・フォルダーの削除、 フォルダー名の変更方法については、96~97ページ をごらんください。



- ③「Ordf」画面のファイルの中から呼び出したいファイル(模様データ)を押すと、模様データを保存したときと同じ状態の模様選択画面が表示され、ぬうことができます。
 - ※ フォルダーやファイルが1画面に表示しきれな い数だけ保存されている場合、ページキーで次の ページ(画面)を確認できます。

ー覧表示キー①で、ファイルのリストの一覧表示の レイアウトを変更できます。

- ※ 一覧表示キー【A】 == が選択されている場合、 ファイルが2列で表示され、1ページに12個の ファイルが表示できます。
- ※ 一覧表示キー【B】 🧮 が選択されている場合、

ファイルが1列で表示され、1ページに6個のファ イルが表示できます。

ファイル名が最大2行で表示されるので、パソコンなどで付けた長いファイル名を表示するときに 便利です。

|--|

USB メモリに保存されている模様データを呼び出す場 合、ミシン右側の USB 差し込み口(タイプ A)に USB メモリを差し込み、「ファイルを開く」画面の USB メ

モリ 🖙 を選びます。

※ データの呼び出し方法は、98 ページ【ミシンの 内蔵メモリから呼び出す】と同じです。





○ 用途ぬい ● 用途ぬいの模様選択画面

ホームキー①を押して、ホーム画面の用途ぬいキー② を押すと、ぬいの用途に適した模様が直接選べる用途選 択画面になります。(模様選択画面の用途ぬいキー③で も同じ画面が開きます。)

用途選択画面は2ページ(画面)で構成されています。 ページキー ④ でページを切りかえます。

「地ぬい」、「まつりぬい&シェルタック」、「ファスナー」、 「キルティング」の項目は、2段階の用途選択画面で構成 されています。

用途選択キーを2回押すと模様選択画面になります。

メモ:

- ・模様選択画面のもどりキー
 ⑤
 を押すと、1つ前の用
 途選択画面にもどります。
- 用途選択のぬいが終わって、他の模様グループを選ぶ場合、ホームキー①または、模様選択画面の模様グループ選択キー⑥で目的の模様グループを選んでください。
- ※ 用途選択によって選んだ模様に設定されている「ぬい 目の幅・ぬい目のあらさ・糸調子」などの値は、ぬい の用途に適した値になっています。

● 用途ぬいの種類

以下 12 種類のぬいの用途に適した模様を選ぶことができます。

※本項目は、標準付属押さえを使用する場合の説明です。 オプション押さえを使用した用途ぬいの場合、オプション押さえ使用キーを押します。 各押さえの使用方法については、オプション押さえの 説明書をごらんください。

- ① 地ぬい
- ② ふちかがり
- ③ まつりぬい&シェルタック
- ④ 三つ巻き
- ⑤ ファスナー
- ⑥ ギャザー



〔用途選択画面2段階目:地ぬい〕 **1**/2) X 地ぬい × 伸びない布地 伸びる布地 (1)-2 円弧ぬい トップステッチ (3) (4) - +5 もどりキー 地ぬい」(1/2) 地ぬい1(2/2) (1)5 ╇┉ 3 単 ┉ B⊼ 48 ‰ A ↔ B⊼ 48 ‰ A ↔ (二) 自動止めぬい æ 普酏 薄地 ł 승 сÞ 自動返しぬい 厚地 ļ cp ł cb Ĥ (2) (3) 地ぬい2 地ぬい 3 톽 ┺╪╺╍╍ 5 5

B⊼ 48 % A 🕁

薄地

普通地

厚地

B⊼ 48 ‰ A ↔

トップステッチ

сЬ

(4)

地ぬい4

╩┙

⑦ しつけ
⑧ ボタンつけ
⑨ かんぬき
⑩ アップリケ
⑪ パッチワーク
⑫ キルティング

● 地ぬい

地ぬい

■ キーを押すと、4 種類の用途選択画面になります。

4 種類の中から目的のキーを押すと、それぞれの用途に 適した模様選択画面になります。

- ① **伸びない布地 (地ぬい 1)** デニム、ブロード、シーチング、ローンなどの伸びない 生地に適した 5 種類の模様が選べます。 もどりキーを押すと、1 つ前の用途選択画面にもどりま す。
- ② 伸びる布地(地ぬい2) ジャージー、ニット、トリコットなど伸縮する布地に適した3種類の模様が選べます。
- 3 円弧ぬい(地ぬい3)
 円弧ぬい(曲線のぬい合わせ)に適した3種類の模様が 選べます。
- ④ トップステッチ (地ぬい 4) 太めの糸を使用するトップステッチに適した模様が選べ ます。

cp P

c¦-

自動止めぬい







2

3



● ふちかがり

ふちかがり

🚺 キーを押すと、以下4種類の模様が選択できます。

ぬい方は、50~51ページの「ふちかがりぬい」をご らんください。

① 普通地

普通地、平織り2枚に適しています。地ぬいをかねたかがりぬいで、たち目のほつれ止めに使用します。ぬいしろを割る必要がない場合に使用してください。

② 伸びる布地

伸縮性布地(ニット地など)のかがりぬいに使います。 A:基本押さえを使用する場合、布から適切なぬいしろ をとってぬったあと、切りそろえるとよりきれいに仕上 がります。(50ページ参照)

③ 普通地

布端がほつれやすい布のたち目のほつれ止めに使用しま す。オーバーロックのぬい目に似ています。

④ 厚地

普通の布や厚い布およびほつれやすい布のたち目のほつ れ止めに使用します。



● まつりぬい

キーを押し、「まつりぬい」キーを押すと2種類の

用途選択画面になります。 以下の2種類のまつりぬいから選択できます。

① 普通地

デニム、ブロード、シーチング、ローンなどの伸びない 普通布をまつります。

② 伸びる布地

ジャージー、ニット、トリコットなどの伸びる布地をま つります。



G:まつりぬい押さえを付けます。

1 図のように布を折ります。

2 折り山③をガイド④に合わせてぬいます。

※ 針が折り山から外れない、また必要以上に針が折 り山にかかりすぎないように、左針位置調整キー またはぬい目の幅調整キーで左針位置(折り山側 の針位置)を調整してください。 (104ページ【針位置を調整する】参照)

③ ぬい終わったら布を表に広げます。



【針位置を調整する】

左針位置調整キー ② および右針位置調整キー ③ は、調 整キー ① を押して表示される調整画面にもあります。 どちらを使用しても同じ設定ができます。 調整画面の基本的な使い方は、34 ~ 36 ページをごら んください。

• 左針位置の調整

左側の針位置(折り山側の針位置)⑦ をかえます。 右側の針位置は固定なので、左に模様の幅が変化しま す。

- 左針位置調整キー②の「+」キーを押すと左針位置 が左へ移動、「-」キーを押すと右へ移動します。
- 画面の数値は、押さえのガイドから左針位置⑦ までの距離 ⑧ を表示しています。(単位:mm)

•右針位置の調整

右側の針位置 ⑨ をかえます。左側の針位置は固定なので、右に模様の幅が変化します。

- •右針位置調整キー③の「+」キーを押すと右針位置 が右へ移動、「-」キーを押すと左へ移動します。
- 画面の数値は、押さえのガイドから右針位置 ⑨ までの距離 ⑥ を表示しています。(単位:mm)

• 模様の位置の調整(針位置調整)

模様の幅(2.8 mm)⑩ をかえずに左側の針位置(折 り山側の針位置)をかえます。

- 模様の位置調整キー④の「+」キーを押すと、針位 置が左に移動します。(模様全体が左に移動)
- 模様の位置調整キー④の「一」キーを押すと、針位 置が右に移動します。(模様全体が右に移動)
- 画面の数値は、押さえのガイドから左針位置までの 距離 ⑪(折り山側の針位置)を表示しています。 (単位:mm)

メモ:

変更した値をオート値(電源を入れたとき、ミシンに 自動的に設定されている値)にもどす場合、調整画面 の初期化キー⑤を押します。



● シェルタック

ジアッジョン キーを押し、「シェルタック」キーを押すと、3種

類の用途選択画面になります。 以下の3種類のシェルタックから選択できます。

① 小

細いサイズのシェルタックです。

③ **大** 普通のサイズのシェルタックです。

【ぬい方:模様

トリコットなど、薄い布に使用します。

- ① 布をバイヤスに2つ折りにします。
- 2 右の針位置①が布の折り山②のきわ(布の外側)に 落ちるようにしてぬいます。
 ※ シェルタックをいくつか並べてぬう場合、最低
 - * シェルタックをいく フが並べてぬ フ場市、最 1.5 cm あいだをあけてください。

【シェルタックの位置を調整する】

模様位置調整キー ② および右針位置調整キー ③ は、調 整キー ① を押して表示される調整画面にもあります。 どちらを使用しても同じ設定ができます。 調整画面の基本的な使い方は、34 ~ 36 ページをごら んください。

•模様の位置の調整

模様の幅をかえず、模様のぬい位置を左右に移動させ ます。

- ・模様位置調整キー②の「+」キーを押すとシェルタックが右へ移動、「-」キーを押すと左へ移動します。
- •模様の幅の調整(右針位置調整)

右側の針位置をかえることができます。左側の針位置 は固定なので、右に模様の幅が変化します。

- 右針位置調整キー③の「+」キーを押すと右針位置 が右へ移動し、シェルタックの幅が広くなります。
- 右針位置調整キー③の「-」キーを押すと左へ移動し、シェルタックの幅がせまくなります。



● 三つ巻きぬい

■ キーを押すと、以下の3種類の三つ巻きぬいから 深切できます

選択できます。

① **直線三つ巻き** 直線で三つ巻きぬいをします。

② **ジグザグ三つ巻き** 細いジグザグぬいで三つ巻きぬいをします。

③ **直線三つ巻き(4 mm& 6 mm)** 別売り(オプション)の D1、D2 押さえを使用した三つ 巻きぬいです。

【ぬい方:模様 ようの例】

D:三つ巻き押さえを付けます。
 布端約6 cm の長さを、約0.3 cm の幅で三つ折りにします。

※ 折り目がつきにくい布は、アイロンで折り目をつ けるとぬいやすくなります。

2 ぬい始めの位置に針をおろし押さえをさげます。
 上糸を向こう側に引っ張りながら1~2 cm ぬってミシンを止めます。

針が布にささった状態で押さえをあげ、布の三つ折りの部分を開いて、布端を押さえのうず④の中に巻き込みます。

③ 押さえをさげ、布端を立てて、左寄りに引きぎみに持ちあげながらぬいます。

布端の始末

三つ巻きぬいの重なる角の部分は、厚みをうすくする ため図のように布端を切り落として折り合わせます。




 ④ ぬいしろを割り、下の布のぬいしろを 0.3 cm 出して アイロンで折り目をつけ、折り山をむしのきわにあて ます。

- 5 模様 を選び、E:ファスナー押さえを付けます。 むしのきわを押さえの右側面にあて、あき止まりから ファスナーの左側をぬいます。
 - ※ ぬい始めは数針返しぬいをします。

⑤ ファスナーの端から約5 cm 手前でミシンを止めます。
 針を布にさした状態で押さえをあげ、スライダーを押さえの向こう側にずらしファスナーを開きます。
 押さえをさげて残りの部分をぬいます。
 ※ ぬい終わりは数針返しぬいをします。

- ファスナーを閉じ、スライダーを上にたおし、上の布 をファスナーの上にかぶせます。
 - 模様 🕌 を選び A:基本押さえを付けます。
 - かぶせた布と台布をしつけぬいで止めます。



- ⑧ 模様 を選び、E:ファスナー押さえを付けます。
 上の布のあき止まりを約1 cm ほど返しぬいして、むしのきわを押さえの左側面にあて、ファスナーの右側をぬいます。
 ⑨ ファスナーの上側を5 cm ほど残したところでミシンを止めます。
 針を布にさした状態で押さえをあげ、手順 ③ でぬったしつけぬいの糸をほどきます。
 ファスナーを開き、スライダーを押さえの向こうにず

らします。

コンシールファスナー付け(押さえオプション)
 キーを押し、模様選択画面を表示させます。
 手順ごとにキーを押すと、手順に合わせて自動的にミシンの設定がかわります。

白動 自動返しぬい

い 1)シールファカ・ 右側

님

ቀ -

₽

ファスナー

- +7

ファスナー付け

У

コンシールファスナー 付け

大学家

しつけ

ぬいしろに

4.5 +

- 2.40 +







4.5 +
5.00 +

● ギャザー

***-キーを押すと、キャザーに適した2種類の模様が 露中できます

選択できます。



- 1 上糸と下糸を押さえの下から向こう側に約 10 cm ほ ど引き出しておきます。
- ※ 下糸を針板の上に引き出す方法は、30ページ「下糸 を針板の上に引き出す場合」をごらんください。
- ② 図のように、でき上がり線をはさんで、2本平行にしつけをぬいます。
- ③ 押さえ上げをあげて布を引き出し、上糸と下糸を 5 cm くらい残して切ります。
 ※ 糸切りボタンで切らないでください。
- ④ ぬい始めの糸を結んでから、ぬい終わりの下糸を2本 一緒に引いて、布を縮め、糸を結びます。
- ⑤ ギャザーを整え、アイロンがけします。
- ⑥ 通常ぬいの直線模様を選び、できあがり線をぬって、 しつけを取ります。
- ※ しつけを取ったときの針穴が気になる場合は、でき上 がり線の上側に2本しつけをして、ギャザーを寄せま す。(左図【A】参照)

上糸と下糸を押さえの下から向こう側に約 10 cm ほど引き出しておきます。

- ※ 下糸を針板の上に引き出す方法は、30ページ「下糸 を針板の上に引き出す場合」をごらんください。
- はいしろの部分に 0.5 ~ 0.7 cm の間かくで 2 本線を 平行にぬいます。
- ② 布を軽くつまみ、上糸をそのままにして下糸を両側から引き、まるみを付けます。

● しつけ

しつけ

キーを押すと、しつけの模様選択画面になります。

しつけに適した2種類の模様が選べます。

フットコントローラーの利用 しつけぬいは、フットコントローラーを使用すると両

手が使えて便利です。 ※ フットコントローラーは、モデルによってオプ ションになります。

[※] ひだがよらないように注意して糸を引いてください。





オート

ファスナーの台布や衣服に使います。

ぬい目のあらさが最大値(約0.5 cm)の直線ぬいです。 あとで糸をほどきやすいように、糸調子が弱く設定され ています。

マニュアル

ミシンをスタートさせても、布は送られずに1針ごとに 停止します。1針ずつ手で布を移動させてお好みの間か くでぬうことができます。

※ フットコントローラーを使用している場合も、踏み続 けていても布は送られずに1針ごとに停止します。

【ぬい方】

PD-H:フリーキルト押さえを取り付け(19ページ参照)、 送り歯をさげます。(24ページ参照) 押さえ上下移動ボタンで押さえをさげ、布を前後にピン と張ってぬいます。 1 針ぬってミシンが停止したら、ぬい目をつまんで布を

1 計ぬってミンンか停止したら、ぬい目をつまんで布を 向こう側に必要な長さだけ引き出し、繰り返しぬいます。

● ボタンつけ

**>>>* キーを押すと、ボタンつけの模様選択画面になり

ます。

ボタンつけに適した2種類の模様が選択できます。

※ ボタンつけキーを押すと、「送り歯を下げてください。」 のメッセージ画面が表示されます。送り歯をさげて、 布送り機能がない状態でぬいます。(24 ページ参照)

<u> 1</u>注意:

必ず針がボタンの左右の穴におりることを確認してく ださい。ボタンに針があたると針が折れ、けがの原因 となります。

【T:ボタンつけ押さえを取り付ける】

- ※ ロックキーを押してミシンをロックして押さえを交換 します。(14ページ参照)
- ※ 押さえの交換方法は、16ページをごらんください。
- 押さえのうしろのピン①を、押さえホルダーのうしろのみぞ②にかけます。
- 2 押さえのうしろを軽くささえながら押さえ上げをさげて取り付けます。
 ロックキーを押し、ロックを解除します。



★ 普通のボタンつけのぬい方



模様 👝 はぬいが終了すると自動的にミシンが停止し

ます。(ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になって いても針は上の位置で停止します。)

T:ボタンつけ押さえを取り付け(113ページ参照)、送 り歯をさげます。

- ①「普通のボタンつけ」キー①を押します。
- ② ボタンの左右の穴の間かくをはかり、模様選択画面の 間かく調整キー③で、画面の数値を間かくと同じ値 に設定します。

最大 7.0 mm、0.5 mm 単位で調整できます。

※ 間かく調整キー ③ は、調整キー ② を押して表示 される調整画面にもあります。どちらを使用して も同じ設定ができます。

③ ボタンを押さえの下へ置き、はずみ車を手で手前にまわしてボタンの左の穴に針をさします。 ボタンの左右の穴が真横になるようにして、押さえをさげます。

はずみ車を手で手前にまわし、針がボタンにあたらな いで、ボタンの右の穴に入ることを確認します。

- ※ 針がボタンにあたる場合、間かく調整キーで調整 してください。(左側の針位置は固定で、右側の 針位置が移動します。
- ④ ミシンをスタートさせると、必要な針数をぬったあと 自動的にミシンは停止します。
 押さえ上げをあげて布を引き出し、上糸と下糸を 10~20 cm 残して切ります。
 ※ 糸切りボタンで切らないでください。
- ⑤ ぬい始めの上糸と下糸をボタンのきわで、はさみで切ります。 ぬい終わりの上糸④と下糸⑤は、下糸⑤を引いて 上糸④を布の裏側に引き出し、上糸と下糸を結んで から切ります。



★ 根巻きボタンつけのぬい方

根巻きボタン付けは、付属のボタン付けプレートを使用 してぬいます。

T:ボタンつけ押さえを取り付け(113ページ参照)、送 り歯をさげます。

- 1 「根巻きボタンつけ」キー①を押します。
- 2 ボタンの左右の穴の間かくをはかり、模様選択画面の 間かく調整キー③で、画面の数値を間かくと同じ値 に設定します。

最大 7.0 mm、0.5 mm 単位で調整できます。

※ 間かく調整キー③は、調整キー②を押して表示 される調整画面にもあります。どちらを使用して も同じ設定ができます。

③ ボタンを押さえの下へ置き、はずみ車を手で手前にま わしてボタンの左の穴に針をさします。

ボタンの下へボタンつけプレート④を差し込み、ボ タンの左右の穴が真横になるようにして、押さえをさ げます。

- ※ ボタンつけプレートはみぞの部分がボタン穴の下 になるように差し込みます。
- ※ ボタンつけプレートは、厚い方が 4.5 mm、うす い方が3mmになっています。用途に合わせて選 んでください。

はずみ車を手前にまわして針を右側に移動させます。 間かく調整キー③(「+」もしくは「-」ボタン)で 針がボタンの右穴に入るように調整します。 左側の針位置は固定で、右側の針位置が移動します。

ボタンの左右の穴の間かくは最大 7.0 mm、0.5 mm 単位で調整できます。

ミシンが自動的に止まるまでぬいます。 押さえ上げをあげて布を引き出し、上糸と下糸を10

~ 20 cm 残して切ります。

※ 糸切りボタンで切らないでください。

④ ぬい始めの上糸と下糸をボタンのきわで、はさみを 使って切ります。 ぬい終わりの上糸⑤と下糸⑥は、上糸⑤をボタン と布のあいだに引き出し、次にその上糸⑤を引いて 下糸⑥をボタンと布のあいだに引き出します。 上糸と下糸を浮かせた足の部分にそれぞれ反対方向に 数回巻き付けて結びます。

メモ:

ボタンが厚すぎる場合、ボタンつけプレートは使用で きません。



● かんぬき止め

かんぬき

かんぬき止めはポケットぐちなど、ぬい目に力がかかっ てほつれやすい部分などを補強します。

[] キーを押すと、4 種類(3 種類のオートかんぬき止

めとマニュアルかんぬき止め)の模様を選べます。 ページキーで画面を切りかえ模様を選択します。

F:サテン押さえを取り付けます。

【自動かんぬき止め】



は、かんぬき止めの長さがそれ

ぞれ 1 cm、0.7 cm、1.2 cm の固定値になっています。 ぬい始めの位置 ① に針をおろし、ミシンをスタートさせ ます。

選択した長さ②がぬわれ、終わると自動的に止まります。

【マニュアルかんぬき止め】

模様 **狂** は、お好みの長さ(最大 1.5 cm)のかんぬ

き止めができます。

マニュアル

ミシンをスタートさせ、必要な長さ ③ までぬい、返しぬ いボタン ④ を押します。

これでかんぬき止めの長さ ⑤ が決まります。

ミシンが自動的に止まるまでぬいます。

メモ:

- マニュアルでぬえるかんぬき止めの長さは、最長 1.5 cm です。
- ぬい目の幅やあらさは、調整画面のぬい目の幅調整 キーとぬい目のあらさ調整キーでかえることができ ます。(ぬい目のあらさをかえると、自動でぬえる 最大長さ「1.5 cm」もかわります。)

ぬい終わると、メッセージ画面が表示されます。ミシン はぬった長さ(サイズ)を記憶しています。

•別の場所に同じ長さのかんぬきをぬう場合、この画面の状態のまま布の位置をかえてミシンをスタートさせます。

返しぬいボタンを押さなくても同じ長さのかんぬきを 自動的にぬってミシンは停止します。

•違うサイズでぬう場合、閉じるキー⑥を押してメッセージ画面を消すと、記憶している長さは取り消されます。





キーを押すと、6種類の模様を選べます。

ページキーで画面を切りかえ模様を選択します。

画面の模様選択キーに表示されている「M」、「R」は、ぬい目の幅をかえたときの基準位置です。

- M: ぬい目の幅をかえたときに、中針位置(中央)を基準 (固定)に左右に幅が変化します。
- R: ぬい目の幅をかえたときに、右針位置を基準(固定) に左に幅が変化します。

アップリケの基準位置は、調整キー①を押して表示される調整画面の針位置調整キー②(「+」「ー」キー)で調整できます。

ぬい幅はかわりません。





アップリケ布をのり付けするか、しつけで止めます。 模様の針位置が右のときに、アップリケ布の縁の外側に 針が落ちるようにぬいます。

アップリケのコーナーでの回転

カーブのところや方向転換するところでは、アップリケ 布の外側に針がささった位置でミシンを停止し、針をさ したまま押さえをあげて方向をかえるときれいに仕上が ります。

※ ピボットぬい設定キー① を押してピボットぬい設定 をオンにすると便利です。(36ページ参照)

メモ:

アップリケの外側に針を落としたときにミシンを止め てください。

【針停止位置切りかえキーの使い方】

ミシンの設定で、針停止位置の設定が「上位置停止」に 設定されていても、用途選択の6種類のアップリケ模様 を選択すると、ミシンが停止したときの針位置は下位置 になります。

ミシンを停止したときの針位置を上にしたい場合、模様 選択画面の針停止位置切りかえキー ② を押して「上位置 停止」状態にしてください。

※ ミシン設定の「針停止位置」は 136 ページをごらん ください。

【角ぬいキーの使い方】

模様選択画面の角ぬいキー ③ を利用すると、角の部分で 方向転換してから模様頭出しキー ④ によって模様を最初 からぬっても、模様のぬい始めにほつれ止めの止めぬい が入らないので、模様をきれいにぬうことができます。

- ※ 模様頭出しキーの使い方は 86 ページをごらんくだ さい。
- 角ぬいキー③を押し、角ぬいの状態にします。
 (角ぬいの状態にすると、模様頭出しキー④の表示も 角ぬい状態の表示にかわります。)
- ② 方向転換するところのアップリケ布の外側に針がさ さった位置でミシンを停止します。
- ③ 針をさしたまま押さえをあげて布の方向をかえ、模様 頭出しキー④を押してからミシンをスタートさせま す。



● パッチワーク

パッチワークのピーシング(ぬい合わせ)



パッチワーク

キーを押すと、パッチワーク(ピーシング)に適

した3種類の模様が選べます。

ページキーで画面を切りかえ模様を選択します。

ぬい目のあらさはパッチワークのぬい合わせに最適な 1.8 mm に設定されていますが、ぬい目のあらさ調整 キー②(「+」、「-」キー)で変更できます。また調整 キー①を押して表示される調整画面でも変更できます。 どちらを使用しても同じ設定ができます。



- 3 種類の模様は、O:パッチワーク押さえを使い、
 6.5 mm(1/4 インチ)のぬいしろを正確にぬうことができます。
- 「「「」、「「」」、の模様はぬい始めと終わりに返しぬ
- いおよび止めぬいを行います。(44 ページ参照) ・ ピーシング用の模様は、キルトグループにもありま

キルト模様
 は、O:パッチワーク押さえを使うと、1/4 インチのぬいしろを正確にぬうことができます。

- キルト模様では、O:パッチワーク押さえを使う
- と、7 mm のぬいしろを正確にぬうことができます。
 直線針板を使用すると、針が布にささるときのばた つきがおさえられ、ぬい目が美しく仕上がります。

【ぬい方:模様 の例】

O:パッチワーク押さえを付けます。

1 「自動止めぬい」 キー ① を押します。

② 布を中表に合わせ、布を押さえの下へ置き、布端②
 をガイド③に沿わせてぬいます。
 ぬい始めの位置④からミシンをスタートさせ、ぬい
 終わりの位置⑤でミシンを停止します。

③ 返しぬいボタン ⑥ を一度押します。
 その位置でほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。





 ④ ミシンを止めると、画面にメッセージが表示されます。
 OK キー⑦を押します。
 ぬった長さ(サイズ)が記憶され、ミシンをスタート させるだけで、返しぬいボタンを押さなくても同じ長 さを自動的にぬってミシンは停止します。

違うサイズでぬう場合、閉じるキー⑧を押します。

 ⑤ 記憶した長さでぬったあと、画面にメッセージが表示 されます。
 繰り返し同じ長さでぬう場合、ミシンをスタートさせ ます。

違うサイズでぬう場合、閉じるキー⑨を押します。

★ 針板角度目盛りの使い方

パッチワーク布(ピース)の角度と同じ角度目盛りに布端を合わせると、しるしなしで 6.5 mm(1/4 インチ)の ぬい始めの位置を決めることができます。

例:レモンスター

○:パッチワーク押さえをセットし、用途選択のパッチ ワーク3種類の模様、またはキルトグループの模様 を選びます。

1 ピースの対角線 ① に折り目を付けます。

② ぬい始め ② は、布端をパッチワーク押さえのガイド ④ および角度目盛り「45」度〈点線〉 ⑤ に合わせて布を 置きます。

③ ぬい終わり ③ は対角線までぬいます。







₩₹427 キーを押すと、6 種類の用途選択画面になります。

以下の6種類のキルティング模様から選択できます。

- ① 直線ぬい
- ② とじぬい
- ③ フリーキルト
- ④ 刺し子風ステッチ
- ⑤ 手ぬい風キルトぬい
- ⑥ バリアブル ZZ (可変ジグザグ)



★ 直線ぬい(上送り押さえ使用)

ここで説明する直線ぬいは、上送り押さえを使用して、 キルトをぬい合わせるのに適しています。 上送り押さえの取り付けは 18 ページ、A:基本押さえ でキルティングガイドを使う場合は 76 ページをごらん ください。

【上送り押さえ使用時のキルティングガイドの使い方】

キルティングガイドを使うと、前にぬったぬい目と平行 に等間かくでぬうことができます。

上送り押さえホルダーのうしろの取り付け穴② にキル ティングガイド① を差し込みます。

針位置とキルティングガイド①のガイド部分までの距離 がぬう間かくになります。

キルティングガイド①をスライドさせて、お好みの距離 に調整してください。

既にあるぬい目にキルティングガイドを沿わせながら平 行な直線をぬいます。



★ とじぬい

キルティングの用途選択画面の「とじぬい」キーを押すと、 4種類のとじぬい模様が選べます。

厚みのあるキルト綿をとじるときに使います。

- ※ とじぬい模様は1つの模様が完成すると、ほつれ止め の止めぬいをしてミシンが自動的に停止します。
- F:サテン押さえを使用します。



ミシンをスタートさせ、自動的に停止するまでぬいます。





★ フリーキルト「直線ぬい 1」のぬい方



★ フリーキルト「直線ぬい 2」のぬい方

両手で布を案内しながら中くらいのスピードでぬいます。 1 針あたり 3 mm以上布を動かさないでください。

- ※ QC:フリーキルト押さえ(丸穴)/QO:フリーキルト 押さえ(前あき)の取り付けは、124 ページをごらん ください。
- ※ 布の種類や厚さによってはすきまがあいたり、強く押 さえすぎたりすることがあります。その場合は押さえ 高さの調整をしてください。(127 ページ参照)
- 布をセットし、上糸①の端を針から離れたところで 持ちます。 上糸①は押さえの穴③に入れないでください。
- ミシンをスタートさせます。
 ミシンは1針ぬって停止します。
- ③ 上糸①を上に引いて、下糸②を引き出します。
 ※ 下糸②を布の裏側でぬい込まないために、布の上に下糸②を引き出します。
- ④ 引き出した上糸①と下糸②を押さえの穴③から下 へ通します。
 布の上のぬい込まない位置に手で押さえます。
 - ※ QO:フリーキルト押さえ(前あき)は押さえの 穴がないので、引き出した上糸と下糸を横にして、 押さえておきます。
- ⑤ もう一度ミシンをスタートさせてぬい始めます。
 図案に沿って両手で布を案内しながらキルティングします。

メモ:

- フリーモーションでキルトをぬうときは目とびを防 ぐため、パープル針を使用してください。
- フリーキルト押さえを使用するときは、布を前後に 強く引っぱらないでください。針折れ、けが、故障 の原因となります。



★ フリーキルト「ジグザグぬい 2」のぬい方

両手で布を案内しながら中くらいのスピードでぬいます。 1 針あたり3 mm以上布を動かさないでください。

- ※ QV:フリーキルト押さえ(透明)の取り付けは、 124 ページをごらんください。
- ※ 布の種類や厚さによってはすきまがあいたり、強く押 さえすぎたりすることがあります。その場合は押さえ 高さの調整をしてください。(127ページ参照)
- 1 布をセットし、上糸①の端を針から離れたところで 上糸①は押さえの穴③に入れないでください。
- 2 ミシンをスタートさせます。 ミシンは1針ぬって停止します。
- ③上糸①を上に引いて、下糸②を引き出します。 ※ 下糸 ② を布の裏側でぬい込まないために、布の 上に下糸②を引き出します。
- ④ 引き出した上糸①と下糸②を押さえの穴③から下 布の上のぬい込まない位置に手で押さえます。

⑤ もう一度ミシンをスタートさせてぬい始めます。 図案に沿って両手で布を案内しながら、ガイド線に合 わせて等間かくにキルティングします。

- フリーモーションでキルトをぬうときは目とびを防 ぐため、パープル針を使用してください。
- •フリーキルト押さえを使用するときは、布を前後に 強く引っぱらないでください。針折れ、けが、故障 の原因となります。







★ 1 針停止ぬい

フリーキルティング模様を選んだ直後、模様選択画面の 1 針停止キーの表示は 🚺 になっています。

ミシンは 1 針ぬって停止し、キーの表示が 🗾 にかわります。

この表示の状態でミシンを再スタートさせると連続してぬいます。

最初から連続してぬいたい場合、1 針停止キー ① を押してキーの表示を // にかえてください。

1 針停止キーは、押すごとに2つの表示が切りかわります。 フリーキルト模様をぬったあと、そのまま同じ模様を別 の場所にぬう場合、ミシンをスタートさせてから自動的 に1 針ぬって停止したいときは、1 針停止キーを押して キーの表示を ____ にかえてください。

★ フリーキルト押さえ高さの調整

PD-H:フリーキルト押さえは、ぬい中最適な押さえ高さ(押 さえの下面が布に軽く触れる位置)に自動セットされます。 ただし、QC:フリーキルト押さえ(丸穴)、QO:フリー キルト押さえ(前あき)、QV:フリーキルト押さえ(透明) は、布の種類や厚さによってはすきまがあいたり、強く 押さえすぎたりすることがあります。その場合は押さえ 高さの調整をしてください。

- ※ ぬっているときに布が弾む場合、押さえの高さをさげます。押さえが布に引っかかる場合、押さえの高さをあげます。
- 1 押さえの下に布をしき、押さえをさげます。
- 2 押さえ高さ調整キー①を押すと、押さえ高さ調整画面が表示されます。
 - ※ 高さのオート値(電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値)は、1.5 mm です。
- ③「+」もしくは「-」キー②を押し、OKキー③を 押して設定を登録します。

メモ:

- 閉じるキー④を押すと設定は変更されず、前の画面にもどります。
- 変更した値をオート値にもどす場合、初期化キー⑤
 を押して、OKキーを押します。

★ 刺し子風ステッチ

キルティングの用途選択画面の「刺し子風ステッチ」キー を押すと、3種類の刺し子風ステッチの模様が選べます。

アウトラインを目立たせる為のステッチで、手ぬい風の キルトになります。



ZZ〕 (1/2ページ) ZZ] (2/2ページ) パリアプルZZ(1/2) バリアプルZZ(2/2) 뿌냥 눈 5 4/ 1 <u>↓8</u> ‰ A 🙄 🖬 (1)-L ววรรณง ววรรวลเง 🛥 Lawy W N' 1)-Mp-tu 3-M-🔁 3-L 3 フリーモーション フリーモーション ۲. ۲. ۲. Υγγγ セッ -2)-1 2)-Mξ ? ? **50** − 4.6 + **7** − 9.0 + - 0.60 + Î Ĵ ☆ - 2.2 + ページキー フリーモーション 模様..... ζ. 押さえPD-H: フリーキルト押さえ ※送り歯をさげる(24ページ参照)

★ 手ぬい風キルトぬい

キルティングの用途選択画面の「手ぬい風キルトぬい」 キーを押すと、2種類の手ぬい風キルトぬいの模様が選 べます。

※ 手ぬい風キルトぬいの模様は、キルトグループにもあります。(模様 (100) (71 ページ参照))



上糸に透明なナイロン糸を使用し、下糸には通常の糸を 使用します。針は 14 ~ 16 番を使用します。 下糸が布表に引き出されて手ぬいのようなぬいになりま す。

★ バリアブル ZZ(可変ジグザグ)

キルティングの用途選択画面の

6 種類の可変ジグザグぬいの模様が選べます。 ページキーで画面を切りかえ模様を選択します。

【ぬい方:模様 🦹 の例】

ニーリフトを使用して、ひざでぬい目の幅を自由にかえる ことができるので両手が使えて便利です。ぬいながらニー リフトを右側に押すほどぬい目の幅が大きくなります。

PD-H:フリーキルト押さえでぬう場合、①-M または ①-L の模様を選びます。 送り歯をさげ、布を両手で案内してぬいます。

QV:フリーキルト押さえ(透明)で、平らなキルトをぬ う場合、②-M または ②-L の模様を選びます。 送り歯をさげ、布を両手で案内してぬいます。

F:サテン押さえでぬう場合、③-M または ③-L の模様を 選びます。

布は送り歯で送られ、ニーリフトでシグザクのぬい幅を 調整できます。





必要であれば、芯地を布の裏にあてます。 布を両手で案内し、ひざでジグザグのぬい幅を調整しな がら低~中速でぬいます。

- メモ: ジグザグぬい 準に左右に変化します。 フリーモーション フリーモーション ジグザグぬい • 模様 🗽 🚺 🚺 は、ぬい目の幅が左側を基準 に右に変化します。 • 選んだ模様によって使用する押さえが異なります。 正しい押さえを使用してください。 PD-H:フリーキルト押さえの取り付けは 19 ペー ジ、QV:フリーキルト押さえ(透明)の取り付けは 124 ページをごらんください。 ぬい方は、124~126ページと同じです。 •1 針停止キーの使い方は、127 ページをごらんくだ さい。 ミシンが停止しているとき、ニーリフトで押さえを あげることができます。(23ページ参照)
 - ニーリフトの移動量に対する針の振る量(ぬい目の幅)をかえることができます。(138ページ「バリアブル ZZ(可変ジグザグ)感度調整」参照)
 - フリーモーションでキルトをぬうときは目とびを防
 - ぐため、パープル針を使用してください。

★ ジグザグのぬい幅の上限を設定

ジグザグぬいのぬい幅の上限を設定できます。

ぬい目の幅調整キー④の「+」か「一」キーを押してぬい目の最大幅を変更します。

F: サテン押さえを使用時、調整キー ⑤ を押し調整画面 を全体表示させます。







〔共通設定画面〕(1/5ページ) (1/5)OK X n ~ 43 (1 Þ 共麗錠 画面のコントラスト -(1) + 轚 セット -(2) 3 ۱ (+) ? インチノミリ -(3) inch Î 次ページ +

◎ミシンの設定

● ミシン設定モード

セットキー①を押し、ミシンの設定を変更します。 ミシンを初期状態(購入時の設定状態)からお好みの状態に設定することができます。 ミシン設定のモードを下記4つのキーから選びます。

② 共通設定キー

通常ぬいと刺しゅう共通の設定画面を表示させます。

③ 通常ぬい設定キー

通常ぬい専用のミシン設定画面を表示させます。 (136~139ページ参照)

④ 刺しゅうぬい設定キー

刺しゅう専用のミシン設定画面を表示させます。 (191 ~ 195 ページ参照)

⑤ 言語設定キー

言語設定画面を表示させます。 画面に表示される言語を設定します。(140ページ参照)

各設定画面でページを移るには、次ページキー⑥か、前 ページキー⑦を押します。

設定の登録

設定を変更した場合、OK キー ⑧ を押し新しい設定を適用します。 閉じるキー ⑨ を押すと、変更がキャンセルとなり、設定 画面が終了します。

● 共通設定

画面のコントラスト
 画面のコントラストを「+」、「-」キーで調整します。

² 音量

キーを操作したときに鳴るブザーの音量を「+」、「−」 キーで調整します。 〈OFF・1~5の6段階、初期値:3〉

③ インチ/ミリ

画面に表示される数値の単位(インチ / ミリ)を切りか えます。ただし、調整画面のぬい目の幅やあらさの数値 はかわりません。〈初期設定:ミリ〉

次ページキーを押し、次のメニューに移動します。



④キーの位置調整

画面上のキー表示の位置と実際のキーの位置がずれてい て、押しても反応しない場合などに調整します。

調整する場合、画面の YES キーを押し調整モードに入ります。

付属のタッチペンで「+」の中心を押します。 押すと、次の画面に切りかわるので、順番に(A)~(E) の画面の「+」の中心を押します。 (E)の画面が終了すると(F)の画面が数秒表示され、 共通設定画面にもどります。





⑤ フォーマット

ミシンの内蔵メモリおよび USB メモリをフォーマットします。

内蔵メモリをフォーマットする場合はミシンのアイコン、 USB メモリフォーマットする場合は USB メモリアイコ ンを押し、フォーマット画面を表示させます。

「OK」 キーを押しフォーマットします。

※フォーマットすると、現在保存されている通常ぬいと、 刺しゅうの模様データおよび、読み込んだスクリーン セーバーのデータがすべて消えます。

<u> 1</u> 注意:

画面に警告メッセージが出ているあいだ、電源を切ったり、USBメモリを抜いたりしないでください。 データが消えるなど、損傷する恐れがあります。

次ページキーを押し、次のメニューに移動します。

⑥ ライト

3 カ所のライトのキーを押し、オンとオフを設定できます。 〈初期設定:3 カ所ともオン〉

⑦ 上糸切れ検知

ぬい途中に上糸が切れた場合、切れたことを知らせてミ シンを停止する上糸切れ検知機能の設定をします。 上糸切れ検知あり(「ON」)、なし(「OFF」)を設定します。 上糸無しでミシンを動かしたいときは「OFF」に設定し てください。 〈初期設定:ON〉 通常は、「ON」に設定してください。途中で上糸が切れ てしまったあとの無駄なぬいを防ぎます。

次ページキーを押し、次のメニューに移動します。





⑧ 待機時間

電源を入れたままミシンを使用しない状態が続いた場合、 一定時間が経過するとミシンのライトが消え、ミシンは 省エネモードとなります。省エネモードに入るまでの時 間を設定します。

<1~30分および OFF (なし)、初期値:10分>

省エネモード中、画面や操作ボタンにさわると元の画面 にもどり、ミシンのライトも点灯します。

「OFF」に設定したい場合、画面に「OFF」が表示される まで「+」キーを押します。

⑨ スクリーンセーバー

「ON」/「OFF」キーを押し、省エネモード中にスクリーンセーバーを表示するかどうかを設定します。

〈初期設定:ON〉

読み込みキー ⑩ を押すと、USB メモリからスクリーン セーバーを読み込むことができます。

付属のアキュツールズS(CD-ROM)の「スクリーンセー バーツール」を使用して、オリジナルのスクリーンセー バーを作成することができます。

※ 詳しくは「スクリーンセーバーツール」の画面にある ヘルプをごらんください。

削除キー ừ を押したり、内蔵メモリをフォーマット

したりすると(134ページ参照)、オリジナルのスクリーンセーバーのデータは削除されます。

次ページキーを押し、次のメニューに移動します。

① 背景色

画面の背景色を3つのパターンから設定します。 〈初期設定:グレー〉

12 すべて初期状態にもどす

通常ぬいと刺しゅうの共通項目、通常ぬい専用項目、刺しゅう専用項目で設定したすべての内容を初期の状態(購入時の設定状態)にもどすことができます。 ただし、言語設定はもどりません。



● 通常ぬい設定

① 糸調子

模様を選ぶと、標準的な条件において最適な糸調子になるよう自動で設定されますが、自動で設定される値(オート値)をすべての模様に対して全体的に強くしたり(+)、弱くしたり(-)できます。 〈オート-5~オート+5の11段階、初期値:オート〉

② 下糸残量

下糸の残量が少なくなった場合に検出して知らせる機能 です。数値が大きいほど、早め(下糸残量が多いとき) に検出されます。「+」/「−」キーで設定します。 〈OFF(なし)、0.5、1~4の6段階、初期値:2〉 「OFF」に設定したい場合、画面に「OFF」が表示される まで「−」キーを押します。

③ 針停止位置

ミシンを止めたときに、針を上の位置で停止させるか下 の位置(布にささった位置)で停止させるかを設定します。 ボタンホール、特殊ぬい、文字ぬいなどを除き、針は下 位置で止まりますが、針停止位置を上位置に変更できま す。

〈初期設定:下位置停止〉

メモ:

ビボットぬい設定をオンにしていると、「針停止位置」 を上停止位置に設定しても針は下位置で止まります。 (36 ページ参照)

次ページキーを押し、次のメニューに移動します。

④ スロースタート調節

ミシンをスタートさせたとき、ぬい始めの速度はゆっくり動きはじめてから、徐々にスピードコントロールつまみで設定した速さになります。

ぬい始めの速度を ▶ (遅い)、 ▶ (普通)、

▶▶▶ (速い)の3段階にかえることができます。

上段はスタート/ストップボタン使用時、下段はフット コントローラー使用時の調節ができます。 〈初期設定:普通〉







⑦ 押さえ上げ高さ(ピボット) ぬいを止めたとき、押さえが自動であがる高さを調整することができます。(36ページ参照) 数値が大きいほど、押さえ上げの高さが高くなります。 「+」か「一」キーで設定します。 〈0.5~6.0 mm (0.5mm 単位) 12 段階、初期値: 3.0 mm〉

7 8 7 7 7 8 7 7 7 8 7 7 8 7 7 8 7 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 8 7 8 8 7 8 8 8 7 8 8 7 8 8 7 8 8 8 8 8 8 9 8 9 8 9 8 9 9 9 9 9 8 9

押さえ圧は適切になるよう自動で調整(オート)されま すが、「+」、「ー」キーで好みの押さえ圧に調整できます。 〈オート-5~オート+4の10段階、初期値:オート〉

⑨ バリアブル ZZ (可変ジグザグ) 感度調整

バリアブル ZZ(可変ジグザグ)をぬうとき、ニーリフト で動く量を調整できます。

「1」に設定すると、ニーリフトを小さく動かすだけで、 針棒は動く設定になります。

「3」に設定すると、ニーリフトを大きく動かすと、針棒 が動く設定になります。

- 「一」キーを押して感度をあげます。
- 「+」キーを押して感度をさげます。
- 〈1~3の3段階、初期値:2〉

次ページキーを押し、次のメニューに移動します。





● 言語設定

画面に表示されている言語を 13 カ国の中から設定する ことができます。 お好みの言語を選択して、OK キーを押します。 選択した言語でメッセージが表示されます。 〈初期設定:日本語〉





○ 刺しゅう● 刺しゅうの準備

🚹 注意:

刺しゅう枠を自由に動かせる十分なスペースをとって ください。 左図で示した範囲に物を置かないでください。故障や けがの原因となります。

★ 刺しゅうユニットの取り付け方

 電源スイッチ①を切ります。 刺しゅうユニット取り付け部カバー②を外します。

メモ:

フリーアーム刺しゅう枠(FA10a)を使用するとき以 外は、必ず補助テーブル③をミシンに付けてくださ い。

2 刺しゅうユニット④を両手で持ち、図のようにマーク⑤同士を合わせます。

 ③ マーク ⑤ を合わせた状態で、刺しゅうユニット ④ を 矢印方向にスライドさせ、ミシン本体に取り付けます。
 ※ ミシン本体のコネクター ⑥ にしっかり入るまで 刺しゅうユニットをスライドさせてください。




★ 刺しゅうユニットの取り外し方

<u> (</u>注意:

ミシンをしまうとき、または持ち運ぶときには刺しゅうユニットを必ず取り外してください。 故障やけがの原因となります。

刺しゅう枠を取り外し、キャリッジをホームポジションにもどします。(165ページ参照)

通常ぬいモード / 刺しゅうモード切りかえキーを押し 通常ぬいモードにします。

※ 針がさがっているときは、上下停針ボタンを押し て、針をあげてください。

<u> 注</u>意:

キャリッジアームをホームポジションにもどすとき、 刺しゅうユニットとミシンのあいだに指をはさまない ように注意してください。けがの原因となります。

 2 キャリッジレバー①を押しさげて、キャリッジアー ム②を刺しゅうユニットに格納します。

⚠ 注意:

- 電源スイッチが入っているとき、切れているときに かかわらず、キャリッジを手で動かさないでください。故障の原因となります。
- キャリッジアームを格納したときはキャリッジが ホームポジションにあることを確認してください。 ホームポジションにないと故障の原因となります。
- ③ 電源スイッチ ③ を切ります。
 刺しゅうユニット取り外しレバー ④ を押します。
 刺しゅうユニット ⑤ を左にスライドして取り外します。

- ④ 刺しゅうユニット取り付け部カバー ⑥ を取り付けます。
- ※ 刺しゅうユニットケースへの収納方法は 5 ページ をごらんください。



★ 刺しゅう押さえの取り付け

刺しゅうの場合、P:刺しゅう押さえを取り付けます。

押さえを交換する場合、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。けがの原因となります。

 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタン①を 押して針をあげます。
 ロックキー②を押してミシンをロックし(14ページ参照)、押さえ上げ③をあげます。

② ドライバーで押さえホルダー止めねじ ③ をゆるめ、 押さえホルダー ④ を外します。

③ P:刺しゅう押さえ ⑤ を押さえ棒のうしろから取り付け、押さえホルダー止めねじ ③ をドライバーでしっかりとしめます。

★ **針の交換** 刺しゅうの場合、ブルー針に取りかえます。 (22 ページ参照)

★ **針板の交換** 針板は直線針板を使用します。(21 ページ参照)



★ 刺しゅう糸

糸はミシン刺しゅう糸を使用してください。 また、使用する糸の選択を必ず行ってください。 (194 ページ「糸選択」参照)

メモ:

糸選択を行わないと、使用する糸に合った糸調子が設定されないので、ぬい不良の原因となります。 刺しゅうの下糸は、JANOME ポリエステル# 90 を使用してください。



★ 刺しゅう枠とテンプレート 本機には3種類の刺しゅう枠が付属しています。

 SQ14a マグネットクリップ付き標準刺しゅう枠 (テンプレート⑤付き)

刺しゅう範囲は、横 14 cm x 縦 14 cm です。 標準的な刺しゅうに使用します。

② RE20a マグネットクリップ付き大型刺しゅう枠 (テンプレート ⑤ 付き)

刺しゅう範囲は、横 17 cm x 縦 20 cm です。 大型模様に使用します。

③ FA10a 小型刺しゅう枠(テンプレート ⑤ 付き)

刺しゅう範囲は、横 10 cm x 縦 4 cm のフリーアーム刺 しゅう枠です。 小型模様に使用します。

④ 布端押さえ

布が刺しゅう枠の中に入り込む場合、内枠に立てて使用 します。(187 ページ参照)

⑤ テンプレート

ます目の範囲が刺しゅうできる範囲です。

1. 内蔵模様のぬい開始位置

- 文字ぬい(横書き)センターボトムのぬい原点の位置 文字ぬい(縦書き)センターミドルのぬい原点の位置
- 2. 文字ぬい(横書き)トップボトムのぬい原点の位置
- 文字ぬい(縦書き)トップミドルのぬい原点の位置 3.文字ぬい(横書き)エンドボトムのぬい原点の位置
- 文字ぬい(縦書き)エンドミドルのぬい原点の位置
- ※ ぬい原点の位置の詳細は、155 ページをごらんください。

⑥ 刺しゅう布保持用マグネットクリップ

布を刺しゅう枠にとめるマグネットクリップです。



★ 芯地

刺しゅう部分の布の裏側に芯地を貼るときれいに仕上が ります。

使用法:

薄い布や化繊布、またはジャージーのような伸縮性のあ る布の場合、必ず芯地を貼ります。

しっかりした厚い布地は芯地を貼らずにそのままぬえま す。

芯地はアイロンで接着するタイプと接着しないタイプが あります。

接着しないタイプの芯地は、アイロンをかけられない布 やアイロンをかけにくい部分に刺しゅうする場合に使用 します。

【接着するタイプの芯地の貼り方】

布の裏(刺しゅうしない側)と、芯地の光沢のある糊付 き側を向かい合わせにしておき、角を折ってアイロンが けします。

メモ:

- ・芯地の角を折っておくと、刺しゅうが終わったあと
 に、芯地がはがしやすくなります。
- アイロンの温度は、使用する芯地によって異なります。
- ・のりが付着する場合がありますので、ぬい終わった あとは内がまをきれいに掃除してください。 (200 ページ参照)

【水溶性の芯地(不織布タイプ)の用途、使用方法】

普通の芯地とは異なり、水溶性の芯地はぬるま湯にひた すか水洗いすることで溶けてなくなります。

チュールやオーガンジーなどのうすい布や、タオルやベロア、コーデュロイなどの起毛している布の場合、水溶性の芯地を貼るときれいに仕上がります。

また、水溶性の芯地に刺しゅうをすると、模様そのもの をモチーフとして使用したり、刺しゅう模様を重ねて立 体的に仕上げたりすることができます。

※水洗いできない素材には使用しないでください。

- ※ タオルやベロア、コーデュロイなどの起毛している布 に刺しゅうするときは、布の上に芯地を張ります。
- ぬい終わったあと、はさみで余分な芯地を切り落とし、 ぬるま湯(35~45度)にひたして芯地を溶かします。 新しいぬるま湯にかえて10分程度ひたすと、きれい に取り除くことができます。
- 2 何度かぬるま湯ですすぐと柔らかくなります。
 - ※ 強くもんだり、こすったりすると模様がくずれて しまうので注意してください。
- ③ 芯地を溶かしたあとは、タオルにはさみ水分を吸い取り、日陰で平干しをして完全に乾かしてください。



★ 刺しゅう枠に布を張る

- 1 布①を準備し、芯地を布の裏側に貼ります。
 布①と芯地は刺しゅう枠のサイズより大きいものを 用意します。
 模様の位置を決めるため、布の中心に十字マーク② を付けます。
- ② 布の上に内枠 ③ を置き、その中にテンプレート ④ を 入れて、テンプレート ④ の基準線と布の十字マーク を合わせます。
- ③ 外枠 ⑥ の調整ねじ ⑤ をゆるめます。
 布の十字マークとテンプレートの基準線がズレないように外枠 ⑥ にセットします。

 ④ 内枠と布を外枠に押し込み、調整ねじ ⑤ をしめて、 布を張ります。

布をピンと張るため、調整ねじ ⑤ をしめた状態で 一度内枠を外し、テンプレートの基準線と布の十字 マークを合わせながらセットし直します。布地がたる まないように布地の 4 辺を引っ張り、ピンと張ります。 ※ 外枠と内枠のマーク ⑧ を合わせて布を張ります。 ※ **布地を軽くたたくと、太鼓のような音がするくら いピンと張ります**。

刺しゅう布保持用マグネットクリップ⑦を4カ所に セットします。

- ⑤ 穴に指を入れ、テンプレートを外します。
- ※ キルトなどの厚い布に刺しゅうする場合には、刺しゅう枠が右側に移動したとき、ミシンと刺しゅう枠のすきまがなく刺しゅう枠の動きを妨げていないか確認してください。
- ※ ぬい終わったら、矢印方向に刺しゅう布保持用マグ ネットクリップ⑦を外し、調整ねじ⑤をゆるめて布 を外します。

本や芯地が厚くなっている所をぬうと、目とびしたり、 糸が切れたり、針が折れたりする危険があります。 3 mm より厚くなっている所はぬわないでください。



★ 刺しゅう枠のキャリッジ取り付け

刺しゅう枠を取り付けるときは、模様を選び、ぬい開始 位置で刺しゅう枠を取り付けます。

- キャリッジアームを開き、電源を入れます。
 通常ぬいモード/刺しゅうモード切りかえキー①を 押し、刺しゅうモードにします。
 メッセージ画面が表示されます。
 OK キー②を押すとキャリッジがホームポジション に移動し、送り歯が自動的にさがります。
 刺しゅうモード画面が表示されます。
 - ※閉じるキー③を押すと、前の画面にもどります。

メモ: キャリッジアームを格納したまま通常ぬいモード/刺 しゅうモード切りかえキー①を押すと、メッセージ 画面が表示されます。 OK キー②や閉じるキー③を押さず、キャリッジアー ムを開いてください。

- ② つまみ④を横に向け、刺しゅう枠の凹部⑥をキャリッジの凸部⑤に合わせて差し込みます。
 つまみ④を右方向にまわして、刺しゅう枠を固定します。
 - ※ 刺しゅう枠の取り付け、取り外しはセンター位置 で行います。

★ ぬい始めの糸かけ

上糸の端を刺しゅうにぬいこまないようにします。

上糸を刺しゅう押さえの穴に通し、糸切り / 糸押さえ ① にかけます。 糸は前からうしろに向かって 2 ~ 3 cm 出してかけます。



● ぬい方

★ 内蔵模様の選択方法 (模様)

通常ぬいモード/ 刺しゅうモード切りかえキー①を押し、 刺しゅうモードにします。 刺しゅうモードのホーム画面になります。

内蔵模様キー ② を押すと、デザインをカテゴリー別に分けた模様のリストが表示されます。

【デザインカテゴリーキー】

デザインカテゴリーキー ③ を押すと、デザインをカテゴ リー別に分けた模様リストが表示されます。 刺しゅう模様のグループは、13 個のグループがあり、 4 つのページ(画面)に分かれています。ページキー ⑤ で選択します。

【刺しゅう枠選択キー】

刺しゅう枠別選択キー④を押すと、使用する刺しゅう枠の サイズで刺しゅうできる模様の選択画面が表示されます。 刺しゅう枠を選び、同じサイズの刺しゅう枠をミシンに 取り付けます。

ページキー ⑤ でページをめくりデザインのリスト見て、お好みの模様を押して選択します。

画面に刺しゅう枠確認画面が表示されます。

【デザインカテゴリーリスト】

- 1/4ページ
- Anna Maria Horner コレクション
- 花文字
- クロスステッチ
- レース刺しゅうデザイン

2/4ページ

- カウチングデザイン
- ・デコパーツデザイン
- ・デザインセレクション
- ・コンビネーションデザイン

3/4ページ

- ・HANA アルファベットデザイン
- ・キルティング
- ・刺し子デザイン
- ・書道コレクション

4/4ページ

・クロスセッター模様

お好みのカテゴリーを選択すると、模様選択画面が表示 されます。 ページキー ⑤ を押して、デザインのリストのページをめ くり、お好みの模様を押して選択します。



★ 内蔵模様の選択方法(文字)

文字キー①を押すとミシンに内蔵されている刺しゅうゴ シック体文字(模様)グループの選択画面が表示されます。

★ 設定キー

文字(模様)に設定されているぬい条件をお好みのぬい 条件に設定します。

※ 選ばれている文字や設定の状態によっては、キーの色 がグレーになっていて使用できないキーがあります。

① 書体キー

書体グループの選択画面が表示されます。

② 横書き・縦書き切りかえキー

横書きと縦書きを切りかえます。 ※ 横書きと縦書きを組み合わせることはできません。

③ 文字サイズ切りかえキー

文字のサイズを「小」、「中」、「大」から選択します。 (小:10 mm、中:20 mm、大:30 mm)

④ 大文字・小文字切りかえキー

大文字と小文字を切りかえます。

5 削除キー

カーソル移動キー⑦ でカーソルを動かし、カーソル上の 文字を削除します。カーソルが最後の文字の右側にある 場合、最後の文字が削除されます。

6 保存キー

組み合わせた文字をミシンや USB メモリに保存します。 (196 ページ参照)

⑦ カーソル移動キー

カーソルを移動させて、組み合わせた文字(模様)の中から変更したい文字(模様)を選ぶことができます。 (158 ページ参照)

8 OK +-

入力した文字を確認し、刺しゅう実行画面に移動します。

⑨ 閉じるキー

文字選択画面を閉じます。

10 ひらがな・カタカナ切りかえキー(明朝体・まるもじのみ)

ひらがなとカタカナを切りかえます。 模様選択キーの表示も同時に切りかわります。

① スペース調整キー

スペースを入力してカーソルをスペースに合わせたとき に表示されます。スペース調整キー押すとスペース調整 画面が表示されます。文字間の間かくが均一でない場合、 「+」、「一」キーで調整します。

- 「+」キーを押すと、間かくが広くなります。
- 「一」キーを押すと、間かくがせまくなります。

間かくを変更したあと OK キーを押します。

取り消すときは閉じるキーを押します。

オート値(電源を入れたときに自動的に設定されている 値)にもどすときは、初期化キーを押します。

メモ: スペースの幅はミリメートル単位で表示されます。





★ 文字の組み合わせ

例:明朝体の横書き・文字高さ中で「たま保育園」をぬう

- 書体キーで明朝体グループを選び、文字選択画面を表示させます。
 横書き・縦書き切りかえキー①で「横書き」を、文字高さ切りかえキー②で「中」を選びます。
 文字「た」を選びます。
 カーソル③の位置に文字が挿入されます。
- 次ページキー④で2/7ページを表示させ、文字「ま」 を選びます。
- ③ 次ページキー④ で 4/7 ページを表示させ、文字「保」 を選びます。

④ 文字「育」を選びます。

- ⑤ 文字「園」を選びます。
- ⑥ OK キー ⑤ を押すと、メッセージ画面が表示されます。
 OK キー ⑥ を押すと、キャリッジがぬい開始位置に
 移動します。

⑦ 刺しゅう枠確認画面が表示されます。
 枠を確認し、OK キー⑦を押します。
 刺しゅう実行画面が表示されます。
 ミシンをスタートさせます。

★ 文字の色を変える

ぬう前に色替えキー⑧を押すと、1文字をぬうごとにミ シンが停止します。 糸を交換して文字の色を変更できます。

たま保育園



★ ぬい原点キー

文字のぬい原点は、横書きと縦書きでそれぞれ3種類の ぬい原点から選択できます。

【横書きの場合】

● トップボトム
 ▲ キーを押します。
 先頭のぬい原点で下合わせとなります。

センターボトム
 キーを押します。
 中央のぬい原点で下合わせとなります。

③ エンドボトム
 ^{AKI} キーを押します。
 最終のぬい原点で下合わせとなります。

【縦書きの場合】 ① トップミドル ▲ キーを押します。 先頭のぬい原点で中合わせとなります。

センターミドル
 キーを押します。
 中央のぬい原点で中合わせとなります。

③ エンドミドル
 ▲ キーを押します。
 最終のぬい原点で中合わせとなります。

【アルファベット縦書きの場合】

メモ: 英語などアルファベットの縦書きは、図のようになり ます。 横書きは明朝体と同じです。









● 刺しゅう実行画面

刺しゅう実行画面では機能キーと選択された刺しゅうの 情報が表示されます。 設定切りかえキー ③を押して機能キーのセット (1~8)を表示します。

★ 機能キー

- ① 模様表示切りかえキー
- ② 刺しゅう範囲確認キー
- ③ 糸色 / ジョグ切りかえキー
- ④ 位置 / 角度微調整キー
- ⑤ 糸色確認キー
- 6 調整キー
- ⑦ キャリッジ移動キー
- ⑧ 押さえ変更キー
- 9 針前進キー
- (10) 針後進キー
- ① 針ジャンプキー
- 12 ジョグキー
- (13) 設定切りかえキー

〔刺しゅう実行画面〕		
停止中		
1 SQ14a:140×140mm		
↓ 77×78mm I 6色5		
-37600 (D)17mm $\sqrt{57}$ (D)17mm $\sqrt{7}$		
- 4.993/8,175 ST +		
5. 255 JSP 6. 248 JSP		

★ 刺しゅう模様情報

画面には以下の情報が表示されます。

- ① 刺しゅう枠の大きさ
- ② 刺しゅうの大きさ
- ③ 最大ぬい速度
- ④ 押さえの種類・刺しゅう押さえ高さ
- ⑤ 糸色数 (レイヤー数)
- ⑥ ぬい終わりまでに必要な時間
- ⑦ 糸調子設定
- ⑧ プレビュー画面
- ⑨ 十字マーク(現在の針位置)
- 10 進行バー
- ① 針数ウインドウ
- (12) 糸色ウインドウ



★ 針前進/後進キー

ぬい始めると、1 針目からの針数が表示されます。 針後進キー「ー」①、針前進キー「+」② で針数を前進 させたり、もどしたりすることができます。 キーを長押しすると1 針から、10 針、100 針、500 針と

移動距離が大きくなります。

針数③と総針数④は針数ウインドウに表示されます。

針数ウインドウ内の水色のバーは進行バーです。 ぬいが進むと進行バー ⑤ が表示され、刺しゅうの進行具 合を確認できます。 刺しゅうが終わると、進行バー ⑤ は 0 にもどります。

★ 針ジャンプキー

針ジャンプキー ⑥ を押すとテンキーが表示されます。 針数を入力し、移動したいぬい点に直接移動できます。 数字入力をまちがえたときは、クリアーキー ⑨ を押して 数字を消去してください。クリアキー ⑨ を押すと数字は 「0」になります。

閉じるキー ⑧ を押すと針数の入力をやめて、前の画面に もどります。

OK キー⑦を押すと、刺しゅう枠が入力した針数の位置 に移動します。

★ 十字マーク

プレビュー画面上 ⑩ の十字マーク ⑪ は、現在のぬい位 置(針の位置)を表しています。

十字マークを消す場合、プレビュー画面 ⁽¹⁾ を押してくだ さい。

★ 模様表示切りかえキー

模様表示切りかえキー ⑫ で、選択したデザインの全体、 もしくは色替えごとの模様表示を行います。 次ページキー ⑭ を押し、次の色を表示します。 前ページキー ⑬ を押し、前の色を表示します。 特定の色の部分のみをぬいたい場合、ぬいたい色が表示 されるまで前ページキー ⑬/次ページキー ⑭を押します。



★ 刺しゅう範囲確認キー

刺しゅう範囲確認キー①を押すと、刺しゅうのアウトラ インのトレースおよびしつけぬいをしながら刺しゅうの ぬい範囲を確認できます。

しつけぬいの範囲をカスタマイズすることもできます。 刺しゅう範囲確認キー①を押すとトレース / しつけぬい 画面が表示されます。

以下の4つから選択できます。:

1. トレースキー (ぬいなし)

↓ キー②を押すとトレース(ぬいなし)画面が表示

されます。

トレースキー 「」 を押して刺しゅう範囲(全体)の確認を開始します。

その他のキー N 2 2 を押すと、刺しゅう範 囲の各コーナーの位置に刺しゅう枠を移動させることが でき、コーナーごとに刺しゅう範囲を確認できます。

2. トレース/しつけぬいキー

れます。

しつけをする前に、下糸を針板の上に引き出しておきま す。

スタート/ストップボタンを押すと、しつけをしながら 刺しゅう範囲を確認します。

※ 刺しゅう範囲の外側 5 mm(ぬいしろ)をしつけぬい します。ただし、刺しゅう範囲が刺しゅう可能範囲の 最大値を超えたときは、ぬいしろは入りません。

3. トレース/二重しつけぬいキー

(1) キー④を押すとトレース/二重しつけぬい画面が表

示されます。

しつけをする前に、下糸を針板の上に引き出しておきま す。

スタート/ストップボタンを押すと、内側と外側のしつ けをしながら刺しゅう範囲を確認します。

※ 外側のしつけは、刺しゅう範囲の外側5 mm(ぬいしろ) をぬいします。ただし、刺しゅう範囲が刺しゅう可能 範囲の最大値を超えたときは、ぬいしろは入りません。





★ 位置/角度微調整キー

刺しゅう枠をミシンから外さないで、刺しゅうの位置や 角度の微調整ができます。

位置 / 角度微調整キー①を押します。

刺しゅうデザインの元々の位置は四角の枠 ② で表示されます。

【デザインの回転】

刺しゅうの角度を微調整します。

- ・ 📿 キー ③ を押し、刺しゅうを時計回りに 0.5° 回転さ せます。
- ・ キー④を押し、刺しゅうを反時計回りに 0.5°回転 させます。
- ※ 元の位置から回転させた角度の値 ⑤ が画面に表示されます。

メモ:

, 刺しゅうの角度は -5.0° ~ 5.0°の範囲で調整できます。 刺しゅう範囲を超えて調整することはできません。

【デザインの移動】

刺しゅうの位置の微調整を行います。

位置 / 角度キー ⑩ を押すと、ジョグキー ⑥、⑦ が表示されます。

- ・ジョグキー
 、
 ⑥ を押すと、矢印の方向にデザ
 インが 0.5 mm 移動します。(横方向調整値 ⑧)
- ・ジョグキー ▲、 ▼ ⑦ を押すと、矢印の方向にデザ
 インが 0.5 mm 移動します。(縦方向調整値 ⑨)
- ※ 元の位置から移動した距離(mm)は、横方向調整値(X) ⑧、縦方向調整値(Y)⑨として画面に表示されます。

メモ: 刺しゅうの位置は -5.0 mm ~ 5.0 mm の範囲で調整で きます。

刺しゅう範囲を超えて調整することはできません。 数値の単位はミリで表示されます。

調整を行うと調整した角度および位置に赤い枠 ① が表示 され、元の刺しゅうデザインの位置との違いが確認でき ます。

調整を適用するには、OK キー ⑫ を押します。 調整をキャンセルする場合、閉じるキー ⑬ を押します。



★ 糸色確認キー

糸色確認キー②を押すと、ぬい順序と使用する糸の糸色、 糸色名が確認できます。 設定切りかえキー①を押し、糸色確認キー②を表示さ せます。 糸色確認キー②を押します。

針数キー③を押すと、選択したデザインのぬい順序とそれぞれの糸色に対する針数が表示されます。

糸こまキー④を押すと、選択したデザインのぬい順序と 使用する糸色のリストが表示されます。

★ 調整キー

調整キー ⑤ を押すと、調整画面が表示されます。 糸調子、渡り糸の糸切り時の残糸の長さ、押さえ高さの 調整ができます。

⑥ 糸調子の調整

「+」、「一」キーを押し、糸調子を調整します。

⑦ 渡り糸の糸切り時の残糸の長さ調整

刺しゅうぬい設定の「渡り糸の糸切り長さ」設定、もし くは「トリミングモード(糸切り設定)」が「ON」になっ ている場合のみ使用できます。(193 ページ参照)

「+」、「ー」キーを押し、渡り糸の糸切り時の残糸の長さ を調整します。

⑧ 刺しゅう押さえ高さの調整

薄地の布の場合は ⑨ (押さえ高さ 1.7 mm)、キルティン グ布の場合は ⑩ (押さえ高さ 2.2 mm)のキーを押して おすすめの高さを選択するか、刺しゅう押さえ高さ調整 キー ⑧ (「+」、「ー」キー)で、刺しゅう押さえの高さ を調整します。

- ※ PC-1、PC-2:カウチング押さえに変更した場合、③、⑩ のアイコンは表示されません。
- ※ 刺しゅうモードで押さえがさがっているときは、調整 した値に応じて押さえの高さがかわります。

設定した数値を初期の状態にもどすには、初期化キー ① を押します。

設定を適用するには、OK キー ⑫ を押します。 設定をキャンセルする場合、閉じるキー ⑬ を押します。





★ 刺しゅう押さえ変更キー

使用する刺しゅう押さえを変更します。 刺しゅう押さえキー①を押すと刺しゅう押さえ変更画面 が表示されます。

使用する押さえのアイコン(P:刺しゅう押さえ ②、 PC-1:カウチング押さえ ③、PC-2:カウチング押さえ ④ のいずれか)を押します。

選択した押さえに合わせて押さえ高さとぬい速度が自動 的に調整されます。

メモ:

- カウチングデザインを選択した場合のみ、PC-1:カ ウチング押さえ③、PC-2:カウチング押さえ④を 選択してください。(188ページ参照)
- ・押さえ高さと最高ぬい速度の設定値も確認できます。
- ・刺しゅうのぬい速度は、ぬい目によってかわります。
- ・最高ぬい速度の値は、スピードコントロールつまみ がいちばん右側(最高速)になっている場合の数値 です。
- ぬい速度は、スピードコントロールつまみで遅くできます。ぬい速度を遅くした方が、刺しゅうはきれいに仕上がります。
- ・押さえの高さと最高ぬい速度の設定変更は、 191ページの③「刺しゅう押さえ高さ」、④「最高 ぬい速度」の項目をごらんください。
- PC-1:カウチング押さえ③、PC-2:カウチング押 さえ④のぬい速度は400 spm・500 spmの2段階 のみです。500 spm以上に設定した場合、500 spm になります。



★ 模様ぬい

 お好みの刺しゅう模様を選びます。
 糸色 / ジョグ切りかえキー①を押し、ジョグキー② を表示させます。

② 布の十字マーク③中央と針の位置がずれている場合、 ジョグキー②で十字マーク③の中央に針の位置がく るように調整します。

- ③ スタート/ストップボタン④を押します。
 5~6 針ぬったところでスタート/ストップボタンを 押し、ミシンを止めます。
 ぬい始めの余分な糸⑤をぬい目のきわから切ります。
- ④ スタート/ストップボタン④ を再度押します。
 最初の色の部分をぬい終わると、ミシンが自動的に止まります。「トリミングモード(糸切り設定)」が「ON」の場合、自動的に糸が切られます。(193ページ参照)糸を次の色にかえ、再びスタート/ストップボタン④を押して次の部分をぬいます。

ぬいの途中、ジョグキー② でぬい位置を調整できま す。スタート/ストップボタンでミシンを止め、ジョ グキーで刺しゅう枠をぬいたい位置に移動させ、ス タート/ストップボタンをもう一度押し、ぬいを再開 します。

メモ:

ぬいの途中にジョグキー ② でぬい位置を調整した場合、全ての色をぬい終わったあと、ぬいの途中で調整したぬい位置の情報は消去されます。

【ぬい上がり】

模様は、十字マーク③に対して左図のように仕上がります。

【ぬい終わりの収納】

ぬい終わったら、刺しゅう枠を外します。 通常ぬいモード/刺しゅうぬいモードキー⑥を押し、キャ リッジがホームポジションにもどったら、キャリッジアー ムを閉じます。







● 刺しゅう模様を編集する

編集モードでは、刺しゅう模様を組み合わせたり、ぬい 位置を移動したり、大きさや向きをかえたり、自由に編 集してオリジナルの刺しゅうデザインを作成することが できます。

刺しゅうモードホーム画面で編集モードキー①を押すと 編集画面が表示されます。

(初期の状態では刺しゅう枠 RE20a が表示されます。)

★ 刺しゅう枠の選択

刺しゅう枠のサイズを選びます。

- 1 刺しゅう枠選択キー①を押すと、刺しゅう枠選択画 面が表示されます。
- 2 刺しゅう枠のアイコン ② を押し、お好みの刺しゅう 枠を選びます。 編集画面が表示されます。

メモ:

選択した刺しゅう枠のサイズより大きい刺しゅう模様 は選べません。

★ 刺しゅうデザインの呼び出し

編集画面では、内蔵の刺しゅう模様、文字、ミシンの内蔵メモリや USB メモリに保存した刺しゅう模様を呼び出すことができます。

内蔵の刺しゅう模様を選択するには、ホームキー ① を押し、刺しゅうモードホーム画面を開きます。

内蔵模様キー②を押し、模様選択画面のリストからお好みの模様を選択します。(212~217ページ参照)

※ ミシンの内蔵メモリや USB メモリに保存した模様を 呼び出す場合、ファイルオープンキー ③ を押します。 (197 ~ 198 ページ参照)





★ 刺しゅう編集画面

模様(編集)に設定されているぬい条件をお好みの条件 に変更します。

編集ツールバーには以下の編集キーが含まれています。 設定切りかえキー ② を押し、編集ツールの表示を切りか

- えます。
- ※ 選ばれている模様や設定の状態によっては、キーの色 がグレーになっていて使用できないキーがあります。
- ① ジョグキー
- ② 設定切りかえキー
- ③ 画面移動キー
- ④ ゴームキー
- ⑤ 刺しゅう枠選択キー
- 6 コピーキー
- ⑦ 削除キー
- ⑧ 拡大・縮小キー
- 9 回転キー
- ① 上下反転キー
- ① 左右反転キー
- 12 アークキー
- 13 ぬい順序変更キー
- 14 センターポジションキー
- 15 コーナーレイアウトキー
- 16 模様色・背景色設定キー
- ① グループキー
- 18 同色まとめキー
- 19 単色ぬいキー
- 20 保存キー (196 ページ参照)

★ 編集する模様の選択

編集画面で編集したい模様を押します。 選択された模様は、緑色の四角枠 ① で囲まれます。

★ 模様の移動

【タッチペンか指を使う】

動かしたい模様をタッチペンか指で押しながら、動かしたい位置までそのまま移動します。

メモ: 先端のとがったもので画面を押さないでください。 故障の原因となります。

【ジョグキーを使う】

選択した模様を、ジョグキー ② で動かすこともできます。 ジョグキー ② を押し、模様を移動したい場所に動かしま す。

センターポジションキー ③ を押すと、中心位置に模様が もどります。

※ 模様を移動してもキャリッジは移動しません。



★ 編集画面を拡大する

ズームキー ① を押すと、 拡大 / 縮小画面が表示されます。 普通サイズ ②、 大サイズ ③、 最大サイズキー ④ のいず れかを押して画面の大きさを選びます。

大サイズキー③および最大サイズキー④で画面を拡大 すると、画面の移動機能が自動的にオンになり、画面移 動キー⑤が黄色で表示されます。

拡大した画面を動かす場合、画面移動キー ⑤ が黄色の状 態で画面をタッチペンか指で押しながら、動かしたい位 置までそのまま移動します。

画面移動キー ⑤ を再度押すと画面移動機能がオフになります。

拡大した模様を普通サイズにもどすには縮小キー⑥を押し、拡大/縮小画面が表示させ、普通サイズキー②を押します。

★ 模様をコピーする

- コピーする模様を押します。
 選択した模様が緑色の枠で囲まれます。
 コピーキー①を押し、選択した模様をコピーします。
- 2 コピーされた模様は元の模様の上に重ねて置かれます。
 指またはタッチペン、ジョグキーなどで移動します。





★ 模様の削除

- 11 削除する模様を押します。
 - 選択した模様が緑色の枠で囲まれます。
- 2 削除キー①を押し、選択した模様を削除します。

★ 模様の大きさをかえる

- 拡大または縮小する模様を押します。
 選択した模様が緑色の枠で囲まれます。
 拡大・縮小キー①を押し、拡大・縮小画面を表示させます。
- ②「+」キー ② を押して、拡大します。
 「-」キー ③ を押して、縮小します。
 選択した模様のサイズを 80 %~ 120 %の範囲で 1 %ずつ変更できます。
 「+」、「-」キーを長押しすると、サイズを変更する 速度が速くなります。
 変更した模様の大きさはパーセンテージ ④ で表示さ れます。
 - OK キー ⑤ を押してサイズを変更します。

閉じるキー ⑥ を押すと、変更しないでもとの画面に もどります。



★ 模様を回転させる

- 回転させる模様を押します。
 選択した模様が緑色の枠で囲まれます。
 設定切りかえキー①を押し、編集ツールの次のセットを表示させます。
 回転キー②を押し、回転画面を表示させます。
- 2 1 キー ③ を押すと、選択した模様が 1°時計回りに
 回転します。
 - (1) キー④を押すと、選択した模様が1°反時計回りに回転します。
 - 45 キー ⑤ を押すと、選択した模様が 45° 時計回り

に回転します。

④ キー ⑥ を押すと、選択した模様が 45° 反時計回りに回転します。

回転させた模様の角度が表示 ⑦ されます。 OK キー ⑧ を押し、角度を変更します。 閉じるキー ⑨ を押すと、変更しないでもとの画面に もどります。

- ★ 模様を反転させる
- 反転させる模様を押します。
 選択した模様が緑色の枠で囲まれます。
 上下反転キー①もしくは左右反転キー②を押します。
- ② 上下反転キー ⊖ ① を押すと、選択した模様が上下

に反転します。

③ 左右反転キー ● ② を押すと、選択した模様が左右 に反転します。







★ ぬい順序を変更する

組み合わせた模様のぬい順序を変更できます。

ぬい順序変更キー①を押し、ぬいたい順番に模様を押 していきます。 再度、ぬい順序変更キー①を押します。 前の画面にもどります。



★ 模様を画面中央に配置する

選択した模様を画面の中央に配置できます。

- 移動する模様を押します。
 選択した模様が緑色の枠で囲まれます。
- 2 センターポジションキー①を押すと、選択した模様 が画面の中央に移動します。

メモ:

FA10a 小型刺しゅう枠を使用時、「刺しゅう範囲設定 キー」で刺しゅう範囲が限定されている場合(186 ページ参照)、選択した模様は限定されたエリアの中 央に移動します。

★ コーナーレイアウト

コーナーレイアウトキーで、中心の十字の線を基準に反 転コピーします。

1つの模様を上下左右に反転してコピーすることで、四 角い枠などを作ることができます。

- コピーする模様を押します。
 選択した模様が緑色の枠で囲まれます。
- 2 コーナーレイアウトキー①を押します。
 模様が上下左右対称にコピー・配置されます。





★ 模様や背景の色を変更する

編集画面の背景色と模様の色(糸色)を変更して、実際 にぬう布色と糸色の編集イメージをつくることができま す。

- 様様色・背景色設定キー①を押すと、模様色・背景 色設定画面(模様色変更)が表示されます。 (模様色変更キー②が押された状態)
- 2 模様切りかえキー③で色をかえたい部分を選びます。
 12個のカラーパレット④からお好みの色を選びます。

 ③ 選択したカラーの明るさを変更する場合、次ページ キー⑥、前ページキー⑦を押すか、スライダー⑤ を右または左へ移動させます。
 名称入カキー⑧を押し、変更した色に名前を付けられます。新規名称画面で名前を入力し、OKキー⑨ を押します。
 ※ 15 文字まで入力可能です。

入力の変更は削除キー ⑩ を押します。 模様色・背景色設定画面で OK キー ⑪ を押します。 色糸のコードと名前の代わりに、新しく付けた名前が 刺しゅう実行画面に表示されます。

※ 閉じるキー 12 を押すと、変更しないで元の画面にも どります。

【背景色の変更】

④ 背景色を変更したい場合、背景色変更キー (3)を押します。

12個のカラーパレット④からお好みの色を選びます。 選択した色の明るさを変更する場合、次ページキー⑥、 前ページキー⑦を押すか、スライダー⑤を右または 左へ移動させます。

- OK キー ① を押します。
- ※ OK キー ① を押すと、かえた模様色も変更されます。
- ※ 初期の状態(白い背景色)にもどす場合、初期化 キー (4)を押します。
- ※ 閉じるキー ¹² を押すと、変更しないで元の画面にも どります。模様色も変更されません。
- ※ 模様色の変更にもどる場合、模様色変更キー ② を押 します。

メモ:

JPX フォーマット(背景画像)のファイルを開くとき は、「JPX」キー ⑮ を押します。 詳細は、付属の CD-ROM アキュツールズS に含まれ る「エンブロイダリーエディター」のヘルプをごらん ください。



★ 模様のグループ化

編集画面の模様全部または、選んだ模様だけをグループ 化してコピー、削除、移動することができます。

 設定切りかえキー①を押し、グループキー②を表示 させます。 グループキー②を押し、グループ選択画面を表示さ せます。

- 2 グループ選択キー③を押すと、各模様が緑色の四角枠で囲まれます。
 OK キー④を押すと、編集画面の模様全てが緑色の四角枠で囲まれ1つのグループになります。
- ③ 選んだ模様だけをグループ化したい場合、グループ化したい模様を押して選択します。選択した模様が緑色の枠で囲まれます。
 選択した模様をもう一度押すと、選択が解除されます。
 OK キー④を押し、選択した模様をグループ化します。
 全ての模様の選択を解除したい場合、解除キー⑤を押します。
- ④ グループ化した模様は1つのグループとして移動や、 コピーができます。

選んだ模様だけをグループ化した場合、グループ化されなかった模様はグレーになり、選択できなくなります。

グループ化を解除する場合、グループキー ② を押します。



	★ 単色で刺しゅうする
200 - Contra 1 - Contr	模様全てを1色でぬうことができます。
240	全ての模様をぬい終わるまでミシンは停止しません。
1 〔編集画面〕 2 〔確認画面〕	11 単色ぬいキー ① を押します。
SQ14a:140x140mm	
$ \begin{array}{c} & & & \\ & & & & \\ & & & \\ & & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & & & \\ & & & & \\ & & & & \\ & & & & & \\ & & & & \\ & & & & \\ & & & & & \\ & & $	② 確認画面が表示されたら、OK キー ② を押します。 キャンセルする場合、閉じるキー ③ を押します。
3 〔刺しゅう実行画面〕	③ 刺しゅう実行画面になります。
ぬい準備できました すっていたいの	模様はグレー1色で表示されます。
□ SQ14a:14Ux14Umm □ \$35x36mm	ないをします。
- ~ touspm () 473 ↓ (P)1.7mm) 7 7-1	全ての模様をぬい終わるまでミシンは止まりません。
*	メモ:
	編集画面にもどると、単色ぬい設定は解除されます。
 — 0/1,063 ST + 1. 204 JSP 2. 207 JSP 3. 228 JSP 	
	● レース刺しゅうデザイン
	「レース刺しゅうデザイン」の「溶ける芯地用デザイン」
	こ「市地用」リイン」を組みらわせ、立体的なレース刺しゆうを作成できます。
	※「溶ける芯地用デザイン」は、水溶性の芯地を使用し
	刺しゆつを行います。
1 〔カテゴリー選択画面〕	
☆ (1/4) ★ ★	
溶ける芯地用デザイン	1 水溶性の芯地を刺しゅう枠に張り、キャリッジに取り
Anna Maria Horner	付けます。
ニレクション 市地用デザイン	カテゴリー選択画面の「レース刺しゅうデザイン」→ 「窓ける芯地田デザイン」を選びます
花文字	
ゆった。 クロスステッチ 多後、	
レース刺しゆうデザイン	




★ 布地用デザインのガイドライン

「布地用デザイン」の模様には、「溶ける芯地用デザイン」を上に乗せるためのガイドラインが含まれています。 ガイドラインをぬったあと、レース(溶ける芯地用デザイン)を上に乗せ固定し、次の模様をぬうとレースを布にぬ いつけることができます。

ミシンがガイドラインをぬう順番とガイドラインの場所は下図に表示されています。

ガイドラインをぬったあと、レース(溶ける芯地用デザイン)を上に乗せてテープで固定し、次の模様をぬってレース(溶ける芯地用デザイン)を布にぬいつけます。







⑥ 残りの部分をぬいます。

13、15、17番目の模様がガイドラインです。
手順①で作成した花の模様をぬいつけます。
(手順⑤の説明と同じ方法)
刺しゅうが終わったら芯地を枠から取り外します。

はさみで余分な芯地を切り落とし、ぬるま湯(35~ 45度)にひたして芯地を溶かします。

新しいぬるま湯にかえて 10 分程度ひたすと、きれい に取り除くことができます。何度かぬるま湯ですすぐ と柔らかくなります。

※ 強くもんだり、こすったりすると模様がくずれて しまうので注意してください。

芯地を溶かしたあとは、タオルにはさみ水分を吸い取り、日陰で平干しをして完全に乾かしてください。



★ 溶ける芯地用デザイン RE20a 模様 1 の連結

溶ける芯地用デザイン(RE20a の模様 くは横に連結することができます。

- 例:RE20a の模様 <u>≰</u>を縦に連結する。
- 1 水溶性の芯地にチャコペンで十字線 1 を描きます。
 - ※ 水性のチャコペンは使わないでください。水溶性 の芯地が溶けます。

縦の線は模様を連結できる十分な長さをとります。



② 水溶性の芯地を刺しゅう枠(RE20a)に張り、キャリッジに取り付けます。

カテゴリー選択画面の「レース刺しゅうデザイン」→ 「溶ける芯地用デザイン」を選びます。

ページキー②を押してRE20aの模様



③ スタート/ストップボタンを押してぬいます。
 刺しゅう枠をキャリッジから取り外し、芯地を刺しゅうやから外します。
 刺しゅうの四つ角には、十字マーク ③ がぬわれます。



- ④ テンプレートシート④を印刷します。※
 手順③でぬった刺しゅうの下の十字マーク③とテン プレートシート④の上の十字マーク⑤を合わせて水 溶性の芯地の上に乗せます。
 - ※ テンプレートシートの印刷方法は、付属の CD-ROM アキュツールズS に含まれる「エンブロイ ダリーエディター」のヘルプをごらんください。

テンプレートシート上の点⑥を、水溶性の芯地に写 るようにマーク(点)し、テンプレートシート④を 外します。

5 手順 ④ でマークした点 ⑥ をつないだ水平の線(2つ 目の模様のセンターライン ⑦)を引きます。



- 6 手順 5 で引いた 2 つ目の模様のセンターラインと刺しゅう枠 ® のテンプレート 9 の十字線を合わせて水溶性の芯地を刺しゅう枠に張ります。
 刺しゅう枠 8 をキャリッジに取り付け、スタート/ストップボタンを押します。
 十字マークがぬわれます。
 必要に応じて、ジョグキーや位置 / 角度微調整キーで刺しゅう枠の位置を調整します。(163 ページ参照)
 - スタート/ストップボタンを押し、模様をぬいます。

⑦ 刺しゅうが終わったら芯地を枠から取り外します。
 はさみで余分な芯地を切り落とし、ぬるま湯(35~45度)にひたして芯地を溶かします。

新しいぬるま湯にかえて 10 分程度ひたすと、きれい に取り除くことができます。何度かぬるま湯ですすぐ と柔らかくなります。

※ 強くもんだり、こすったりすると模様がくずれて しまうので注意してください。

芯地を溶かしたあとは、タオルにはさみ水分を吸い取り、日陰で平干しをして完全に乾かしてください。



)フリーアーム刺しゅう枠(FA10a)の使い方

刺しゅう枠 FA10a は、そでやパンツなど、円筒状の布に 特化した刺しゅう枠です。

開きぐち(そで口)の長さを確認してください。 開きぐちの幅は 20 cm 以上であることが条件です。 刺しゅう可能な範囲は、開きぐちから 20 cm 以内です。

開きぐち:

開きぐちの幅が 20 cm ~ 25 cm の場合、刺しゅう枠を動 かせる範囲がせまいため、刺しゅうできる範囲が限定さ れます。

★ フリーアーム刺しゅう

布の刺しゅう位置に十字線①を描きます。

② 編集画面から刺しゅう枠選択キー②で刺しゅう枠 (FA10a)を選びます。 ホームキー③を押し、刺しゅうモードホーム画面を 開きます。 模様キー④を押し、刺しゅう枠選択キー⑤を押し、 刺しゅう枠別選択画面で刺しゅう枠(FA10a) ⑥ を選

③ 模様を選びます。(例は FA10a の模様



④ 編集画面の刺しゅう範囲設定キー⑦を押し、刺しゅ う範囲設定画面を表示させます。 「+ | もしくは「- | キー ⑧ を押し、開きぐちの長さ を入力します。 刺しゅう範囲設定画面で OK キー ⑨ を押します。 閉じるキー 10 を押すと、変更しないで元の画面にも どります。

メモ:

開きぐちの長さを 250 mm 未満に設定すると、以下の 場合も、渡り糸の自動糸切りは無効となり、ミシンを スタートさせると、メッセージ画面が表示されます。 ・「簡単設定|を「ON」に設定時(193ページ参照) ・「カスタマイズ」の「渡り糸の糸切り長さ」を「OFF」 以外に設定時(193ページ参照)



 ⑤ 編集画面で編集を行い、OK キー ① を押すと、確認 画面が表示されます。
 確認画面の OK キー ② を押し、刺しゅう実行画面に 移ります。

 ⑥ 図のようにフリーアーム刺しゅう枠(FA10a)の外枠 を筒の中に入れ、内枠にテンプレートを入れます。
 手順①で布に書いた十字線①とテンプレートの基準 線を合わせ、刺しゅう枠(FA10a)に布を張ります。

🖸 補助テーブルを取り外します。

筒の中にフリーアームを入れて、刺しゅう枠をキャ リッジに取り付けます。

※ 刺しゅう枠の取り付け方は 150 ページをごらんく ださい。

そでやすその部分が刺しゅう枠の動きをじゃましない ように、布の先はまくりあげてください。

- ※ 布が刺しゅう枠の中に入り込む場合、外枠の端に ある布端押さえ 13 を内枠に立てます。
- ※ 刺しゅうをしているとき、刺しゅう枠の動きを布 が妨げないように注意してください。

ぬい終わったら、刺しゅう枠をキャリッジから外し、 布をフリーアームから外します。





⑤ 針止めねじ ⑧ をドライバーでしっかりしめ直します。
 針止めひも案内のくち ⑨ を上に向け、針止めねじ ⑧
 にスライドさせ、しっかり取り付けます。

針止めねじを手前側に回さないよう、十分注意してくだ さい。 手前側にまわすと針止めねじがゆるみ、ぬい途中に針 が落ち、故障やけがの原因となります。

補助糸ガイド棒 ⑩ が動かない位置にくるように、まわしながらしっかり入れ、図の向きに取り付けます。

- ⑦ 毛糸を補助糸ガイド棒 ⑩ にかけます。
- 8 毛糸を針止めひも案内の前面のすきまから入れます。 押さえを PC-1 にしたときは左側の案内 ⑫ に入れます。 押さえを PC-2 にしたときは右側の案内 ⑬ に入れます。
 - ※ 毛糸 ⑭ を常にたるませておくと、きれいにぬう ことができます。

 ③ 毛糸を両手で持ち、押さえの板金 ⑦ の下に滑り込ま せるようにして入れて、毛糸を押さえの穴 ⑥ に通し ます。

毛糸 ⑮ と上糸 ⑯ をうしろに引き出します。



Ð

d

齂

90



注意:

毛糸玉の中に結び目があることがあります。結び目が ひも案内に引っかかると、故障の原因となります。 針止めひも案内に結び目が引っかかることによって、 針止めねじがゆるみ、ぬい途中に針が落ちて、故障や けがの原因となります。 ぬい途中に結び目がこないことを確認するために、目 を離さないようにしてください。結び目はカットして

ぬいつなぎます。

- 10 布を刺しゅう枠に張り、刺しゅう枠をキャリッジに取 り付けます。(149~150ページ参照) ※ 必ず試しぬいをしてください。
- 11 スタート/ストップボタンを押します。5~6 針ぬっ たところで、スタート/ストップボタンを押し、ミシ ンを止めます。

12 ぬい始めの余分な毛糸 (5)と上糸 (6)を、ぬい目のきわ から切ります。スタート/ストップボタンを押し、ミ シンを再スタートさせます。 最初の色の部分をぬい終わるとミシンが自動的に止ま ります。

13 糸と毛糸を交換し、次の部分をぬいます。

メモ:

- カウチングデザインをぬい終わったあと、必ずカウ チング押さえを取り外してください。カウチング押 さえを取り付けたまま通常ぬいモードにすると、針 が押さえにぶつかる恐れがあります。押さえを P: 刺しゅう押さえにかえた場合、必ず刺しゅう押さえ 変更画面で P: 刺しゅう押さえを選び直してくださ い。(166ページ参照)
- ・カウチングデザインを組み合わせる場合、毛糸が次 のカウチング模様に移動したとき、余分な毛糸を 切ってください。

・ぬいがジャンプする場所ではミシンを停止し、一度 毛糸をハサミで切り、再びぬい始めてください。 切り忘れると、ジャンプした毛糸に押さえが引っか かり危険です。

★ 水溶性芯地を使いカウチングデザイン SQ14a の模様 3 をぬう

SQ14aの模様 🧝 は、水溶性の芯地を使用して刺しゅ

うすることができます。

- 1 水溶性の芯地を刺しゅう枠に張り、キャリッジに取り 付けます。
- 2 SQ14aの模様 (1)を選びます。(188ページ手) 順 1 参照)

③ 水溶性の芯地にぬいます。(ぬい方は 188~ 190 ペー ジの手順2~13と同じです。) 刺しゅうが終わったら芯地を枠から取り外します。 はさみで余分な芯地を切り落とし、ぬるま湯(35~ 45 度) にひたして芯地を溶かします。

新しいぬるま湯にかえて10分程度ひたすと、きれい に取り除くことができます。何度かぬるま湯ですすぐ と柔らかくなります。

※ 強くもんだり、こすったりすると模様がくずれて しまうので注意してください。

芯地を溶かしたあとは、タオルにはさみ水分を吸い取 り、日陰で平干しをして完全に乾かしてください。



〔刺しゅうぬい設定画面〕 (2/7ページ)



◎刺しゅうぬい設定

● 刺しゅうぬい設定モード

セットキーを押し、刺しゅうぬい設定キーを押します。 設定を変更した場合、OK キーを押し新しい設定を適用 します。

閉じるキーを押すと、変更がキャンセルとなり、設定画 面が終了します。

1) 糸調子

模様を選ぶと、標準的な条件において最適な糸調子になるよう自動で設定されますが、自動で設定される値(オート値)をすべての模様に対して全体的に強くしたり(+)、 弱くしたり(-)できます。 〈オート-5~オート+5の11段階、初期値:オート〉

② 下糸残量

下糸の残量が少なくなった場合の警告を出す時期を設定 します。数値が大きいほど、早め(下糸残量が多いとき) に検出されます。「+」、「−」キーで設定します。 〈OFF(なし)、0.5、1~4の6段階、初期値:2〉 「OFF」に設定したい場合、画面に「OFF」が表示される まで「−」キーを押します。

③ 刺しゅう押さえ高さ

刺しゅう時の、布からの押さえ高さを設定できます。 数値が大きいほど、布からの押さえの位置が高くなりま す。「+」、「-」キーで設定します。

押さえの種類を P、PC-1、PC-2 から選びます。

〈設定範囲:0 ~ 4.0 mm 範囲内、0.1mm 単位〉

〈初期值:「P」1.7 mm、「PC-1」2.5 mm、「PC-2」3.0 mm〉

- ※ 刺しゅうモードで押さえがさがっているときは、調整 した値に応じて押さえの高さがかわります。
- ※ 変更した値は、刺しゅう実行画面で表示される調整画 面と押さえ変更画面で表示されます。 (166 ページ参照)

次ページキーを押して、次のメニューに移動します。

④最高ぬい速度

刺しゅう時のぬい速度は、ぬい目によって変化しますが、 その中の最高速度を設定できます。「+」、「-」キーで設 定します。

〈400 spm ~ 800 spm (100 刻み)、初期値:600 spm〉 最高ぬい速度の値は、スピードコントロールつまみの位 置がいちばん右側の最高速になっている場合の値です。 ぬい速度を遅くする場合、スピードコントロールつまみ で調整できます。

ぬい速度を遅くした方が、刺しゅうはきれいに仕上がり ます。

変更した値は、刺しゅう実行画面の押さえ変更画面で表示されます。(166ページ参照)

刺しゅうカウチング押さえ(PC-1 と PC-2)の最高速度 は 400 spm・500 spm の 2 段階のみです。 500 spm 以上に設定した場合、500 spm になります。

メモ:

細いジグザグをぬう場合、速度をさげてください。 高速でぬうとゆがみの原因となります。



⑤ ぬい開始1針停止

ぬい開始1針停止を「ON」に設定すると、ぬい始めや 色替え後のぬい始め、および上糸切れ検出後のぬい始め にミシンをスタートさせたとき、ミシンは自動的に1針 ぬって停止し、以下のメッセージ画面が表示されます。 〈初期設定:OFF〉

A
ぬい開始1針停止

※ ぬい開始1針停止は、1針ぬってミシンを停止後に、 上糸を上に引いて下糸を布の上に引き出すことで、 下糸を布の裏側にぬい込まないようにするための機能 です。

⑥ 自動色まとめ

自動色まとめを「OFF」に設定すると、外部で作成され た刺しゅうデータで刺しゅうする場合、データ上に同色 で異なるブロック(レイヤー)が連続しているとき、グルー プ化しないで色替えのためにミシンを停止させることが できます。

〈初期設定:ON〉

次ページキーを押して、次のメニューに移動します。

⑦ 枠種確認メッセージ

枠種確認メッセージを「OFF」に設定すると、模様を選択して刺しゅう実行画面にかわるときに表示される枠確認のメッセージ画面が表示されなくなります。 〈初期設定:ON〉

⑧ 刺しゅう枠の中心位置調整

刺しゅう枠の中心位置を調整できます。調整を行うと正 確な位置に刺しゅうできます。(枠の種類ごとに調整が必 要です。)

調整を行う場合、YES キー ⑧-1 を押します。 刺しゅう枠位置調整画面が表示され、キャリッジが中央 に移動します。

刺しゅう枠選択キー⑧-2を押して刺しゅう枠選択画面を 表示させ、調整したい枠を選びます。

刺しゅう枠をキャリッジに取り付けます。

テンプレートを刺しゅう枠にセットします。 ジョグキー ⑧-3 を押し、針がテンプレートの真ん中の穴 の真上に来るよう刺しゅう枠の位置を調整し、

- OK キー ⑧-4 を押します。調整量が決定され、刺しゅう ぬい設定画面にもどります。
- (刺しゅうぬい設定画面の OK キーが押されるまで確定は されません。)
- ※ 初期の状態 (購入時の設定状態) にもどす場合、刺しゅう枠位置調整画面で、初期化キー ⑧-5 を押して OKキー ⑧-4を押し、刺しゅうぬい設定画面でOK キー を押してください。

次ページキーを押して、次のメニューに移動します。





⑨ トリミングモード(糸切り設定)

色替えおよび、ぬい終了時の自動糸切り、渡り糸の自動 糸切りの設定をします。 「OFF」にすると、自動糸切りを行いません。 〈初期設定:ON〉

10 簡単設定

「ON」の場合、以下の条件で自動的に糸が切られます。 ・渡り糸の長さが 3 mm 以上の場合 ・糸替え時にミシンが自動停止した場合 OK キーを押し設定を適用します。

① カスタマイズ

カスタマイズキー ① を押すとカスタマイズ画面が表示され、渡り糸の糸切り長さ ⑨-(1)、色替え / ぬい終了時の 糸切り「ON」/「OFF」⑨-(2)、糸切りコマンドの「ON」 /「OFF」⑨-(3) を個別に設定できます。

(1) 渡り糸の糸切り長さ

渡り糸の糸切り長さ(渡り糸の間かくが何 mm 以上の場合に行うかの数値)を設定することができます。 「OFF」に設定すると渡り糸の自動糸切りを行いません。 「+」、「-」キーで設定します。 〈3 ~ 30 mm、OFF、初期値:3 mm〉

(2) 色替え / ぬい終了時の糸切り

色替えおよびぬい終了時の自動糸切りを行う(「ON」)か、 行わない(「OFF」)かを設定することができます。 〈初期設定:ON〉

(3) 糸切りコマンド

外部で作成された刺しゅうデータの糸切りコマンドに対応する(「ON」)、しない(「OFF」)を設定することができます。

「ON」に設定すると、外部から読み込んだぬいデータ内に自動糸切りコマンドがある場合に糸を自動的に切ります。

〈初期設定:OFF〉

次ページキーを押して、次のメニューに移動します。







メモ:

内蔵の刺しゅう模様をぬう場合、ぬい始めの止めぬい 設定の変更は必要ありません。

12 ぬい始めの止めぬい(色替え毎)

刺しゅうデータに、色替え時の最初に止めぬいをするコマンドが入っていないと、糸がほつれる場合があります。 「ON」に設定して色替え時の最初に止めぬいを入れ、ぬいほつれを防ぎます。 〈初期設定:OFF〉

13 ぬい始めの止めぬい(糸切り後)

「ON」に設定すると、トリミングモード(糸切り設定) の設定に従い渡り糸を切ったあと、ほつれ防止の止めぬ いを入れます。 〈初期設定:ON〉

次ページキーを押して、次のメニューに移動します。

14 糸選択

使用する刺しゅう糸の種類を、10 種類の中から選びます。 使用する刺しゅう糸のキーを押します。 選択すると刺しゅう実行画面の糸色表示が選んだ糸の種 類の表示に対応し、糸色のコードが表示されます。 読み込んだデータ内に正しい刺しゅう糸情報がある場合、 「オリジナル」キー ⑭-1 を選択すると、読み込んだ模様 が持っている糸情報が表示されます。 〈初期設定:JANOME ポリエステル〉

次ページキーを押して、次のメニューに移動します。



15 グリッドライン

「OFF」に設定すると、編集画面のグリッドラインを消すことができます。
 〈初期設定:ON〉
 「ON」に設定すると、編集画面のグリッドラインの間かくを変更できます。
 〈10 ~ 30 mm の 3 段階、初期値: 10 mm〉

16 お好み記憶モード(リジューム)

「ON」に設定すると、刺しゅうのぬい実行中(ぬい停止中) に電源スイッチを切っても、次回電源スイッチを入れた とき、前回ぬっていた模様の表示画面になり、前回の続 きからぬい始めることができます。

「ON」に設定し電源スイッチを入れると、メッセージ画面が表示されます。

メッセージ画面の OK キーを押すと前回最後にぬってい た模様の画面になります。 〈初期設定:ON〉

各設定が終わったら刺しゅうぬい設定画面の OK キーを 押し、設定を有効にします。

設定を変更せずに設定モードをぬける場合、閉じるキー を押します。



◎刺しゅうデータの保存・呼び出し

組み合わせた模様や文字のデータをミシンや USB メモリ に保存し、いつでも呼び出してぬうことができます。 刺しゅうデータの保存は、文字選択画面および編集画面 でできます。

● 刺しゅうデータの保存

メモ:

問題が起きたときのため、常に外部メディアにデータを保存してください。

<u> (</u>注意:

ミシンの内蔵メモリや USB メモリに模様データを保存中(転送中)に電源スイッチを切ったり、USB メモリを抜いたりしないでください。 データが破損するおそれがあります。

【ミシンの内蔵メモリに保存する】

- 文字選択画面および編集画面で保存キーを押すと、 「ファイルを保存」画面が表示されます。
- 2 ミシンに用意されているフォルダーに保存する場合、
 「ファイルを保存」画面の Fmbf を押します。
 - ※ 新しいフォルダーを作成して保存する場合、96 ページ【新規フォルダーの作成】をごらんください。
 - ※ 手順 2 や 3 の画面で、フォルダーやファイルが 1 画面に表示しきれない数だけ保存されている場 合、ページキーで次のページ(画面)を確認でき ます。
- ③ ミシンに用意されているファイル名「M_001」で保存 する場合、「Embf」画面のOKキーを押します。模様デー タがミシンに保存され、文字選択画面および編集画面 にもどります。
 - ※ すでに「M_001」名で保存されているデータがあ る場合、自動的に番号が繰り上げられ、「M_002」 が表示されます。(番号は M_001 ~順番に割り当 てられます。)
 - ※お好みのファイル名で保存する場合、97ページ 【名称変更キーの使い方】をごらんください。
 - ※ もどるキーを押すと1つ前の「ファイルを保存」 画面に、閉じるキーを押すとデータは保存されず、 文字選択画面および編集画面にもどります。
- ※ 新規フォルダーの作成、ファイル・フォルダーの削除、 フォルダー名の変更方法については、96~97 ページをごらんください。

<u>USB メモリに保存する場合</u>	
USB メモリに保存する場合、ミシン右側	lの USB 差し込
みロ(タイプ A)に USB メモリを差し込	込み、「ファイ
ルを保存」画面で USB メモリ 🛛 🖛	を選びます。
※ データの保存方法は、上記【ミシン(の内蔵メモリ





<u>USB メモリから呼び出す場合</u>

付属の USB メモリの刺しゅうデータや、USB メモリ に保存されている刺しゅうデータを呼び出す場合、ミ シン右側の USB 差し込み口(タイプ A)に USB メモ リを差し込み、「ファイルを開く」 画面の USB メモリ

■ を選びます。

*	データの呼び出し方法は、	197 ページ【ミシンの
	内蔵メモリから呼び出す】	と同じです。

★ ファイルの属性

ファイルには以下の7つの属性があります。

属性	内容
JEF	模様データが、編集画面上で1つの模様とし て扱われるファイル
JEF+	複数の模様を組み合わせて保存されている模 様データで、編集画面上で複数の模様として 扱われるファイル
JPX	背景画像付きで作成されたファイル
₫g JPX	AcuFilTool にて作成された連続支援模様
📣 JPX	カットワーク刺しゅうフォーマット
	フリーアーム刺しゅうフォーマット
DST	タジマ刺しゅうフォーマット

メモ:

タジマ刺しゅうフォーマット(*.DST)には、糸色の 情報が含まれていません。タジマ刺しゅうフォーマッ トを読み込むと、Janome の 78 色が自動的に割り当 てられます。



● PC リンク

ミシンとパソコンを USB ケーブルで接続し、パソコンの 刺しゅうデータを読み込むことができます。

付属のアキュツールズS CD-ROM をパソコンに入れ、「ア キュツールズ S」とミシン接続用の USB ドライバーをパ ソコンにインストールします。

ミシンとパソコンの電源を入れ、タイプA端子をパソコンに、タイプB端子をミシンに差し込み接続します。 USBケーブルは市販品も使用できます。

「ステッチコンポーザー」や「エンブロイダリーエディ ター」で作成した模様データをパソコンからミシンに読 み込むことができます。

詳しくは、付属の CD-ROM アキュツールズS に含まれる 「ステッチコンポーザー」や「エンブロイダリーエディ ター」のヘルプをごらんください。



データ転送中はミシンやパソコンの電源を切ったり、 USB ケーブルを抜いたりしないでください。 データが破損するおそれがあります。





● 糸道の掃除

糸調子部に付いている糸くずやロウを紙で掃除します。 糸道の掃除は通常ぬいモードで行います。

 通常ぬいモード/刺しゅうモード切りかえキー①を 押し、通常ぬいモードにします。
 電源を入れた状態で、押さえ上下移動ボタン②を押 して押さえをさげます。

2 押さえ上げ 3 をあげます。

③ 右上部のみぞ④(糸調子部)に紙を入れ、押さえ上 げ③をさげます。

④ 電源スイッチ ⑤ を切ります。
 紙でこするように掃除します。

5 針棒糸かけ 6 をミシンブラシ 7 で掃除します。



● 糸ガイド内側の掃除

天板内の糸案内カバー ① の内側を月に一度、掃除してく ださい。

1 天板を開け、上糸を外します。
 糸案内カバー①を上に引いてミシンから外します。

- ② プリテンション板 ② の下とまわりを付属のミシンブ ラシ ③ などで掃除します。
 - ※ プリテンション板 ② の先端を軽く持ち上げて、 内側も掃除してください。

③ 糸案内カバー①をパチンと音がするまで押しつけ、 ミシンに取り付けます。

◎メッセージ画面一覧

警告音とともに画面(タッチパネル)に表示が出た場合、下記の解決法に従ってください。

メッセージ画面	原因	解決法					
▲ × フットコントローラーを 外してください。	フットコントローラーが接続された状態で、スター ト / ストップボタンを使用したときに表示されます。	フットコントローラーを外し、 スタート / ストップボタンを使 用してください。					
▲ 警告	フットコントローラーが故障しているときに表示されます。	お客様相談窓口(巻末に記載) もしくは、お買い上げの販売店 にお問い合わせください。					
●	糸巻き軸が右にセットされている場合に表示されま す。	糸巻きが終わったら、糸巻き軸 を左にセットしてください。					
▲ × × × × × × × × × × × × × × × × × × ×	ボタンホール切りかえレバー(BH レバー)をさげ ずにミシンをスタートさせると、少しだけぬってミ シンが停止し、表示されます。	ボタンホール切りかえレバーを さげ、ミシンを再スタートさせ てください。					
▲ OK 針を確認してください。 2本針設定をキャンセルしました。	2本針設定から1本針設定に変更したときに表示されます。	2 本針を 1 本針に付けかえてあ ることを確認し、OK キーを押 してください。					
▲ × × × × × × × × × × × × × × × × × × ×	送り歯をさげないとぬえない模様のとき、送り歯を さげずにミシンをスタートさせると表示されます。	送り歯をさげてください。					
▲ 送り歯が下がっています。 ぬいを行ないますか? "スタート/ストップ"ボタンを 押してください。	送り歯がさがった状態でぬい始めたときに表示され ます。	送り歯をさげてぬいたい場合以 外のときは、送り歯をあげてく ださい。					
A 警告	針板が外れているときに表示されます。	針板を取り付け、このメッセー ジ画面が消えることを確認して ください。 消えない場合、もう一度取り付 け直してください。					
 登告 物がはさまっていませんか? 布が厚すぎませんか? 針が曲がっていませんか? 確認後スタートしてください。 	ミシンのモーターに高い負荷がかかったときに表示されます。	15 秒程待ち、その後、天びん、 外がま、糸切り部などにからみ ついている糸くずを取り除きま す。					
Error	ミシンが故障しているときに表示されます。	お客様相談窓口(巻末に記載) もしくは、お買い上げの販売店 にお問い合わせください。					

◎ミシンの調子が悪いときの直し方

〔通〕 …… 通常ぬいの場合の項目です。

〔刺〕 …… 刺しゅうの場合の項目です。

何もなし… 通常ぬいと刺しゅう共通の項目です。

調子が悪い場合	その原因	直し方
音がうるさい	1. 外がまや内がまに糸くずがたまっている。	200 ページ参照
	2. 糸が外がまにからまっている。	200 ページ参照
	3. 電源投入時、制御モーターからわずかな共鳴音がでる。	異常ではありません
	4. 送り歯にごみがたまっている。	200 ページ参照
上糸が切れる	1. 上糸のかけ方がまちがっているか、糸が必要以外のところにか	28 ページ参照
	らみついている。	
	2. 上糸調子が強すきる。	36 ページ参照
	3. 軒が囲かっているか、軒先かついれている。	22 ヘージ 参照
	4. 町の内りカかようかうている。 5. 針に対して糸が大すぎろか。細すぎろ	22 ページ参照
	6 糸がかまなどにからまっている。	200ページ参昭
	7. 糸こまに上糸が引っかかっている。	糸こま押さえを付ける
	〔通〕8. ぬい始めに上糸を引き出して、押さえで押さえていない。	40ページ参照
	〔刺〕9. 刺しゅうをスタートさせたときに、面板の糸切り / 糸押さえに	150 ページ参照
	上糸をかけていない。	
下糸が切れる	1. 下糸の通し方がまちがっている。	27 ページ参照
	2. 内がまの中にごみがたまっている。	200 ページ参照
	3. ボビンにきずがあり回転がなめらかでない。	ボビンを交換する
	4. 下糸の巻き方がゆるい	巻く速度を速くする
針が折れる	1. 針の付け方がまちがっている。	22ページ参照
	2. 針が曲がっているか、針先がつぶれている。	22 ページ参照
	3. 針止めねじのしめつけがゆるんでいる。	22 ページ参照
	4. 上糸調子が強すぎる。	36 ページ参照
	5. 布に対して針が細すぎる。	22 ページ参照
	〔通〕6. ぬい終わったとき布を手前に引いている。	布を向こう側に出す
	〔通〕7.模様に合った押さえを使用していない。	模様に合った押さえに 交換する
	〔通〕8. QC:フリーキルト押さえ(丸穴)を使用している場合に布を	125 ページ参照
	手前に引っ張っている。	
ぬい目がとぶ	1. 虹の竹り方かまらかつている。	22 ハーン参照
		22 ハーン参照
	3. 仲に対して針と糸か合つていない。	22 ヘージ 参照
	4. 伸縮性のある布や薄い生地など、ぬい自かといようなとさに、 付属のブルー針やパープル針を使っていない。	22 ヘーン参照
	5. 上糸のかけ方がまちがっている。	28 ページ参照
	6. 押さえ圧が弱い。	36 ページ参照
	7. 伸縮性のある布のとき、芯地を使っていない。	芯地を貼る
	8. 針が不良品である。(針穴や針先の錆びや、バリがある。)	針を交換する
	〔刺〕 9. 刺しゅう枠が正しく取り付けられていない。	150 ページ参照
	〔刺〕 10.刺しゅう枠に布がきちんと張られていない。	149 ページ参照
	11.厚い布をぬうのにパープル針を使用していない	22 ページ参照
ぬい目がしわになる	1. 上糸調子が合っていない。	36 ページ参照
	2. 下糸・上糸のかけ方がまちがっているか、糸が必要以外の ところにからみついている。	27 、28 ページ参照
	3. 布に対して針が太すぎる。	22 ページ参照
	4. 布に対してぬい目があらすぎる。	ぬい目を細かくする
	5. ぬい幅が大きすぎる。	ぬい幅を小さくする
	6. 押さえ圧が合っていない。	36 ページ参照
	7. 薄い布や伸縮性のある布のとき、芯地を使っていない。	芯地を貼る

調子が悪い場合	その原因	直し方
送りがすべる	〔通〕1. 滑りやすい素材をぬうのに上送り押さえを使用していない。	上送り押さえを使う
布送りがうまくい	〔通〕1.送り歯に糸くずがたまっている。	200 ページ参照
かない	〔通〕2. 滑りやすい素材をぬうのに上送り押さえを使用していない。	上送り押さえを使う
	〔通〕3. ぬい目が細かすぎる。	ぬい目をあらくする
	〔通〕4. 押さえ圧が弱い。	36 ページ参照
	〔通〕 5. 厚手の布のぬい始めに布が送れない。	40 ページ参照
	〔通〕6. 送り歯があがっていない。	24 ページ参照
ミシンが動かない	1. 電源のつなぎ方がまちがっている。	10 ページ参照
	2. かまに糸やごみがたまっている。	200 ページ参照
	3. 上糸が外れ、ボビンにからまっている。(ガチャガチャ音がする)	上糸かけを確認する
	4. 押さえ上げがさがっていない。	23 ページ参照
	5. 上糸が天秤から外れ、他の部品にからまっている。	電源を切り、からまっ ている糸を取る
		[からまっている糸の 取り方]
	*#*SA	 1 電源スイッチを切る 2 面板をあける 3 からまっている糸を 取る
		 ④ 上糸をかけ直す (28 ページ参照) ⑤ 面板をしめる
	6. フットコントローラーが故障している。	フットコントローラー を外す
	〔通〕7. フットコントローラーが接続された状態で、スタート/ストップボタンを使用している。	10 ページ参照
	〔刺〕8. フットコントローラーで刺しゅうをぬおうとしている。	スタート / ストップボ タンで行う
フットコントロー ラーを踏んでも動 かない	1. フットコントローラーを踏んだ状態で電源スイッチを入れた。	電源スイッチを入れて からフットコントロー ラーを踏む
刺しゅうのとき、 ミシンから異音が	〔刺〕1. キャリッジに何かはさまっている	はさまっているものを 取り除く
する	〔刺〕2. キャリッジが何かにぶつかっている。	142 ページ参照
模様がきれいにぬ えない	 ボビンのセットがまちがっている。(ボビンの入れる方向・下 糸が内がまのばねに入ってない。) 	27 ページ参照
	2. 上糸調子が強すぎる	36 ページ参照
	3. ぬい目があらすぎる	35 ページ参照
	〔通〕4. 指定の押さえを使用していない。	指定の押さえを使用 する
	〔通〕5. 布の種類や厚さ、ぬい速度などに対してミシンの送り調整が 合っていない。	141 ページ参照
	6. 薄い布や伸縮性のある布のとき、芯地を使っていない。	芯地を貼る
	〔刺〕7. 刺しゅう枠のつまみがゆるんでいる。	150 ページ参照
	〔刺〕8. キャリッジ移動時に、ミシン周辺に置いてある物にあたっている。	142 ページ参照
	〔刺〕9. キャリッジ移動時に、布がミシンに引っかかっている。	布を張り直す
	〔刺〕 10.刺しゅう枠に布がきちんと張られていない。	149 ページ参照
	〔刺〕 11.刺しゅう時に布が何かにひっかかっている。	ミシンを止め、布を張 り直す
	〔刺〕 12.刺しゅう押さえが渡り糸にひっかかっている。	渡り糸を切る
	〔刺〕 13.刺しゅうの盛りあがりに押さえがひっかかっている。	押さえ高さを調整する (164 ページ参照)

調子が悪い場合	その原因	直し方
ボタンホールがうまく	通〕1. 布に対してぬい目のあらさが合っていなし	1。 59 ページ参照
ぬえない。	〔通〕2. 送り調整ねじが正しく調整されてない。	141 ページ参照
	〔通〕3. 伸縮性のある布のとき、芯地を使っていな	い。 芯地を貼る
	〔通〕4. ボタンホール切りかえレバーがさがってし	いない。 57 ページ参照
模様選択キーが反応し ない	1. キーの位置が正しく調整されていない。	133 ページ参照
画面(タッチパネル) が見にくい	1. 画面のコントラストが合っていない。	132 ページ参照
画面(タッチパネル) がふくらむ	1. ミシンが高温多湿の場所に置かれている。	ミシンを涼しく乾いた場 所に保管する
USB メモリが機能し ない	1. USB メモリのデータが壊れている。	フォーマットをする (134 ページ参照)
	2. 対応していない USB メモリを使っている	。 USB メモリを交換する
うすい布、伸縮性の布	1. 布に対して針と糸が合っていない。	22 ページ参照
が食い込む	2. 左針位置でぬっていない。	左針位置でぬう
上糸が抜ける	1. 上糸のかけ方がまちがっている。	28 ページ参照
	2. ぬい始めに上糸を押さえで押さえていなし)。 40 ページ参照
かまに糸がからまる	1. 上糸のかけ方がまちがっている。	28 ページ参照
	2. かまにキズがある。	かまの交換
	3. 内がまの入れ方がまちがっている。	200 ページ参照
音がして糸がからまる	1. 上糸のかけ方がまちがっている。	28 ページ参照
	2. 天びんの糸穴に糸が入っていない。	28 ページ参照
糸通しができない	1. 針が上にあがっていない	29 ページ参照
	2. 糸が糸通しのみぞに入っていない。	29 ページ参照
	3. 針の付け方がまちがっているか、針が曲た	ぶっている。 22ページ参照
ぬい終わりに下糸が 二重に出てくる	1. 針が上まであがっていない。	上下停針ボタンを押して 針をあげる
ぬい目に下糸がでる	1. ボビンのセットがまちがっている。	27 ページ参照
	2. 糸こまのセットがまちがっている。	25 ページ参照
	3. 上糸のかけ方がまちがっている。	28 ページ参照
	4. 上糸調子が強すぎる。	36 ページ参照
	5. ジャノメのボビンを使用していない。	25 ページ参照
ぬい始めの糸がらみ	1. 上糸のかけ方がまちがっている	28 ページ参照
	2. ぬい始めに上糸を押さえで押さえていなし	λ。 40ページ参照

調子が悪い場合	その原因	直し方
布裏で糸がからまる	1. 上糸のかけ方がまちがっている。	28 ページ参照
		[からまっている糸の取り方] ① 電源スイッチを切る ② 押さえ上げと針をあげ、ハサミで布裏の糸を切る
		 ③ 針板を外す (21ページ参照) ④ ボビン、内がまを外し、からまっている糸を取る (200ページ参照) ⑤ 内がま、ボビンをセットし、針板を取り付ける (21、27、200ページ参照) ⑥ 上糸をかけ直す (28ページ参照)
ボビンにうまく下糸が巻けない	 下糸のかけ方がまちがっている。 ボビンの上または、下に巻きが片 寄っている。 	26 ページ参照 調整ねじをまわす 注意: 調整ねじをまわす範囲は 1 回転までにしてください。 部品が外れます。 上に片寄っている 下に片寄っている 下に片寄っている 下に片寄っている 下に片寄っている 下に片寄っている 下に片寄っている 正

- ※ 静かな部屋で使うと「ウィーン」という小さな音がする場合があります。内部の制御モーターから発生しているもので、ぬい作業上はとくに問題はありません。
- ※ 長時間使うと操作ボタンやタッチパネル付近の温度が少し高くなります。内部の制御部の発熱によるもので、ぬい 作業上はとくに問題はありません。

○ 模様一覧表
 ● 通常ぬい

じつようぬい

, SSF 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 1 2 3 4 5 6 7 23

ボタンホール

∭₫०० IJ J J Θ 1 2 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

アップリケ

 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R
 R

かざりもよう 1

¥ \$ \mathbb{R} \bigotimes 2 5 6 8 9 10 11 12 13 14 15 20 21 17 19 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34

キルト

| 1/4" | 7mm | | 1/4" 7mm | III || || |P P | P | P | | || |C ⊃ ⊂ , ⊂ , ⊂ , ⊂ , ⊂ , ⊂ , ⊂ , ⊂ 1 12 13 JUN $\left(\right) \right) \right) \right) \right) \right) \right) \right) \right)$ 0000 11 11 2 *--* 3 14 22 25 2 19 21 23 20 × * * (**** reve Ē M M M 388 386 XXXXX r r r ** * Ħ 27 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 28 30 44 45 46 47 48 26 29 43 50 49 51 52 53 54 55

つなぎもよう

※ 青い表示の模様は、直線針板対応模様です。

※ 紫色で表示の模様は、テーパリングが可能です。

※ グレーに塗って表示している模様は、上下反転ができます。



かざりもよう2

₹ 1		3	4	• • • •	*** *** 6	***********		ه کرک	<u>K</u> KK 10	11	12	۲ ۱3	8 14	15	16	17	18	19	භි භි 20	21	· 不不 22	₽ ₽ ₽ 23	24	25
× × 26	27	28 28	29	¥ 30	2424 31	G 32	33	₩ 34	→ ↔ 35	36	37	6) 38	** 39	WW 49	41	42	43		45	5860 46	47	48	49	50
51	52	6 6 53	Curron 54	80 8 55	* * 56	57	2 58	୦ ୦ ୨୨	کی چک	日 61	62 62	6 3	64	65	5	^ו וווווווו 67	ו _{ון} ו 68	69	70	**** ***	72	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	74	75
) L.S																							

ロングステッチ

of see 800 m 80 (3 (3) ¢ 围 L.S 10 11 13 14 15 16

ワンポイント

AAA Ř. 家劣龄 X \sim ₩ 22 23 ß 27 28

2 2 3 4 5 6 7 8

○模様一覧表● 通常ぬい文字

ブロック	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z . a b c d e f 9 h i j k I m n o p q r s t u v w X Y Z . 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 &
	à á â ã ä å æ Ç è é ê ë ì í î ï ñ ò ó ô õ ö ø ù ú û ü ß ą ć ę ğ I ij ł ń ň œ ś ş ý ź ż ž
スクリプト	A B C D E F G K F F K L M N O P Q R S T U V M X Y Z . IIIII a l c d e f G h i j h l m n 0 P F r z t u v w x Y z . IIIIII 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 & - \$\$ @ , ? i ! i ' ' < > () - + = / M % ~ : À À À À À & & & & & & & & & & & & & & &
ブロードウェイ	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z . II II a b c d e f g h i j K I m n o p q r s t u v w x y z . II II 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 & . 8 @ . ? i ! i ' ' <> () - + = / // % ~ : À À À À À À À Ç È É Ê Ê Ì Í Î Ï Ñ O Ô Ô Ô Ø Û Ú Û Ü B A Ć E Ğ Í IJ Ł Ň Ň Œ Ś Ş Ý Ź Ż à â â â â â â æ Ç è é ê ë ì í î ï ñ ô ô ô Ø Ø û ú û û û B a ć ę ğ i ij ł ń ň œ ś ş ý ź ż ž
ブロック (9 mm)	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z . 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 & _ \$@ , ? ¿ ! i ' ' < > () - + = / // % ~ :

○模様一覧表● 通常ぬい文字

キリル文字	А М Ь (а (БВ НН ЭЮ бвнн	ר ו 0 d R (ר ו ס d	ҐД ӨІ . Ш	ЃҬ ПР ШШ ŕђ	E C e c	ЄЁ ТЋ сё	ж У Ж	З \$ ў ф з s й ф	SИ X И X	ї ЦЧ ії цч	ЙЙ Ц ЙЙ	I J I Ш L I ј № Ш Ц	КЛ ЦЪ кл	Љ 5 Ы љ
	ь; 12 <:	эю 23 >(я 45) —	. [] 5 6 + =	78	 9 // %	08 6~	(_ :	\$ @	0.	• ,	? ;	<u>,</u> 1	, , ,	1
明朝体 (9 mm)	あた	いち	うつ	えて	お と	か な	きに	く ぬ	けね	こ の	さ は	し ひ	すふ	せへ	そ ほ
	まん	み、	ۍ ۰	めぁ	もい	やう	ゆ え	よお	5 つ	りゃ	3 19	れ ょ	ろ	わ !!!	を
	が ば	ぎび	ぐぶ	げベ	ごぼ	ざぱ	じ ぴ	ずぷ	ぜペ	ぞぽ	だ	ぢ	づ	で	ど
	ア タ	イチ	ウ ツ	エテ	オ ト	カ ナ	キニ	クヌ	ケネ	コ ノ	サハ	シ ヒ	スフ	セヘ	ソホ
	マン	Ш.,	Ц о	Х Г	モ ィ	ヤゥ	ユ エ	ヨ オ	ラ ッ	リ ャ	ルユ	レ ョ		ワ !!!	ヲ
	ガバ	ギビ	グブ	ゲベ	ゴボ	ザパ	ジ ピ	ズプ	ゼペ	ゾポ	ダヴ	ヂ	Y.	デ	ド
まるもじ (9 mm)	あ	い	う	え	お	か	き	<	け	2	さ	し	す	せ	そ
	た =	ち	つ ナ	てめ	と +	なめ	に	&à ►	ね	の り	はマ	ひわ	ふ マ	∧ to	ほ
	ь ん	<i>み</i> 、	ہ	а) Б	もい	7-7 5	アノえ	6 お	ט ר	リャ	Ф Ф	イレ よ	о -		~
	が ば	ぎ び	ぐぶ	げべ	ご ぼ	ざぱ	じ ぴ	ず ぷ	ぜペ	ぞぽ	だゔ	ぢ	づ	で	ど
	ア タ	イチ	ウ ツ	エ テ	オ ト	カ ナ	+ _	ク ヌ	ケ ネ	コノ	サ ハ	シ ヒ	ス フ	セヘ	ソ ホ
	マ	Щ	Ъ	×	Ŧ	ヤ	ユ	Э	∍	IJ	ル	L		ר ייי	Э ;***
	ン ガ バ	、ギビ	。 グ ブ	ァゲベ	ィゴボ	ヮザパ	ェ ジ ピ	ォズプ	ッゼペ	ャゾポ	ュダウ	ョ ヂ	ッ	!!! デ	і! К
ワンポイント	+ ※	≯ #	С С) \ \	> હાં	₽ < _	2 4 > J	} ⊻] →	∛ · ₩ ,		▲ ⊗	∩ Ŭ	0 •	٥	+

模様画像の縮尺は異なります。

○刺しゅう模様
 ●刺しゅう

Anna Maria Horner コレクション



(FA10a)

花文字





		◎刺しゅう模様				模様画像の縮尺は異なります。	
カウチングラ	デザイン		•				
0/0							\bigcirc
							(SQ14a)
A A							
	\mathbb{N}						(RE20a)
デコパーッパ	デザイン						
ノコハーノ」 ⑧		٩	۲				
0			<i>"</i>	X	A A		
0	Y		©~				(SQ14a)
				X			
							(RE20a)
				3			
					*		(FA10a)
○刺しゅう模様 ● 刺しゅう



















(SQ14a)























コンビネーションデザイン



模様画像の縮尺は異なります。

(SQ14a)

HANA アルファベットデザイン

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S J U W X Y J 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 -& • • @ ! ?

◎刺しゅう模様

● 刺しゅう

キルティング



刺し子デザイン



○刺しゅう模様 ● 刺しゅう



クロスセッター模様

(SQ14a)

○刺しゅう模様 ● 刺しゅう文字

ゴシック

ABCD	EFGH	JKL	. MN
OPQR	STUV	WXYZ	
abcd	e f g h) i j k I	mn
opqr	s t u v) w x y z	
1234	5678	90&_	. \$@.
•,?;]<>())	
////%~	:		
ÀÁÂĂ	ÄÅÆÇ	ÈÉÉË	
ΪÑÒÓ	ÔÕÖØ	ÙÚÚÜ	BAĆ
ĘĞİIJ	ĽŃŇŒ	ŚŞÝŹ	ŻŽ
àáâã	ä å æ Ç	èéêë	ìíî
ΪÑÒÓ	ÔÕÖØ) ù ú û ü	ßlac

スクリプト

 À Â Â Â Â Â Ê Ç È Ê Ê Ê Ĵ Ĵ Ĵ

 Ĵ Ñ Ô Ô Ô Ô Ô Ô Û Û Û Û Ê Â Ć

 Į IJ L Ń Ñ Œ Ś Ŝ Ý Ź Ż Ż

 à â â â â œ \$ è é ê ë i í î

 i ñ ò ó ô ö a ù ú û ü β < ć</td>

 E Ў I IJ L Ń ñ œ \$ \$ Ý Ź ż Ž

チェルトナム

ABCDEFGHIJKLMN
OPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmn
opqrstuvwxyz
1234567890&_\$@.
· , ? ¿ ! i · ' < > () - + =
À Á Â Ă Å Å Æ Ç È É Ê È Ì Í Î
EĞİIJŁŃŇŒŚŞÝŹŻŽ
INOOOOODDUUUBACEĞİIJŁŃŇĒŚŞÝŹŻŽà â â â å æ ç è é ê ë ì í î
INOOOOODDUUUBACEĞİIJŁŃŇĒŚŞÝŹŻŽàâââåæçèéêiìîiñòóôöøùúûüBać



ギャラン



タイピスト



○刺しゅう模様 ● 刺しゅう文字

ブラシ

 $\begin{array}{c} \mathcal{A} & \mathcal{B} & \mathcal{C} & \mathcal{D} & \mathcal{E} & \mathcal{I} & \mathcal{$

ファーストグレード

<u>iñòóôõöøùúúüB</u>qć eğıjihńñœsşýźźź

ホローブロック

ABCDEFGHIJKLMN OPQRSTUVWXYZ..... 1234567890&_\$@. ·,?¿!i^^<>()-+= ///%~: ÀÂÂÂĂÂÇÈÉÊÈÌÍÎ ÌŇÒÓÖÖÜÙÚÜBAĆ ĘĞINĽŃŇŒŚŞÝŹŻŽ



マイクロゴシック

ABCDEFGHIJKLMN
OPQRSTUVWXYZ
abcdef9hijk1mn
opqrstuvwxyz
1234567890&-\$@.
• ,?¿!i' '<>())-+=

◎刺しゅう模様 ●刺しゅう文字

キリル文字1

キリル文字2

АБВГДЕЁЖЗИЙКЛМНОПР СТУФХЦЧШЩЪЫЬЭЮЯ...... а6вгдеёжзийклмнопр стуфхцчшщъыьэюЯ...... 1234567890-,.:!?<>

АБВГ ДЕЁЖЗИЙКЛМНОПР СТУФХЦЧШЩЪЫБЭЮЯ.......

абвгдеёжзийклмнопр

СТУФХЦЧШШЪЫЬЭЮЯ.......

1234567890-,.:!?<>

明朝体



 $[\mathcal{M}][\mathcal{M$

キリル文字3

() = - + / %

まるもじ

ABBTDEËX3 <u>HŘKAMHOT</u> CTV ØX Y Y W W B BI B 9 H A .	あいうえおかきくけこさしすせそ
$a \overleftarrow{b} e \overrightarrow{c} \overrightarrow{c} \overrightarrow{c} \overrightarrow{c} \overrightarrow{c} \overrightarrow{c} \overrightarrow{c} \overrightarrow{c}$	まみむめもやゆよらりるれろわを
1234567890-,.:!?<>	ん、。 ぁぃぅぇぉっゃゅょー がぎぐげござじずぜぞだぢづでど
	ŢŢŢŢŢŢŢŢŢŢŢŢŢŢŢŢŢŢŢŢŢŢŢŢŢŢŢŢŢŢŢŢŢŢŢŢŢŢ
	アイウエオカキクケコサシスセソタチッテトナニヌネノハヒフへホ

220

◎刺しゅう模様 ● 刺しゅう文字

ボーダー 1 ※ ☆ ★ ↓ ↓ ♥ ♥ ؊ ؊ ๛ ~ ℰ Ј ♪ ┌ ♬ ♀ ∞ ∲ ➤ … < ◇ + ◇ ◈ ▸ ▸ է ∞ ∧ - ○ → ^ ๙ ӄ ┙ ⋓ ╜ # ┺ஃ X ஃ X [] []

ボーダー 2

2-レター



3 ーレター

ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC ABC



				仕	様	
使	用	電	圧	100 V 50) Hz / 60 Hz	
消	費	電	力	60) W	
外	形	4	法	本体 幅 50.8 cm ×奥行 23.7 cm 刺しゅうユニット取り付け時 幅 50.8 cm ×奥行 35.0 cm	×高さ 31.6 cm ×高さ 31.6 cm	_
質			量	本体 11.9 kg	刺しゅうユニット取り付け時 15.3 kg	_ 什
使	F	Ħ	針	家庭用 HAX 1		רי דּר
最高	高ぬ	い返	東度	通常ぬい:毎分 1000 針	刺しゅう:毎分 800 針	₹

±様および外観は改良のため 残告なく変更することがあり €すのでご了承ください。

修理サービスのご案内

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- 無料修理保証期間内およびそれ以降の修理につきましても、お買い上げの販売店が承りますのでお申し付け ください。

修理用部品の保有期間

● 当社は動力伝達部品、および縫製機能部品を原則として製造打ち切り後8年間を基準として保有し、必要 に応じて販売店に供給できる体制を整えています。

無料修理保証期間経過後の修理サービス

- 取扱説明書にしたがって、正しいご使用とお手入れがなされていれば、無料修理保証期間を経過したあとでも、修理用部品の保有期間内はお買い上げの販売店が有料で修理サービスをします。
 - ただし、次のような場合は修理できないときがあります。
 - 1. 保存上の不備または誤使用により不調、故障または損傷したとき。
 - 2. 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
 - 3. お買い上げ後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
 - 4. お買い上げ店または当社の指定した販売店以外で修理、分解、改造をしたために不調、故障または損傷 したとき。
 - 5. 職業用等過度なご使用により不調、故障または損傷したとき。
- 長期間にわたってご使用された場合の精度の劣化は、修理によっても元通りにならないことがあります。
- 有料修理サービスの場合の費用は必要部品代、交通費、およびお買い上げ店が別に定める技術料の合計になります。

お客様の相談窓口

修理サービスについてのお問い合わせやご不審のある場合は下記にお申しつけください。

蛇の目ミシン工業株式会社

〒193-0941 東京都八王子市狭間町 1463 番地

お客様相談室 TEL. 0120-026-557 (フリーダイヤル)

042-661-2600

受付 平日 9:00~12:00 13:00~17:00 (土・日・祝日・年末年始を除く)

メールでのお問い合わせは、ホームページ https://www.janome.co.jp <u>問合せフォーム</u>をご利用ください。

JANOME

862-460-503 ①